

●明治三十九年法律第二十五號  
【臺灣總督府鐵道部】現金前渡  
官吏設置ニ關スル法律

明治三十九年四月七日  
法律第二十五號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル臺灣總督府鐵道部現金前渡官吏設置ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
【臺灣總督府鐵道部】職工人夫ノ給料、諸手當其ノ他支部局及派出工場ニ於テ仕拂フ爲ス經費ハ主任ノ官吏ニ委任シテ仕拂フ爲サシムル爲現金ノ前渡ヲ爲スコトヲ得

●大正八年勅令第二百六十四號  
（臺灣ニ於テ電氣事業ヲ營ム會社ニ政府ノ出資トシテ其ノ財產ヲ提供スルコトヲ得ルノ件）

大正八年五月三十一日  
勅令第二百六十四號

朕臺灣ニ於テ電氣事業ヲ營ム會社ニ政府ノ出資トシテ其ノ財產ヲ提供スルコトヲ得ルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
臺灣總督ノ管理ニ屬スル財產ニシテ電氣、瓦斯及木材防腐ノ作業ノ用ニ供スルモノハ臺灣電力株式會社ニ依リ設立スル會社ニ政府ノ出資トシテ之ヲ提供スルコトヲ得

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●臺灣總督府經費渡切規則

大正十一年五月三十日  
臺灣總督府令第三百三十號

改正 大正一三年第二九號、一四年第五七號  
昭和二年第五九號、一二年第五四號

大正二年府令第五十八號臺灣總督府經費渡切規則左ノ通改正ス

臺灣總督府經費渡切規則

第一條 會計法第二十二條及會計規則第六十一條ニ依リ渡切經費ノ交付ヲ受クヘキ官署及費目左ノ如シ

- 一 地方法院出張所、税關監視署
- 事務費
- 雜品

薪炭油類 雜用品

小使及雜役夫(小使ハ地方法院出張所ニ限ル)

- 二 郵便、電信及電話局所
- 通信事業費
- 渡切費

二等局以上事務費

器具機械費、式紙帳簿雜品

圖書及印刷費、薪炭點燈費

通信運搬費、備人料

雜費、接待費

船車馬費

三等局以下諸費

事務費、集配運送費

〔輯一二四〕

〔輯八五〕

勸進手當(三等郵便局長ニ限ル)

現業員獎勵費

燈臺、測候所

燈臺及測候費

航路標識用雜品、薪炭油類及雜用品

測候用雜品、薪炭油類及雜用品

備人料(雜役夫ニ限ル)

雜費(舟車馬類備貨ニ限ル)

四 警察官吏派出所、同駐在所、警戒所、分遣所

事務費

薪炭油類及電燈料 雜用品

派出所拂切小使給 駐在所拂切小使給

前項第二號ノ渡切經費ヲ交付スヘキ郵便、電信及電話局所名並其ノ費目ハ別ニ之ヲ指定ス

第二條 支出官ハ前條ノ費目ニ付渡切經費ヲ以テ支辨スヘキ品目、種類及渡切經費ノ年額並月割額ヲ定メ之ニ依リ其ノ月分ノ定額ヲ毎月五日迄ニ各主任官ニ交付スヘシ

第三條 渡切經費ニ對シテハ三等郵便局以外ノ官署ニ在リテハ官署員全體ニ於テ共同經理ノ責ニ任シ現金及物品ノ出納ニ關シテハ上席者ハ主任官ト爲リ出納及保管上一切ノ責任ヲ負フヘシ但シ病氣其ノ他事故ニ因リ其ノ責任ヲ盡スコト能ハサルトキハ次席者之方代理トシテ一切ノ責任ヲ負フヘシ

第四條 削除

第五條 主任官ハ渡切經費ニ關スル簿冊ヲ設ケ現金及物品ノ受拂ヲ明瞭ニシ且ツ證書類ハ適宜編纂保存スヘシ

第十二輯 財務 第一章 會計 第七款 支出

三二一

三二一

三二一

三二一

三二一

三二一

三二一

三二一

三二一

三二一

三二一

三二一

三二一

三二一

三二一

●關東局特別會計經費渡切規則

大正十一年四月七日  
關東廳令第二十號

改正 大正一四年第一九號  
昭和八年第四〇號

關東廳特別會計經費渡切規則左ノ通定ム

第一條 【關東廳】特別會計ニ於テ逕信官署及警察官署ノ事務費ノ全部又ハ一部ハ之ヲ主務官吏ニ渡切ヲ以テ支給ス

第二條 渡切ト爲スヘキ歳出科目ハ逕信官署ニ在リテハ逕信事業費、警察官署ニ在リテハ事務費トシ各左ニ掲グル種目ニ限ル

前項ノ簿冊及證書類ハ主任官交送ノトキハ後任者ニ引繼クヘシ

第六條 主任官ニシテ月ノ中間ニ交送シタルトキハ交送ノ翌日ヨリ起算シ殘餘ノ日數ニ相當スル現金若ハ現品ヲ後任者ニ引繼クヘシ但シ死亡其ノ他ノ事故ニ因リ引繼ヲ了スルコト能ハサルトキハ代理人又ハ後任者ニ於テ精算シ其ノ結果ヲ支出官ニ報告スヘシ

第七條 新ニ渡切經費ノ交付ヲ受クヘキ場合又ハ廢止セラルヘキ場合及月ノ中間ニ於テ其ノ定額ニ増減ヲ生シタルトキハ日割計算ニ依リ之ヲ交付ス

前項ニ依リ交付濟金額ニ過不足ヲ生シタルトキハ年度ヲ異ニセサル場合ニ限リ後月分ノ交付ニ差額計算スルコトヲ得

第八條 支出官ニ於テ一時ニ數月分ヲ取極メ交付ノ必要アリト認メタルトキハ其ノ交付ヲ要スヘキ月數及事由ヲ具シ臺灣總督ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 渡切經費ニ屬スル費途ノ仕拂ニ關シテハ官職名ヲ以テスルト否トニ拘ラス總テ主任官自己ノ責任トシ政府其ノ責ニ任セヌ

附則  
本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

關東廳令第二十號

三二一

三二一

三二一



- 一 逕信官署 器具機械費、式紙帳簿雜品費、圖書及印刷費、薪炭費、點燈費、通信運搬費、備人料、郵便所事務費、郵便集配費、郵便所運送費、船舶車輛費、賄費及諸雜費
- 二 警察官署 備品費(雜品)、圖書印刷費(官報及新聞類)、筆紙墨文具費、消耗品費(點燈諸費、薪炭油類及雜用品)、備人料及雜費
- 第三條 渡切經費ノ交付ヲ受ケヘキ主務官吏ハ逕信官署ニ在リテハ貯金管理所長及郵便局所長、警察官署ニ在リテハ警察署、領事館警察署ノ長ノ次席官吏及警察官吏派出所(駐在所、出張所及滞在所ヲ含ム)ノ上席官吏トス
- 第四條 逕信局長及警察署長經費豫算ノ令達ヲ受ケタルトキハ其ノ令達額ノ範圍ニ於テ主務官吏毎ニ交付スヘキ渡切經費ノ月割額ヲ査定シ「關東長官」ノ認可ヲ受ケヘシ
- 第五條 逕信局長及警察署長ハ前條ノ規定ニ依リ査定シタル月割額ニ依リ毎月十六日以後其ノ定ムル期日ニ於テ渡切經費ヲ各主務官吏ニ交付スヘシ
- 第六條 渡切經費ノ交付ヲ受ケタル主務官吏ハ其ノ交付額ヲ以テ第二條ニ指定スル一切ノ費途ヲ負擔シ渡切經費ニ關スル簿冊ヲ設ケ一切ノ收支ヲ登記シ其ノ經理ノ責任スヘシ
- 第七條 渡切經費ニ屬スル費途ノ支拂ニ關シテハ總テ主務官吏自己ノ責任トシ政府其ノ責任ニ任セス
- 第八條 月ノ中途ニ於テ新ニ渡切經費交付ノ指定ヲ爲シ又ハ渡切經費ヲ以テ支出シ得ヘキ種目ヲ增加シ若ハ渡切經費ノ額ヲ増減シタル場合ニ於ケル當月分ノ渡切經費ハ日割計算トス
- 前項ノ場合ニ於テ當初準備ノ爲ニ要スル經費ハ一時限リ別途支拂又ハ別途現品交付ノ方法ニ依リ之ヲ支辨スルコトアルヘシ

| 官署ノ種類  | 歳出科目   | 細目                         |
|--------|--------|----------------------------|
| 支應出張所  | 支應太應   | 庶務費、雜品費、圖書及印刷費、筆紙墨料、馬匹費、雜費 |
| 支應     | 支應太應   | 庶務費、雜品費、圖書及印刷費、筆紙墨料、馬匹費、雜費 |
| 警察署    | 警察務費   | 庶務費、雜品費、圖書及印刷費、筆紙墨料、馬匹費、雜費 |
| 林務署    | 林務務費   | 庶務費、雜品費、圖書及印刷費、筆紙墨料、馬匹費、雜費 |
| 林務署出張所 | 林務務費   | 庶務費、雜品費、圖書及印刷費、筆紙墨料、馬匹費、雜費 |
| 特定郵便局  | 特定郵便局費 | 庶務費、雜品費、圖書及印刷費、筆紙墨料、馬匹費、雜費 |

- 第九條 渡切經費交付ノ指定ヲ廢止シタル場合ニ於ケル當月分ノ渡切經費及主務官吏ノ更迭又ハ死亡シタル場合ニ於テ其ノ者ニ交付スヘキ當月分ノ渡切經費ハ日割計算トス
  - 第十條 主務官吏死亡又ハ失職シタル場合ニ於テ代テ事務ヲ執行スル者アルトキハ其ノ間渡切經費ハ代テ事務ヲ執行スル者ニ交付ス
  - 前項ノ場合ニ於テ特ニ吏員ヲ派遣シ主務官吏ノ事務ヲ執行セシメタルトキハ其ノ間渡切經費ノ全部又ハ一部ハ之ヲ交付セス
  - 第十一條 天災若ハ事變ニ依リ又ハ事業ノ伸縮若ハ規模變更ノ結果渡切經費ヲ以テ支辨スヘキ費途ニ著シキ異動ヲ生シタルトキハ渡切經費ノ交付金額ハ之ヲ増減スルコトアルヘシ
  - 第十二條 渡切經費ハ土地ノ狀況又ハ特殊ノ事由ニ依リ必要アリト認ムルトキハ「關東長官」ノ認可ヲ得テ一時ニ數月分ヲ交付スルコトヲ得
- 附則  
本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
警察官署經費渡切規則、逕信官署經費渡切規則、明治四十三年關東都督府訓令第三十九號及大正四年關東都督府訓令第十號ハ之ヲ廢止ス

樺太廳及所屬官署經費渡切規則

大正十一年十月三十日  
樺太廳令第七十號

改正 大正一三年第四二號、一四年第一二號、一五年第一六號、昭和五年第六號、六年第三一號、一一年第四七號、一六年第九三號  
樺太廳及所屬官署經費渡切規則左ノ通改正ス

第一條 會計規則第六十一條ニ依リ渡切ヲ以テ經費ヲ支給スヘキ官署ノ種類及歳出科目左ノ如シ

〔輯一三〇七〕

| 氣象臺 | 項測候費 | 目觀測費                       |
|-----|------|----------------------------|
|     |      | 庶務費、雜品費、圖書及印刷費、筆紙墨料、馬匹費、雜費 |

〔輯一三〇七〕

- 第二條 渡切經費ハ毎年度其ノ定額及月割額ヲ定メ當該官署長ニ之ヲ令達ス
- 特殊ノ事由ニ依リ其ノ増減ヲ要スルトキ亦同シ
- 第三條 渡切經費ハ毎月上旬其ノ月割額ヲ當該官署長ニ支給ス但シ特殊ノ事由ニ依リ必要ト認ムルトキハ一時ニ數月分ヲ支給スルコトアルヘシ
- 第四條 渡切經費ハ時宜ニ依リ現品ヲ以テ支給シ又ハ別途支出ヲナスコトアルヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ前條ノ支給額ヨリ其ノ費額ヲ控除ス
- 第五條 渡切經費ノ支給ヲ受ケタル官署長ハ其ノ指定セラレタル費途ノ一切ノ經費ヲ負擔シ之カ支拂ノ責任スヘシ
- 第六條 渡切經費ヲ以テ支辨スヘキ費途ノ支拂ニ關シテハ官職名ヲ以テスルトト否トニ拘ハラズ當該官署長自己ノ責任トシ政府其ノ責任ニ任セス
- 第七條 渡切經費ヲ支給スヘキ官署ヲ新ニ指定シ若ハ開設シ又ハ廢止シタル場合ニ於ケル渡切經費ノ額ハ日割計算ニ依リ定額ニ増減ヲ生シタルトキ亦同シ
- 第八條 渡切經費ノ支給ヲ受ケタル官署長更迭シタル場合若ハ渡切經費ヲ支給スヘキ官署ヲ廢止シ又ハ渡切經費ノ支給ヲ廢シタル場合ニ於テ支拂未済ノモノアルトキハ運滞ナク支拂ヲ完結シ少クトモ殘餘ノ日數ニ對スル經費定額ニ相當スル現金若クハ物品ヲ後任者又ハ特ニ指定シタル官吏ニ引續クヘシ
- 第九條 渡切經費ノ支給ヲ受ケタル官署長死亡シタルトキハ其ノ精算ヲ命セラレタル職員ニ於テ前條ノ手續ヲ爲スヘシ但シ特定郵便局ニ在リテハ身元引受人之ヲ爲スヘシ







出納官吏事務規程左ノ通定ム  
出納官吏事務規程

第一章 總則

- 第一條 出納官吏ハ本令ノ定ムル所ニ依リ現金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ處理スヘシ
- 第二條 出納官吏法令ノ規定ニ依リ現金ニ代ヘ證券ヲ受領シタルトキハ現金ニ準シ之カ取扱ヲ爲スヘシ
- 第三條 出納官吏其ノ手許ニ保管スル現金ハ之ヲ堅牢ナル容器中ニ藏置スヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ自己ノ責任ヲ以テ之ヲ郵便局若ハ確實ナル銀行ニ預入レ又ハ資産信用アル者ニ其ノ保管ヲ託シ其ノ他適當ノ方法ニ依リ之ヲ保管スルコトヲ得
- 第四條 出納官吏其ノ取扱ニ係ル現金ハ私金ト混同スルコトヲ得ス
- 第五條 出納官吏他ノ公金ノ出納保管ヲ兼掌スル場合ニ於テハ其ノ現金ハ官金ト區分シ同一容器中ニ之ヲ保管スルコトヲ得
- 第六條 出納官吏本令ノ定ムル所ニ依リ振出ス小切手ハ本令中別段ノ定アル場合ヲ除クノ外之ヲ記名式持參人拂ト爲スヘシ
- 第七條 官廳、出納官吏又ハ日本銀行ヲ受取人トシテ振出ス小切手ハ之ヲ記名式トシ之ニ裏書禁止ノ旨ヲ記載スヘシ  
前項ノ小切手金額ニシテ振替拂込ヲ要スルモノナルトキハ裏面餘白ニ「要振替」ノ印ヲ捺捺スヘシ
- 第八條 現金出納簿ハ一人一冊トシ出納官吏ハ職務及所管廳ノ如何ヲ問ハス其ノ取扱ニ係ル現金ノ出納ヲ總テ之ニ記入スヘシ
- 第九條 外國ニ於ケル出納官吏ノ事務取扱ニシテ本令ニ依リ難キモノニ付

〔輯一三〕

第八款 出納官吏

● 出納官吏事務規程

大正十一年一月十一日  
大藏省令第二號

改正 大正一五年第七號  
昭和元年第二號、九年第八號、一五年第三四號、第五五號

テハ特例ヲ設ケルコトヲ得

第十條 各省大臣ハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外其ノ所屬出納官吏ノ事務取扱ニ付大藏大臣ト協議シ之カ必要ナル事項ヲ定ムルコトヲ得

第十一條 本令ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出納員ノ事務取扱ニ付之ヲ準用ス

第十二條 本令中各省大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、關東州ニ在リテハ關東長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官之ヲ行フ

第二章 收入官吏

第一節 收入金ノ領收

第十三條 收入官吏納人ヨリ納稅告知書、納入告知書又ハ納付書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ收納シ領收證書ヲ納人ニ交付シ其ノ報告書ヲ歳入徵收官ニ送付スヘシ

第十四條 收入官吏納人ヨリ納稅告知書、納入告知書又ハ納付書ヲ添附セシテ現金ノ納付ヲ受ケタルトキ又ハ歳入徵收官ノ口頭告知ニ依リ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ收納シ領收證書ヲ納人ニ交付シ其ノ報告書ヲ歳入徵收官ニ送付スヘシ

第十五條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ邦貨ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣ヲ以テ收納セムトスルトキハ別ニ定ムル外國貨幣換算價格ニ依リ算出シタル金額ノ外國貨幣ヲ收納スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ歳入徵收官ニ送付スル報告書ニ記載スヘキ邦貨額ニ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

〔日本〕

第十六條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ邦貨ヲ以テ收納セムトスルトキハ別ニ定ムル外國貨幣換算價格ニ依リ換算シタル金額ノ邦貨ヲ收納スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ歳入徵收官ニ送付スル報告書ニ邦貨額ヲ記載シ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第十七條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣ヲ以テ收納シタルトキハ別ニ定ムル外國貨幣換算價格ニ依リ換算シタル邦貨額ヲ歳入徵收官ニ送付スル報告書ニ記載シ其ノ收納シタル外國貨幣額ヲ傍記スヘシ

第二節 收入金ノ拂込

第十八條 日本銀行(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)所在地ニ在勤スル收入官吏其ノ在勤地ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ第一號書式ノ現金拂込書ヲ添ヘ現金領收ノ日又ハ其ノ翌日日本銀行ニ拂込ムヘシ但シ領收金額百圓未満ナルトキハ毎十日分ヲ取纏メ日本銀行ニ拂込ムコトヲ得

第十九條 日本銀行所在地外ニ在勤スル收入官吏其ノ在勤地ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ左記期限内ニ現金拂込書ヲ添ヘ日本銀行ニ拂込ムヘシ但シ第二號乃至第四號ノ場合ニ於テハ最初ノ現金領收ノ日ヨリ起算シテ十五日ヲ超ユルコトヲ得ス

- 一 領收金高百圓未満ナルトキハ最初ノ現金領收ノ日ヨリ起算シテ十五日内
- 二 領收金高百圓以上ニ達シタルトキハ其ノ日ヨリ起算シテ十日内



三 領收金高五百圓以上ニ達シタルトキハ其ノ日ヨリ起算シテ五日內

四 領收金高千圓以上ニ達シタルトキハ其ノ翌日限  
第二十條 收入官吏其ノ在勤地外ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ第十八條ノ規定ニ準シ拂込ヲ爲シ得ル場合ヲ除クノ外前條ノ規定ニ準シ之カ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十一條 運輸交通ノ不便ナル地方ニ在勤スル收入官吏ニシテ第十九條ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ所管大臣大藏大臣ト協議シ之カ特例ヲ設クルコトヲ得

第二十二條 收入官吏外國ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ前四條ノ規定ニ準シ之カ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ外國貨幣ノ拂込ヲ爲サムトスルトキハ現金拂込書ニ邦貨額ヲ記載シ外國貨幣額ヲ傍記スヘシ

第二十三條 收入官吏外國ニ於テ領收シタル現金ニシテ前條ノ規定ニ依リ拂込ヲ爲スコト能ハサルモノニ付テハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外一月分ヲ取纏メ之ヲ爲替券ニ換ヘ現金拂込書ヲ添ヘ日本銀行本店ニ拂込ムヘシ

前項ノ現金拂込書ニハ邦貨額ヲ記載シ爲替券面額ヲ傍記スヘシ

第三節 現金拂込報告

第二十四條 收入官吏ハ現金出納簿ニ依リ毎月第二號書式ノ現金拂込仕譯書ヲ調製シ翌月五日迄ニ之ヲ歳入徴收官ニ送付スヘシ

分任收入官吏ノ調製シタル現金拂込仕譯書ハ主任收入官吏ニ於テ之ヲ取纏メ歳入徴收官ニ送付スルモノトス但シ歳入徴收官ニ於テ必要アリト認

ムルトキハ分任收入官吏ヲシテ直接之カ送付ヲ爲サシムルコトヲ得

第三章 資金前渡官吏

第一節 總則

第二十五條 資金前渡官吏日本銀行ニ資金ヲ預託スル場合ニ於テハ該資金前渡官吏ヲ任命シタル者豫メ其ノ資格氏名ヲ當該日本銀行ニ通知スヘシ

第二十六條 資金前渡官吏ハ前條ノ場合ニ於テ照較ノ用ニ供スル爲其ノ印鑑ニ官職氏名ヲ記載シ之ヲ日本銀行ニ提出スヘシ

第二十七條 本章ノ規定ニ依リ資金前渡官吏ノ振出ス小切手ニハ其ノ表面餘白ニ「預託金」ノ印ヲ捺捺スヘシ

第二節 前渡資金ノ受入、保管及引出

第二十七條 日本銀行所在地ニ在勤スル資金前渡官吏ハ其ノ保管ニ屬スル現金ヲ其ノ地ノ日本銀行ニ預託スヘシ但シ當時小口ノ現金支拂ヲ要スル場合ニ於テ支拂官ノ定ムル所要金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條 日本銀行所在地外ニ在勤スル資金前渡官吏ハ其ノ在勤地又ハ出張地最寄ノ日本銀行ニ其ノ保管ニ屬スル現金ヲ預託スルコトヲ得日本銀行所在地ニ在勤スル資金前渡官吏在勤地外ニ於テ現金ヲ保管スルトキ亦同シ

第二十九條 資金前渡官吏前二條ノ規定ニ依リ其ノ現金ヲ日本銀行ニ預託セムトスルトキハ之ニ第三號書式ノ預託金拂込書ヲ添ヘ日本銀行ニ拂込預託金領收證書及小切手用紙ノ交付ヲ受クヘシ

第三十條 資金前渡官吏日本銀行ニ預託シタル現金ヲ引出サムトスルトキハ自己ヲ受取人トスル小切手ヲ振出スヘシ

〔日本〕

〔輯一三〕

第三十一條 資金前渡官吏債主ヨリ支拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ請求ハ正當ナルカ、資金交付ヲ受ケタル目的ニ違フコトナキカラ調査シ之カ支拂ヲ爲シ領收證書ヲ徴スヘシ

第三十二條 資金前渡官吏恩給法上ノ公務員(軍人ニ在リテハ下士官以上ノ軍人ニ限ル)ノ俸給又ハ給料ノ支拂ヲ爲サムトスルトキハ其ノ俸給又ハ給料額ヨリ國庫納金額ヲ控除シタル殘額ノ支拂ヲ爲シ其ノ領收證書ヲ徴スヘシ

第三十三條 資金前渡官吏健康保險又ハ船員保險ノ被保險者ニ報酬ノ支拂ヲ爲サムトスルトキハ其ノ報酬額ヨリ被保險者ノ負擔スヘキ保險料ヲ控除シタル殘額ノ支拂ヲ爲シ其ノ領收證書ヲ徴スヘシ

第三十四條 資金前渡官吏日本銀行預託金中ヨリ支拂ヲ爲サムトスルトキハ現金ノ交付ニ代ヘ該預託金ニ對スル小切手ヲ振出スヘシ但シ受取人ニ於テ特ニ現金ノ交付ヲ求メタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條 資金前渡官吏ハ其ノ振出シタル小切手ニシテ振出日附後一年ヲ經過シ日本銀行ニ於テ未タ支拂ヲ了セサルモノニ付テハ其ノ金額、年度、科目及債主名ヲ支拂官ヲ經由シテ歳入徴收官ニ報告スヘシ

第三十六條 資金前渡官吏前條ノ金額ニ付歳入徴收官ヨリ納入ノ告知ヲ受

ケタルトキハ該金額ヲ券面金額トシ當該官廳ヲ受取人トスル小切手ヲ振出シ該告知書ニ添ヘ日本銀行ニ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ規定ニ依リ納入ノ告知ニシテ前任出納官吏ノ小切手振出ニ係ルモノナルトキハ前項ノ小切手表面餘白ニ「前任出納官吏何某振出ニ係ル分」ト記載スヘシ

第三十七條 第三十四條ノ小切手ニシテ其ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過シ日本銀行ニ於テ支拂ヲ拒絕セラレタルカ爲其ノ所持人ヨリ償還ノ請求アリタルトキハ資金前渡官吏ハ之ヲ調査シ償還スヘキモノト認ムルトキハ事由ヲ詳ニシ證據書類ヲ添ヘ支出官ヲ經由シ之ヲ所管大臣ニ具申シ所管大臣ハ審査ノ上之カ支拂ヲ大藏大臣ニ請求スヘシ

第三十八條 前二條ノ場合ニ於テ資金前渡官吏交替シタルトキハ後任官吏ニ於テ之カ手續ヲ爲スヘシ但シ後任官吏ナキ場合ニ於テハ其ノ殘務ヲ引繼キタル官吏其ノ手續ヲ爲スモノトス

第三十九條 資金前渡官吏資金ヲ隔地ノ出納官吏ニ送付スル必要アル場合ニ於テハ日本銀行ニ之カ送金ヲ請求スルコトヲ得

第四十條 資金前渡官吏前條ノ送金ヲ請求セムトスルトキハ送金額ヲ券面金額トシ日本銀行ヲ受取人トスル小切手ヲ振出シ其ノ裏面ニ受取人ノ資格氏名、支拂店名及送金ヲ要スル旨ヲ記載シ之ヲ預託金ヲ取扱フ日本銀行ニ交付シ領收證書ヲ徴スヘシ

前項ノ場合ニ於テ資金前渡官吏ハ第四號書式ノ預託金支拂通知書ヲ受取人ニ送付スヘシ  
第一項ノ場合ニ於テ資金前渡官吏電信送金ヲ要スルトキハ其ノ振出ス小切手ノ裏面ニ其ノ旨ヲ記入スルト共ニ前項ノ通知書ニ代ヘ電信ヲ以テ受取人ニ通知スヘシ



第四十一條 支出官事務規程中歳出金支拂通知書所載ノ支拂場所ノ變更ニ關スル規定ハ前條ノ預託金支拂通知書ノ支拂店變更ニ付之ヲ準用ス  
第四十二條 毎年度ニ屬スル歳出金ノ支拂ヲ爲シ得ルハ翌年度四月三十日限トス

第四節 拂込及返納

第四十三條 資金前渡官吏第三十二條ノ手續ヲ爲シタルトキハ國庫納金額ニ相當スル現金ニ第五號書式ノ國庫納金額表ヲ添ヘ歳入徴收官ノ指定シタル收入官吏ニ拂込ミ領收證書ノ交付ヲ受ケヘシ  
第四十三條ノ二 前條ノ規定ハ資金前渡官吏第三十二條ノ二ノ手續ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ健康保険料被保險者負擔金表ハ第五號ノ二書式、船員保険料被保險者負擔金表ハ第五號ノ三書式ニ依ル

第四十四條 資金前渡官吏第三十三條ノ手續ヲ爲シタルトキハ相殺金額ニ相當スル現金ニ第六號書式ノ相殺額表ヲ添ヘ歳入徴收官ノ指定シタル收入官吏ニ拂込ミ領收證書ノ交付ヲ受ケヘシ  
前項ノ場合ニ於テ政府ノ債權者資金前渡官吏所屬廳以外ノ官廳ニ對スル債務ヲ以テ相殺シタルトキハ該官廳ノ歳入徴收官ヨリ納入告知書ヲ受ケ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十五條 政府ノ收納スヘキ金額カ相殺額ト同額ナルトキ又ハ之ヲ超過スル場合ニ於テハ資金前渡官吏相殺金額ニ付前條ノ手續ヲ爲スヘシ  
前項ノ場合ニ於テ收納金額ノ相殺額ヲ超過シタルモノニ付テハ資金前渡官吏ハ相殺額ヲ超過シタル金額及相殺ノ相手方ノ氏名ヲ歳入徴收官ニ報告スヘシ

第四十五條ノ二 資金前渡官吏第三十三條ノ二ノ手續ヲ爲シタルトキハ分類所得稅額ニ相當スル現金ニ所得稅法施行細則第一條ニ定ムル拂込書、

計算書及明細書ヲ添ヘ日本銀行ニ拂込ミ領收證書ノ交付ヲ受ケヘシ  
第四十六條 資金前渡官吏其ノ前渡ヲ受ケタル資金ニ付支出官又ハ歳入徴收官ヨリ返納又ハ納入ノ告知書ヲ受ケタルトキハ現金ニ該告知書ヲ添ヘ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十七條 資金前渡官吏ハ前六條ノ場合ニ於テ日本銀行ニ預託シタル金額中ヨリ拂込ヲ爲サントスルトキハ拂込金額ヲ券面金額トスル小切手ヲ振出スヘシ  
第四十八條 前條ノ規定ニ依リ振出ス小切手ハ第四十五條ノ二ノ場合ニ於テハ歳入所屬ノ當該官廳ヲ、其ノ他ノ場合ニ於テハ當該官廳ヲ受取人トシ表面餘白ニ第四十三條ノ場合ニ於テハ「國庫納金」、第四十三條ノ二ノ場合ニ於テハ「健康保険料被保險者負擔金」又ハ「船員保険料被保險者負擔金」、第四十四條及第四十五條ノ場合ニ於テハ「相殺額」、第四十五條ノ二ノ場合ニ於テハ「分類所得稅」ノ印ヲ押捺スヘシ

第五節 證明  
第四十九條 資金前渡官吏日本銀行統轄店又ハ特設代理店ヨリ預託金拂込書並支拂濟小切手ノ番號及金額ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ預託金月計突合表ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ證明ノ上五日内ニ之ヲ統轄店又ハ特設代理店ニ返付スヘシ但シ相違アル點ニ付テハ其ノ事由ヲ附記スルモノトス  
前項ノ規定ニ依リ統轄店ニ返付スル場合ニ於テハ小切手ノ支拂店ヲ經由スヘシ

第五十條 歳入歳出外現金出納官吏領收シタルトキハ領收證書ヲ交付シ其ノ旨ヲ取扱官廳ニ報告スヘシ  
第五十一條 歳入歳出外現金出納官吏ノ領收シタル現金ヲ大藏省預金部預

條、第四十九條、第五十條及第五十二條ノ規定ハ繰替拂出納官吏ニ之ヲ準用ス  
第五十八條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外繰替拂出納官吏ノ事務取扱ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ルヘシ

第六章 事務引繼手續  
第五十九條 出納官吏交替ノ場合ニ於テハ前任出納官吏ハ現金出納簿ニ締切ヲ爲シ引繼ノ年月日ヲ記入シ後任出納官吏ト共ニ記名捺印スヘシ  
第六十條 日本銀行ニ預託金ヲ有スル前任出納官吏ハ前條ノ締切ヲ爲シタル日ニ於ケル預託金現在高ノ證明ヲ日本銀行ニ對シ請求スヘシ

第六十一條 前任出納官吏ハ第八號書式ノ現金現在高書又ハ現金及預託金現在高書並其ノ引繼クヘキ帳簿、證憑其ノ他ノ書類ノ目錄各二通ヲ調製シ後任出納官吏立會ノ上現物ニ對照シ受授ヲ爲シタル後現在高書及目錄ニ年月日及受授ヲシタル旨ヲ記入シ兩出納官吏ニ於テ記名捺印シ各一通ヲ保存スヘシ

第六十二條 前條ノ手續ヲ了シタルトキハ前任出納官吏ハ後任出納官吏ト共ニ記名捺印ノ上預託金現在高引繼通知書ヲ所屬官廳及日本銀行ニ送付スヘシ  
前項ノ通知書ニハ前任出納官吏ノ振出シタル小切手ニシテ日本銀行ニ於テ未タ支拂ヲ了セサル金額ヲ區分記載スヘシ

第六十三條 第二十四條ノ規定ニ依リ調製スヘキ現金拂込仕譯書ハ後任收入官吏ニ於テ之ヲ調製スヘシ  
第六十四條 前任出納官吏死亡又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ引繼ヲ爲スコト能

金ニ拂込ヲ爲ス場合ニ於テハ保管金取扱規程及預金部預金取扱規程ノ定ムル所ニ依ルヘシ  
第五十二條 歳入歳出外現金出納官吏其ノ保管ニ係ル現金ヲ拂渡シタルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ發シ其ノ旨ヲ取扱官廳ニ報告スヘシ

第五章 繰替拂出納官吏  
第五十三條 本令ニ於テ繰替拂出納官吏ト稱スルハ會計規則第六十三條ノ規定ニ依リ其ノ取扱ニ係ル現金ノ繰替使用ヲ爲ス出納官吏ヲ謂フ  
第五十四條 繰替拂出納官吏ハ其ノ取扱ニ係ル歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ニ付交互振替及繰替計算ヲ以テ之カ受拂ヲ爲シ其ノ現金ハ之ヲ一團トシテ取扱フヘシ

第五十五條 繰替拂出納官吏ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外其ノ保管ニ係ル現金ヲ日本銀行ニ預託スヘシ  
第五十六條 第三十九條乃至第四十一條ノ規定ハ帝國鐵道官署ニ於ケル繰替拂出納官吏隔地ノ債主又ハ出納官吏ニ送金ヲ爲スノ必要アル場合ニ付之ヲ準用ス但シ預託金支拂通知書ハ第七號書式ニ依ルモノトス  
前項ノ場合ニ於テ運輸交通ノ不便ノ地ニ在ル債主又ハ出納官吏ヨリ其ノ住所又ハ居所ニ送金ヲ求メタルトキハ其ノ住所又ハ居所ヲ支拂場所ニ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ預託金支拂通知書ニ代ヘ適宜ノ通知書ヲ受取人ニ送付スヘシ

第五十七條 第十三條乃至第十七條、第二十五條、第二十六條、第二十六條ノ二、第二十九條、第三十條、第三十四條乃至第三十八條、第四十二條、第十二輯 財務 第一章 會計 第八款 出納官吏



ハサルトキハ會計規則第四百十六條ノ規定ニ依リ計算書ノ調製ヲ命セラ  
レタル官吏本章ノ定ムル所ニ依リ之カ手續ヲ爲スヘシ

第七章 雜則

第六十五條 出納官吏其ノ保管ニ係ル現金ヲ亡失シタルトキハ遲滞ナク其  
ノ事由ヲ具シ所属官廳ニ報告スヘシ

第六十六條 出納官吏領收濟報告書、現金拂込書又ハ預託金拂込書ノ記載  
事項中誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ翌年度五月三十一日迄ニ歳入徴  
收官又ハ日本銀行ニ之カ訂正ヲ請求スヘシ

第六十七條 出納官吏預託金支拂通知書ノ記載事項中金額以外ノモノニ付  
誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ受取人ヲシテ該預託金支拂通知書ヲ提  
出セシメ之カ訂正ヲ爲シ其ノ事由ヲ記入シ之ヲ受取人ニ返付スヘシ

第六十八條 出納官吏第四十條及第五十六條ニ規定スル小切手ノ裏面記載  
事項ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ遲滞ナク日本銀行ニ之カ訂正ヲ  
請求スヘシ

第六十九條 出納官吏現金拂込ニ係ル領收證書又ハ預託金領收證書ヲ亡失  
又ハ毀損シタル場合ニ於テハ日本銀行ヨリ其ノ拂込濟ノ證明ヲ受クヘシ

第七十條 支出官事務規程中歳出金支拂通知書ヲ亡失又ハ毀損シタル場合  
ニ於ケル取扱ニ關スル規定ハ第四十條第二項及第五十六條第一項ニ規定  
スル預託金支拂通知書ヲ亡失又ハ毀損シタル場合ニ於ケル取扱ニ付之ヲ  
準用ス

第七十一條 出納官吏預託金月計突合表ニ證明ヲ爲シタル後其ノ證明ニ誤  
謬アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ事由ヲ記載シテ證明ヲ爲シ之ヲ日本

銀行統轄店又ハ特取扱代理店ニ送付スヘシ

前項ノ規定ニ依ル統轄店ニ送付スル場合ニ於テハ小切手ノ支拂店ヲ經由  
スヘシ

第七十二條 出納官吏第三十九條又ハ第五十六條ノ規定ニ依リ送金ヲ依頼  
シタル後其ノ必要ナキニ至リタルトキハ支拂未了ナル場合ニ限り日本銀  
行ニ對シ預託金ニ戻入ヲ請求スヘシ其ノ小切手振出日附後一年ヲ經過シ  
仍支拂ヲ了セサルモノニ付亦同シ

附則

第七十三條 本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七十四條 左ノ大藏省令ハ之ヲ廢止ス

出納官吏現金取扱規則

明治三十年大藏省令第一號

帝國鐵道會計所屬出納官吏雜部保管金取扱手續

陸隊經費ヲ取扱フ出納官吏雜部保管金取扱手續

第七十五條 本令施行前金庫ニ寄託ヲ爲シタル現金ハ本令ニ依リ日本銀行  
ニ預託シタルモノト看做ス

第七十六條 本令施行前發行シタル保管金引出切符又ハ雜部保管金仕拂通  
知書ハ本令ニ依リ發行シタル小切手又ハ預託金支拂通知書ニ準シテ之ヲ  
取扱フヘシ

〔印本〕

第一號書式

現金拂込書

|                   |            |  |
|-------------------|------------|--|
| 第「何」號             | 大正「何」年度    |  |
| 「所管廳」             | 「歳入徴收官官氏名」 |  |
| 「經常(臨時)」          | 「取 扱 廳」    |  |
| 金                 |            |  |
| 上記ノ金額拂込候也         |            |  |
| 大正「何」年「何」月「何」日    |            |  |
| 「何廳主任收入官吏 官 氏 名」印 |            |  |
| 又ハ「何廳主任收入官吏官氏名所屬」 |            |  |
| 「何廳分任收入官吏 官 氏 名」印 |            |  |

通知書

|                |                 |  |
|----------------|-----------------|--|
| 第「何」號          | 大正「何」年度         |  |
| 「經常(臨時)」       | 「何廳主任收入官吏官氏名」   |  |
|                | 「何廳主任收入官吏官氏名所屬」 |  |
|                | 「何廳分任收入官吏官氏名」   |  |
| 金              |                 |  |
| 上記ノ金額領收濟ニ付通知候也 |                 |  |
| 大正「何」年「何」月「何」日 |                 |  |
| 日本銀行「何」店 印     |                 |  |
| 「歳入徴收官官氏名」宛    |                 |  |

〔印本〕



領 收 證 書

第「何」號 大正「何」年度

|            |   |
|------------|---|
| 「所 管 廳」    | 「歲 入 徵 收 官 官 氏 名」                                 |
| 「經 常(臨 時)」 | 「何廳主任收入官吏官氏名」<br>「何廳主任收入官吏官氏名所屬」<br>「何廳分任收入官吏官氏名」 |

金

上記ノ金額領收候也

大正「何」年「何」月「何」日

日本銀行「何」店圖

備考 一 用紙寸法 縦 五寸六分 輪廓寸法 縦 四寸五分 横 三寸八分  
 ノモノ三枚接續トシテ左方ニ一ノ總代ヲ設ケラセシム  
 二 特別會計ノ歲入金ニ付テハ年度ノ次ニ特別會計名ヲ記載スルモノトス  
 三 金額、番號、年度、特別會計名、所管廳名、歲入徵收官官氏名及經常臨時部名ハ收入官吏ニ於テ記入スルモノトス

第二號書式

大正「何」年度  
大正「何」年「何」月分現金拂込仕票書

| 摘 要       | 金 額 | 備 考 |
|-----------|-----|-----|
| 前月迄拂込未済   |     |     |
| 本月中現金領收高計 |     |     |
| 本月中現金拂込高  |     |     |
| 差引翌月へ越    |     |     |

大正「何」年「何」月「何」日  
 「主任(又ハ分任)收入官吏 官 氏 名」圖  
 「歲入徵收官官氏名宛」  
 備考 用紙ハ美濃判四分ノ一トス

〔註 1 1 〇 2〕

〔附 2〕

第三號書式 預 託 金 拂 込 書

第「何」號

金

上記ノ金額預託候也

大正「何」年「何」月「何」日

「何廳出納官吏官氏名」圖

日本銀行「何」店 宛

備考 用紙 適宜  
 用紙寸法 美濃判四分ノ一  
 原符ハ適宜之ヲ設ケラルコトヲ得

第四號書式 領 收 證 預 託 金 支 拂 通 知 書

|  |                             |  |
|--|-----------------------------|--|
| 前記ノ金額領收候也<br>大正「何」年「何」月「何」日<br>「何廳(又ハ)總船<br>出納官吏官氏 名」圖 | 第「何」號<br>取收廳名<br>預託金取扱日本銀行名 | 前記ノ金額日本銀行本店(何地支店又ハ代理店)ニ於テ受領セラレシ<br>大正「何」年「何」月「何」日<br>「何廳出納官吏官氏 名」圖 |
|--|-----------------------------|--|

金

備考 一 用紙寸法 縦 五寸二分 横 六寸三分  
 輪廓寸法 縦 四寸四分 横 五寸四分  
 二 本書ハ左方ニ一ノ總代ヲ設ケラセシム  
 三 支拂指定日本銀行ニ於テ支拂ノ上ハ本書ヲ預託金取扱日本銀行ニ送付スベシ

三三三三



第十二輯 財務 第一章 會計 第八款 出納官吏

第五號書式

三三四

收入取扱官廳

(一般會計)

國庫納金額表

| 所管廳 | 年 | 度 | 現金又ハ小切手 | 國庫納金額者氏名    | 俸給又ハ給料額 | 國庫納金額 | 備 | 考 |
|-----|---|---|---------|-------------|---------|-------|---|---|
|     |   |   | 現金又ハ小切手 | 國庫納金額者氏名    | 俸給又ハ給料額 | 國庫納金額 |   |   |
|     |   |   | 上       | 記ノ國庫納金額拂込候也 |         |       |   |   |
|     |   |   | 大正「何」   | 年「何」月「何」日   |         |       |   |   |
|     |   |   | 「何」廳資金  | 前渡官吏官氏名「何」  |         |       |   |   |
|     |   |   | 「何」廳收入  | 官更官氏名「何」    |         |       |   |   |
|     |   |   | 備考 用紙ハ  | 美濃判半裁トス     |         |       |   |   |

〔註川中〕

第五號ノ二書式

(一般會計)

〔註一三三〕

收入取扱官廳

健康保険料被保險者負擔金表

| 所管廳 | 年 | 度 | 現金又ハ小切手 | 健康保険料被保險者氏名 | 報酬額 | 保険料負擔金 | 備 | 考 |
|-----|---|---|---------|-------------|-----|--------|---|---|
|     |   |   | 現金又ハ小切手 | 健康保険料被保險者氏名 | 報酬額 | 保険料負擔金 |   |   |
|     |   |   |         |             |     |        |   |   |
|     |   |   |         |             |     |        |   |   |

上記ノ健康保険料被保險者負擔金拂込候也

昭和「何」年「何」月「何」日

「何」廳資金前渡官吏官氏名「何」

「何」廳收入官吏官氏名「何」

第五號ノ三書式

收入取扱官廳

船員保険料被保險者負擔金表

(會計)















歳出金繰替拂通知書(兼領收證)

|                                      |                                |                           |             |                         |                         |
|--------------------------------------|--------------------------------|---------------------------|-------------|-------------------------|-------------------------|
| 記 帳 番 號                              | 昭和「何」年「何」月「何」日<br>「何」會計(「何」勘定) | 昭和「何」年「何」月「何」日<br>小 切 手 第 | 府 縣 「何」 局 所 | 昭和「何」年「何」月「何」日<br>「住 所」 | 昭和「何」年「何」月「何」日<br>「住 所」 |
| 指定繰替<br>拂渡局所                         |                                | 「何」                       |             | 「何」                     |                         |
| 金                                    |                                | 「何」                       |             | 「何」                     |                         |
| 本行ノ金額指定ノ繰替拂渡局所ニ出頭シ現金ヲ受領セラルヘシ         |                                |                           |             |                         |                         |
| 昭和「何」年「何」月「何」日                       |                                |                           |             |                         |                         |
| 「何」ノ「誰」殿                             |                                |                           |             |                         |                         |
| 上記ノ金額領收候也                            |                                |                           |             |                         |                         |
| 「何局長官氏名」印                            |                                |                           |             |                         |                         |
| 昭和「何」年「何」月「何」日<br>「住 所」 受取人 「何」ノ「誰」印 |                                |                           |             |                         |                         |
| 印 紙 入 紙 入                            |                                |                           |             |                         |                         |

用紙寸法縦二八二横  
輪廓寸法縦一〇五横

注意 受取人ハ裏面ノ注意事項ヲ熟覽セラルヘシ

裏 面

|   |   |
|---|---|
| <p>一 本通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ可成速ニ現金ヲ受取ラルヘシ</p> <p>二 受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所氏名ヲ記入捺印シ現金領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ繰替拂渡局所ニ差出シ現金ノ拂渡ヲ受ケラルヘシ</p> <p>三 代理人ヲシテ現金ノ拂渡ヲ受ケシムルトキハ下ニ印欄シテ委任状字ノ處ニ代理人ノ氏名、年月日及本人ノ住所氏名ヲ記入捺印スルカ又ハ別ニ委任状ヲ差出サルヘシ此ノ場合ニ於テハ代理人ハ本書ニ代理人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印セラルヘシ</p> <p>四 受取人ノ印章ハ請求書ニ捺捺シタルモノト同一ノモノニ限ル</p> <p>五 受領金額拾圓以上ノモノハ參錢收入印紙ヲ貼付消印セラルヘシ但シ營業ニ關セサルモノハ此ノ限ニ在ラス</p> | <p style="text-align: center;">注 意 事 項</p> <p>本通知書金額ノ受取方ヲ</p> <p style="text-align: center;">= 委任状候也</p> <p style="text-align: center;">昭和「何」年「何」月「何」日</p> <p style="text-align: center;">「住 所」</p> <p style="text-align: center;">「何」ノ「誰」印</p> |
|---|---|

備 考

- 一 本證票及通知書ハ第一號書式乙及第一號書式丙ニ依ルモノ以外ノ歳出金ノ繰替拂ヲ要スルトキ發スルモノトス
- 二 本證票及通知書ハ一般會計ニ屬スルモノハ綠色刷、通信事業特別會計資本勘定ニ屬スルモノハ空白刷、同用品勘定ニ屬スルモノハ代赭色刷、同業務勘定ニ屬スルモノハ黑色刷トス







●大正八年遞信省令第三號(郵便、電信及電話官署ノ出納員ニ關スル件)

大正八年二月二十六日  
遞信省令第三號

改正 大正一五年第四三號

昭和一四年第九號、一五年第七七號

郵便、電信及電話官署ノ出納員ハ當該官署ノ官吏、官吏待遇者及雇員ノ中ヲ以テ之ニ充ツ  
出納官吏ヲ置ク官署ノ出納員ハ當該官署長ノ指定スル所ニ從ヒ現金ノ出納ヲ爲シ出納官吏ヲ置カサル官署ノ出納員ハ總テノ現金ノ出納ヲ爲スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年三月三選信省令第九號ハ之ヲ廢止ス

●明治三十九年法律第四十號(鐵道國有法ニ依リ買收シタル鐵道ノ出納官吏ニ關スル法律)

明治三十九年四月十一日  
法律第四十號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收シタル鐵道ノ出納官吏ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理、大藏、選鐵道國有法及京釜鐵道買收法)ニ依リ買收シタル鐵道ノ出納官吏ハ當分ノ内雇員ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

【鐵道院】出納員現金取扱規則

明治四十二年四月一日  
大藏省令第二十號

改正 明治四十二年第四八號、四三年第一五號

鐵道院出納員現金取扱規則左ノ通相定ム

【鐵道院】出納員現金取扱規則

- 第一條 【鐵道院】出納員ハ【鐵道院】書記、雇員、特別鐵道貨物集配人及特別鐵道驛夫ヲ以テ之ニ充ツ
- 第二條 出納員ハ左ノ範圍内ニ於テ現金ノ出納ヲ爲スヘシ
  - 一 各種ノ歳入金
  - 二 主任出納官吏在勤局所ヨリ派出仕拂ヲ要スル繰替拂出金
- 第三條 出納員ハ【明治二十三年大藏省令第九號第十九號書式】現金出納簿ヲ備ヘ現金ノ出納ヲ登記スヘシ但シ特種ノ帳簿ヲ以テ現金出納簿ニ代用シ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第四條 出納員ハ其ノ領收シタル現金ヲ毎日精算シ遲滞ナク其ノ所屬出納官吏ヘ拂込ミ領收證書ヲ受クヘシ
- 第五條 出納員ハ其ノ所屬出納官吏ヨリ現金ヲ受領シタルトキハ領收證書ヲ發スヘシ
- 第六條 特種ノ帳簿ニ依リ現金ノ受授ヲ證シ得ル場合ハ前二條ノ領收證書ヲ要セス
- 第七條 現金出納ノ取扱ニ關シ本規則ノ外特ニ規定シタルモノハ其ノ規定ニ依ル

附則

本令ハ明治四十二年度ヨリ之ヲ施行ス







保險金支拂通知書  
保險遺付金

通知書番號 \_\_\_\_\_

府 縣 局  
郵便局名

保險院簡易保險局「支局」長印

下記ノ金額指定ノ拂渡局ニ於テ本書ト引換ニ可拂渡候也

金 \_\_\_\_\_ 圓

|                            |         |             |       |
|----------------------------|---------|-------------|-------|
| 所發<br>屬行<br>年日<br>度附<br>及印 | 受領者記名調印 | 上記ノ金額正ニ受領候也 | 拂渡日附印 |
|----------------------------|---------|-------------|-------|

保險院

第三號書式  
用紙寸法  
橫縱 一八二四  
耗 一五四  
輪廓寸法  
橫縱 七一四  
耗 一七五

報知書

通知書番號 \_\_\_\_\_

受取人氏名 \_\_\_\_\_

年金證書記號番號 \_\_\_\_\_

金 \_\_\_\_\_ 圓

|      |       |     |     |     |       |
|------|-------|-----|-----|-----|-------|
| 拂渡局名 | 府 縣 局 | 日 計 | 口 數 | 金 額 | 拂渡日附印 |
|------|-------|-----|-----|-----|-------|

保險院

第四號書式  
用紙寸法  
橫縱 一八二四  
耗 一五四  
輪廓寸法  
橫縱 七一四  
耗 一七五

通知書

通知書番號 \_\_\_\_\_

保險院簡易保險局長印

殿

年金證書記號番號 \_\_\_\_\_

下記ノ金額指定ノ拂渡局ニ於テ本書ト引換ニ可拂渡候也

金 \_\_\_\_\_ 圓

上記ノ金額正ニ受領候也

|        |       |         |       |
|--------|-------|---------|-------|
| 拂渡郵便局名 | 府 縣 局 | 受領者記名調印 | 拂渡日附印 |
|--------|-------|---------|-------|

保險院

〔輯一〇二〕

裏 面

注 意 文

表面ノ金額受取方ヲ \_\_\_\_\_ = 委任候也

〔輯一〇二〕



**貸付通知書**  
(普通貸付證書)

貸付  
番 號

股 保險證書  
記號番號

拂渡 府 局 受持局  
郵便局名 縣 記號

|   |   |
|---|---|
| 金 | 圓 |
|---|---|

發行日附印 | 受記名調領者住所印 | 上記貸付金額借用致候 = 付テハ  
來ル年月日迄 = 辨済可致候也 | 拂渡日附印

保 險 院

第六號書式  
用紙寸法 横一八五 縦一二四  
輪廓寸法 横一六五 縦一四一

裏 面

注 意 文

表面ノ金額受取方ヲ = 委任候也

裏 面

注 意 文

表面ノ金額受取方ヲ = 委任候也

第五號書式

**貸付報知書**

貸付  
番 號

受取人名 保險證書  
氏 記號番號

拂渡 府 局 受持局  
局 名 縣 記號

|   |   |
|---|---|
| 金 | 圓 |
|---|---|

|       |           |       |
|-------|-----------|-------|
| 發行日附印 | 日 口 數 金 額 | 拂渡日附印 |
|       | 計 圓       |       |

保 險 院

用紙寸法 横一八五 縦一二四  
輪廓寸法 横一六五 縦一四一



裏 面

注 意 文

---

表面ノ金額受取方ヲ =委任候也

●朝鮮總督府遞信官署現金受拂規

第七號書式

第十二輯 財務 第一章 會計 第八款 出納官吏

年金貸付報知書

發行日附印

付 號  
貨 番

受取人  
氏 名

年金證書  
記號番號

金

|      |   |     |     |     |       |
|------|---|-----|-----|-----|-------|
| 拂渡局名 | 府 | 日 計 | 口 數 | 金 額 | 拂渡日附印 |
|      | 縣 |     | 局   | 局   |       |

保 險 院

用紙寸法 橫一八二四 縱一八五 輪廓寸法 橫一七五 縱一七四

第八號書式

三四〇ノ六

年金貸付通知書  
(年金貸付證書)

發行日附印

付 號  
貨 番

受取人  
氏 名

年金證書  
記號番號

金

|        |   |         |    |   |       |
|--------|---|---------|----|---|-------|
| 拂渡郵便局名 | 府 | 受領者住所記名 | 調印 | 上 記 貸 付 金 額 借 用 致 候<br>= 付 テ ハ 來 ル 年 月<br>日 迄 = 辨 濟 可 致 候 也 | 拂渡日附印 |
|        | 縣 |         |    |   |       |

保 險 院

用紙寸法 橫一八二四 縱一八五 輪廓寸法 橫一七五 縱一七四



則

大正十一年四月一日 朝鮮總督府令第五十七號

改正 昭和二年第九七號、四年第九二號、一六年第三二號

朝鮮總督府逕信官署現金受拂規則左ノ通定ム

第一章 總則

- 第一條 朝鮮總督府逕信官署(以下單ニ逕信官署トス)ノ出納官吏及出納員ハ會計規則第六十三條ノ規定ニ依リ歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ニ付交互振替及繰替計算ヲ以テ之カ受拂ヲ爲スヘシ
- 前項現金ノ出納保管ニ關スル事務取扱方ニ付ハ出納官吏事務規程ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ
- 第二條 郵便局ニ於テ歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂上現金ニ殘餘ヲ生シ又ハ缺乏ヲ告グルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ京城貯金管理所ニ對シ其ノ殘金ノ回納ヲ爲シ又ハ同所ヨリ資金ハ交付ヲ受ケヘシ
- 第三條 郵便局ニ於ケル出納官吏及出納員ノ備フル現金出納簿ハ朝鮮總督府ノ定ムル帳簿ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得
- 第四條 支出官事務規程第三十一條、第三十二條、第三十四條及第三十五條ノ規定ハ第六條又ハ第十六條ニ規定スル繰替拂通知書記載事項ノ誤謬訂正、亡失又ハ毀損ノ場合ニ於ケル取扱ニ付之ヲ準用ス
- 第二章 逕信官署所屬現金受拂
- 第五條 逕信官署ノ歳入徴收官郵便局ニ歳入金ヲ納付セシムトスルトキハ第一號書式ノ納入告知書ヲ發スヘシ但シ即納ノ場合ニ於テハ納入告知書ヲ發スルコトヲ要セズ

第六條 逕信官署ニ於テ歳出金ノ繰替拂ヲ要スルトキハ當該官署ノ長第二號書式ノ歳出金繰替拂證券及同通知書ヲ發行シ該證券ハ之ヲ繰替拂ヲ爲ス郵便局ニ送付シ通知書ハ之ヲ債主ニ交付スヘシ但シ保險金及保險還付金ノ繰替拂ヲ爲ス場合ニ於テハ債主ノ支拂請求書又ハ支拂報知書ヲ以テ證券ニ代用スヘシ

前項ノ場合ニ於テ隔地ノ債主ニ對シ緊急繰替拂ヲ要スルトキハ證券及通知書ノ發行ニ代ヘ電信ヲ以テ其ノ旨通知スヘシ

第七條 郵便局ニ於テ債主ヨリ前條ノ通知書ヲ以テ拂渡ノ請求ヲ受ケタルトキハ現金ノ拂渡ヲ爲シ其ノ領收證書ヲ發スヘシ

前項ノ規定ハ電信ニ依リ繰替拂通知ヲ以テ拂渡ノ請求ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第八條 前條ニ依リ郵便局ニ於テ繰替拂ヲ爲シタル歳出金ニ對シテハ當該支出官京城貯金管理所出納官吏ヲ受取人トスル小切手ヲ振出スヘシ

京城貯金管理所出納官吏前項ノ小切手ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ヲ其ノ小切手支拂店ニ呈示シ預託金ニ振替拂込ヲ爲スヘシ

第九條 郵便局ハ毎日歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂高ヲ精算シ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ京城貯金管理所ニ報告スヘシ

第十條 京城貯金管理所ハ前條ノ報告ニ依リ其ノ現金受拂高ヲ總括精算シ同所出納官吏ヲシテ日本銀行京城代理店ニ對シ毎日其ノ歳入金ノ振替拂込及歳入歳出外現金ノ振替受拂ヲ爲サシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ要スル歳入金振替拂込書ハ第三號書式ニ依ル

第十一條 逕信官署ニ於ケル支出官ノ備フル支出簿ハ第四號書式ニ依ル

第十二條 逕信官署以外ノ官署ノ歳入徴收官日本銀行代理店所在地外ノ郵便局ニ歳入金ヲ納付セシムトスルトキハ第五號書式ノ納稅告知書又ハ第六號書式ノ納入告知書ヲ發スヘシ

第十三條 逕信官署以外ノ官署ノ支出官日本銀行代理店所在地外ノ郵便局ニ歳出金ヲ返納セシメ之ヲ定額ニ戻入セムトスルトキハ第七號書式ノ返納告知書ヲ發スヘシ

第十四條 第十二條ノ告知書ヲ受ケシテ歳入金ヲ納付スヘキ義務アル者直ニ歳入金ヲ郵便局ニ納付セムトスルトキハ第八號書式ノ納付書ヲ添付スヘシ收入官吏其ノ收納シタル歳入金ヲ郵便局ニ拂込マムトスルトキ亦同シ

第十五條 郵便局ニ於テ第十二條乃至第十四條ニ依リ歳入金又ハ返納金ノ受入ヲ爲シタルトキハ毎日其ノ受入高ヲ精算シ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ京城貯金管理所ニ報告シ同所出納官吏ハ歳入金ニ付テハ第九號書式ノ振替拂込書及第十號書式ノ合計票ヲ調製シ第十三條ノ受入金ニ付テハ第十一號書式ノ振替拂込書ニ返納告知書ヲ添ヘ振替計算ヲ以テ該歳入金又ハ返納金ヲ日本銀行京城代理店ニ拂込ムヘシ

第十六條 逕信官署以外ノ官署ノ支出官日本銀行代理店所在地外ニ在ル債主ニ對シ歳出金ノ支拂ヲ要スルトキハ小切手及第十二號書式ノ歳出金繰替證券並同通知書ヲ發行シ小切手及該證券ハ之ヲ日本銀行代理店ニ該通知書ハ之ヲ債主ニ送付スヘシ

第十七條 郵便局ニ於テ債主ヨリ前條ノ通知書ヲ以テ拂渡ノ請求ヲ受ケタル指定郵便局ニ送付ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
本令施行ノ際現存スル帳簿及用紙ハ當分ノ内之ヲ取繕ヒ使用スルコトヲ得(書式省略)

● 明治四十五年朝鮮總督府令第六十四號 (朝鮮總督府逕信官署ノ出納員ニ關スル件)

明治四十五年三月二十八日 朝鮮總督府令第六十四號

改正 昭和一六年第三二號  
朝鮮總督府逕信官署ノ出納員ハ朝鮮總督府逕信書記、朝鮮總督府逕信書記補、朝鮮總督府特定郵便局長、雇員及郵便集配人ヲ以テ之ニ充ツ  
出納員ハ當該局所長ノ指定スル所ニ從ヒ現金ノ出納ヲ爲スヘシ但シ局所長ニシテ出納員タルモノハ總テノ現金ノ出納ヲ爲スヘシ

附則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

● 朝鮮總督府鐵道官署現金受拂規則

大正十四年四月一日 朝鮮總督府令第二十三號



朝鮮總督府鐵道官署現金受拂規則ノ通定ム  
朝鮮總督府鐵道官署現金受拂規則

第一條 朝鮮總督府鐵道官署ノ出納官吏及出納員ハ會計規則第六十三條ノ規定ニ依リ其ノ所屬歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ニ付交互振替及繰替計算ヲ以テ之カ受拂ヲ爲シ其ノ現金ハ一團トシテ取扱フヘシ  
前項現金ノ出納保管ニ關スル事務取扱ニ付テハ出納官吏事務規程ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第二條 支出官、出納官吏又ハ出納員ヲシテ繰替拂ヲ爲サシメムトスルトキハ繰替拂傳票ヲ以テ當該出納官吏又ハ出納員ニ命スヘシ  
支出官ハ朝鮮總督ノ指定シタル他ノ官吏(單ニ繰替拂命令官ト稱ス)ヲシテ繰替拂傳票ヲ發シムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ他ノ官吏ヲシテ繰替拂傳票ヲ發シシメムトスルトキハ支出官ハ定額豫算ヲ以テ之ヲ當該官吏ニ命スヘシ

第三條 繰替拂命令官ハ支出官ノ例ニ準シ繰替拂執行ノ責ニ任スヘシ

第四條 出納官吏歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂上殘金ヲ生シタルトキハ分任出納官吏ハ之ヲ所屬主任出納官吏ニ回納シ主任出納官吏ハ之ヲ日本銀行ニ預託スヘシ但シ必要アル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ豫メ其

第一號様式

歳入金振替拂込書  
用紙適宜 縦四寸五分ノモノ二枚 横四寸五分ノモノ一枚 接續  
横三寸三分ノモノ一枚

|     |       |            |         |       |       |
|-----|-------|------------|---------|-------|-------|
| 歳入金 | 第「何」號 | 大正「何」年度歳入計 | 「大藏省所管」 | 歳入徴收官 | 「官」氏名 |
|     |       |            |         | 取     | 「何」處  |

〔輯八五〕

振替拂込書

一金「何程」  
但シ預託金ヨリ振替拂込ノ分  
右拂込候也  
大正「何」年「何」月「何」日

「何處」出納官吏  
「官」氏名

〔輯六〕

領收證書

第「何」號  
大正「何」年度歳入計  
「大藏省所管」  
一金「何程」  
但シ預託金ヨリ振替拂込ノ分  
右領收候也  
大正「何」年「何」月「何」日

歳入徴收官  
「官」氏名  
出納官吏  
「官」氏名  
日本銀行「何」店 印

通知書

第「何」號  
大正「何」年度歳入計  
「大藏省所管」  
一金「何程」  
但シ預託金ヨリ振替拂込ノ分  
右領收済ニ付通知候也  
大正「何」年「何」月「何」日  
「歳入徴收官官氏名宛」

取  
「何」處  
振  
「官」氏名  
出  
「官」氏名  
納  
日本銀行「何」店 印



●昭和六年朝鮮總督府令第八十三號  
 (朝鮮總督府專賣官署ノ分任收入官吏及出納員ニ關スル件)  
 收入官吏及出納員ニ關スル件)

昭和六年七月一日  
 朝鮮總督府令第八十三號

- 朝鮮總督府專賣官署ノ分任收入官吏及出納員ニ關スル件左ノ通定ム
- 第一條 朝鮮總督府專賣局販賣所(以下單ニ販賣所ト稱ス)ニ分任收入官吏及出納員ヲ置ク
  - 現金出納保管ニ關スル事務取扱ニ付テハ出納官吏事務規程ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依ルベシ
  - 第二條 販賣所ノ煙草賣渡代金ハ分任收入官吏又ハ出納員之ヲ收納スベシ
  - 第三條 分任收入官吏又ハ出納員煙草賣渡代金ヲ收納シタルトキハ第一號様式ノ煙草賣渡傳票及同領收書ヲ發行シ領收書ハ小賣人ニ交付シ傳票ハ原符トシテ保存スベシ
  - 第四條 出納員ノ領收シタル現金ハ其ノ都度之ヲ所屬分任收入官吏ニ拂込ムベシ但シ出納員遠隔ノ地ニ駐在シ其ノ都度拂込ヲ爲シ難キトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 前項ノ拂込ハ第二號様式ノ煙草賣捌受拂票ヲ以テシ其ノ原符ヲ以テ出納員ノ備フベキ現金出納簿ニ代用スルコトヲ得
- 附則  
 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式 第一輯 出納官吏

| 種類 | 品名          | 實賣數量 | 當日現在 | 賣渡數量 | 單價   | 代金 | 次回定賣數量 | 第 巡 回 番 號 | 昭和 年 月 日 |   |
|----|-------------|------|------|------|------|----|--------|-----------|----------|---|
|    |             |      |      |      |      |    |        |           | 口 付      | 切 |
| 鳥  | 日 風         |      |      |      | 2700 |    |        |           |          |   |
| 鳥  | シ - シ - シ - |      |      |      | 2160 |    |        |           |          |   |
| 鳥  | コ - シ - ヲ - |      |      |      | 1620 |    |        |           |          |   |
| 鳥  | カ           |      |      |      | 3480 |    |        |           |          |   |
| 鳥  | ヒ           |      |      |      | 2250 |    |        |           |          |   |
| 鳥  | カ           |      |      |      | 2700 |    |        |           |          |   |
| 鳥  | ヒ           |      |      |      | 2700 |    |        |           |          |   |
| 鳥  | ヒ           |      |      |      | 2250 |    |        |           |          |   |
| 鳥  | ヒ           |      |      |      | 1800 |    |        |           |          |   |
| 鳥  | ヒ           |      |      |      | 900  |    |        |           |          |   |
| 鳥  | 丹           |      |      |      | 945  |    |        |           |          |   |
| 鳥  | サ           |      |      |      | 720  |    |        |           |          |   |
| 鳥  | サ           |      |      |      | 576  |    |        |           |          |   |
| 鳥  | 不           |      |      |      | 090  |    |        |           |          |   |

煙草賣渡領收書(傳票)



| 出賣人民名 |     | 刻 |   | 頁番號 |   | 小賣人承認印 |   |
|-------|-----|---|---|-----|---|--------|---|
| 長     | 短   | 年 | 月 | 日   | 頁 | 番      | 號 |
| 同     | (7) |   |   |     |   |        |   |
| 總     | 額   |   |   |     |   | 0900   |   |
| 輸入    |     |   |   |     |   |        |   |
| 特定    |     |   |   |     |   |        |   |
| 番號    |     |   |   |     |   |        |   |
| 當     | 月   | 代 | 金 | 累   | 計 | 當      | 日 |
| 方     | 面   | 町 | 面 | 氏   | 名 | 氏      | 名 |

（上部欄外ノ番號ハ各出納員ニ受持區域ノ各小賣人チ一箇年度通シテ追番號）  
 （ト爲スベシ）  
 本用紙ハ複寫式トシテ上ヲ領收書トシテ他ヲ傳票ト爲スベシ

四六〇

（四二八）

第二號様式

（出納員現金出納簿兼用）

（二枚複寫式）

第「何」號  
 何枚  
 分  
 何枚  
 何枚

昭和 年 月 日  
 昭和 年 月 日  
 昭和 年 月 日  
 昭和 年 月 日

本票收納金額ノ通リ拂込ノ爲授受チ了ス  
 昭和 年 月 日  
 分任收入官吏 櫻草 販賣所長 氏 氏  
 出納員 職 職 氏 氏

名  
 名  
 名

| 品名 | 區分 | 受 |   |   | 拂            |    |        | 計 |
|----|----|---|---|---|--------------|----|--------|---|
|    |    | 枚 | 置 | 場 | 小賣人へ賣渡<br>數量 | 金額 | 返<br>荷 |   |
| 敷  | 鳥  |   |   |   |              |    |        |   |
| 朝  | 日  |   |   |   |              |    |        |   |
| 松  | 風  |   |   |   |              |    |        |   |
| シ  | ー  |   |   |   |              |    |        |   |
| コ  | ン  |   |   |   |              |    |        |   |
| カ  | イ  |   |   |   |              |    |        |   |
| ヒ  | シ  |   |   |   |              |    |        |   |
| マ  | ー  |   |   |   |              |    |        |   |







### ● 刑務所出納員規則

昭和十四年二月四日  
朝鮮總督府令第六號

刑務所出納員規則左ノ通定ム

刑務所出納員規則

第一條 刑務所及同支所(以下單ニ刑務所ト稱ス)ニ於テ製品ノ出張販賣ヲ爲ス爲必要アル場合ニ於テハ庶務課又ハ庶務係勤務ノ看守ニ對シ出納員ヲ命ズルコトヲ得

現金出納保管ニ關スル事務取扱ニ付テハ出納官吏事務規程ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依ルベシ

第二條 刑務所ノ製品賣渡代金ヲ現金ニテ納付セントスル者アルトキハ出納員之ヲ收納スルコトヲ得

第三條 出納員製品賣渡代金ヲ收納シタルトキハ第一號様式ノ刑務所製品賣渡代金領收證書ヲ發行シ之ヲ納人ニ交付スベシ

〔輯九六〕

第四條 出納員ノ領收シタル現金ハ其ノ都度之ヲ所屬收入官吏ニ拂込ムベシ但シ出納員遠隔ノ地ニ於テ領收シタル現金ニシテ其ノ都度拂込ヲ爲シ難キトキハ此ノ限ニ在ラズ  
前項ノ規定ニ依ル拂込ハ刑務所製品賣渡代金領收證書原符及第二號様式ノ刑務所製品賣渡代金受拂票ヲ以テシ刑務所製品賣渡代金受拂票原符ハ出納員ノ備フベキ現金出納簿ニ代用スルコトヲ得

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
(様式省略)

〔輯九六〕



### 臺灣總督府遞信官署現金受拂規則

大正十一年七月十五日  
臺灣總督府令第四百四十二號

改正 昭和十六年第一二二號  
臺灣總督府遞信局及遞信官署現金受拂規則左ノ通相定ム

臺灣總督府遞信官署現金受拂規則

- 第一條 交通部遞信部、同郵便局、同電信局及同電話局（以下遞信官署ト稱ス）ノ出納官吏及出納員ハ會計規則第六十三條ノ規定ニ依リ歳入金歳出金及歳入歳出外現金ニ付交互振替及繰替計算ヲ以テ之カ受拂ヲ爲シ其ノ現金ハ之ヲ一團トシテ取扱フヘシ
- 前項現金ノ出納保管ニ關スル事務取扱方ニ付テハ出納官吏事務規程ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ
- 第二條 【遞信官署】ニ於テ歳出金ノ繰替拂ヲ要スルトキハ當該官署ノ長第一號書式ヲ證書及通知書ヲ發シ其ノ證書ハ之ヲ繰替拂ヲ爲サシムヘキ出納官吏又ハ出納員ニ送付シ通知書ハ之ヲ債主ニ交付スヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ隔地ノ債主ニ對シ緊急繰替拂ヲ要スルトキハ證書及通知書ノ發行ニ代ヘ電信ヲ以テ其ノ旨出納官吏又ハ出納員及債主ニ通知スヘシ
- 第三條 出納官吏又ハ出納員債主ヨリ前條ノ通知書ヲ以テ拂渡ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ證據ト對查シ現金ノ拂渡ヲ爲シ其ノ領收證書ヲ發スヘシ
- 前項ノ規定ハ電信ニ依ル繰替拂通知ヲ以テ拂渡ノ請求ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス
- 第四條 前條ニ依リ出納官吏又ハ出納員ニ於テ繰替拂ヲ爲シタル歳出金ニ對シテハ當該支出官出納官吏ヲ受取人トスル小切手ヲ振出シ其ノ現金ノ補填ヲ爲スヘシ

出納官吏前項ノ小切手ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ヲ其ノ小切手支拂店ニ呈示シ預託金ニ振替拂込ヲ爲シ又ハ第五條ノ過超金ニ振替同納ヲ爲スヘシ

第五條 【遞信官署】ニ於テ歳入金歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂上現金ニ殘餘ヲ生シ又ハ缺乏ヲ告ケルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ過超金トシテ交通部遞信部ニ同納シ又ハ同部ヨリ之カ資金ノ交付ヲ受ケヘシ

第六條 【遞信官署】ハ毎日歳入金歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂高ヲ精算シ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ交通部遞信部長ニ報告スヘシ

第七條 交通部遞信部長ハ前條ノ報告ニ依リ其ノ現金受拂高ヲ總括精算シ同部出納官吏ヲシテ日本銀行ニ對シ毎日其ノ歳入金ノ振替拂込及歳入歳出外現金ノ振替受拂ヲ爲サシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ要スル歳入金振替拂込書ハ第二號書式ニ依ル

第八條 【遞信官署】ニ於ケル支出官ノ備フヘキ支出簿ハ第三號書式ニ依ル

出納官吏ノ備フル現金出納簿ハ出納員ヲ置カサル官署ニ在リテハ別ニ定ムル帳簿ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

第九條 支出官事務規定第三十一條、第三十二條、第三十四條及第三十五條ノ規定ハ第二條ニ規定スル通知書記載事項ノ誤謬訂正、亡失又ハ毀損ノ場合ニ於ケル取扱ニ付之ヲ準用ス

第十條 第二條乃至第四條及第七條第二項ノ規定ハ大正十二年遞信省令第九十二號ニ依ル年金恩給等ノ支給英ノ他別段ノ規定アル場合、第二條乃至第四條及第七條ノ規定ハ昭和十六年拓務省令第一號ニ依ル簡易生命保險及郵便年金ノ受拂ヲ爲ス場合ニハ夫夫之ヲ適用セス

附則  
本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

### 歳出金繰替拂證據

【記號番號】

大正【何】年度

指定繰替  
拂渡局所……………【何】局

金【何】程】

本行ノ金額規定ノ手續ヲ履行シ現金ヲ拂渡サルヘシ

大正【何】年【何】月【何】日

【何】局長 官 氏 名【印】



【何】ノ 謹啓

|     |   |   |   |    |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|----|---|---|---|---|
| 支   | 出 | ノ | 日 | 的  | 債 | 主 | 住 | 所 |
| 【何】 |   |   |   | 々】 |   |   |   |   |

第一號書式

用紙寸法  
縦五寸四分  
横四寸九分

輪廓寸法  
縦四寸七分  
横三寸七分



歳出金繰替拂通知書 (兼領收證)

注意 受取人ハ裏面ノ注意事項ヲ熟覽セラルヘシ

|                              |                |                  |
|------------------------------|----------------|------------------|
| 「記 號 番 號」                    | 大正「何」年度        | 大正「何」年「何」月「何」日振出 |
| 指定繰替<br>拂渡局所.....「何」局所       |                | 小切手第 號           |
| 金 「何」 種」                     |                |                  |
| 本行ノ金額指定ノ繰替拂渡局所ニ出頭シ現金ヲ受領セラレハシ |                |                  |
| 大正「何」年「何」月「何」日               |                |                  |
| 「何 局 長 官 氏 名」 團              |                | 「何 / 誰」 殿        |
| 上記ノ金額領收候也                    | 大正「何」年「何」月「何」日 | 受取人 「何 / 誰」 殿    |
| 收 入 印 紙                      | 「住 所」          |                  |

用紙寸法 縦四寸八分 横五寸九分  
輪廓寸法 縦三寸六分 横四寸七分

〔444〕

注 意 事 項

- 一 受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所氏名ヲ記入捺印シ現金領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ繰替拂渡局所ニ差出シ現金ノ拂渡ヲ受ケラルヘシ
- 二 代理人ヲシテ現金ノ拂渡ヲ受ケシムルトキハ下ニ印刷シテ委任文狀字ノ處ニ代理人ノ氏名、年月日及本人ノ住所氏名ヲ記入捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出サルヘシ此ノ場合ニ於テハ代理人ハ本書ニ代理人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印セラレハシ
- 三 受取人ノ印章ハ請求書ニ押捺シタルモノト同一ノモノニ限ル
- 四 受領金額五圓以上ノモノハ參錢收入印紙ヲ貼附消印セラレハシ但シ營業ニ關セサルモノハ此ノ限ニ在ラズ

〔444〕

裏 面

本通知書金額ノ受取方ヲ  
委任致候也

收 入 印 紙

大正「何」年「何」月「何」日

「住 所」

「何 / 誰」 殿







### 臺灣總督府交通局鐵道官署現金

#### 受拂規則

昭和四年三月三十一日  
臺灣總督府令第二十六號

臺灣總督府交通局鐵道官署現金受拂規則左ノ通相定ム

臺灣總督府交通局鐵道官署現金受拂規則

**第一條** 臺灣總督府交通局鐵道官署ニ於テ會計規則第六十三條ノ規定ニ依リ所屬歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ノ交互振替及繰替受拂ヲ爲ス場合ニ於テハ出納官吏事務規程ニ依ルノ外本令ニ依ルベシ

**第二條** 支出官出納官吏又ハ出納員ヲシテ繰替拂ヲ爲サシメントスルトキハ繰替拂傳票ヲ以テ之ヲ命ズベシ

支出官ハ臺灣總督ノ指定シタル官吏(以下繰替拂命令官ト稱ス)ヲシテ繰替拂傳票ヲ發行セシムルコトヲ得

繰替拂命令官前項ノ規定ニ依リ繰替拂傳票ヲ發行セントスルトキハ定額豫算ノ範圍内ニ於テ之ヲ爲スベシ

**第三條** 繰替拂命令官ハ支出官ノ例ニ準ジ繰替拂執行ノ責ニ任ズベシ

**第四條** 出納官吏ハ毎日其ノ取扱ニ係ル歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂上殘金ヲ生ジタルトキハ分任出納官吏ハ所屬主任出納官吏ニ同納シ主任出納官吏ハ之ヲ日本銀行ニ預託スベシ但シ必要アルトキハ臺灣總督ハ豫メ其ノ額ヲ定メ出納官吏ヲシテ保管セシムルコトヲ得

出納員ノ取扱ニ係ル現金ハ毎日之ヲ所屬出納官吏ニ引繼ケベシ

**第五條** 支出官繰替拂金額ニ對シ歳出ノ支出ヲ爲サントスルトキハ「要振替」ノ押印アル小切手ヲ振出シ之ヲ所屬主任出納官吏ニ交付スベシ  
主任出納官吏前項ノ規定ニ依リ小切手ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ト同額ノ歳入金振替拂込書(別記様式)ヲ添附シ日本銀行ニ對シ振替計算ヲ以テ之ガ受拂ヲ整理スベシ

**第六條** 出納官吏ハ毎日歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂高ヲ精算シ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ交通局總長ニ報告スベシ

**第七條** 交通局總長ハ前條ノ報告ニ依リ其ノ現金受拂高ヲ總括精算シ主任出納官吏ヲシテ日本銀行ニ對シ其ノ歳入金ノ振替拂込及歳入歳出外現金ノ振替受拂ヲ爲サシムベシ

**第八條** 本令施行ニ關スル手續ハ別ニ之ヲ定ム

#### 附則

本令ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

昭和三年度ニ屬スル現金ノ受拂ハ従前ノ例ニ依ル

〔中本〕

〔中本〕

| 書知通                |               | 書證收                |               | 書込拂                |               | 書込拂                |               |
|--------------------|---------------|--------------------|---------------|--------------------|---------------|--------------------|---------------|
| 入                  | 出             | 入                  | 出             | 入                  | 出             | 入                  | 出             |
| 歳入徴收官吏名宛           | 日本銀行何店圖       | 右領收候也              | 日本銀行何店圖       | 右拂込候也              | 何々出納官吏        | 取扱廳                | 歳入徴收官吏        |
| 昭和年月日              |               | 昭和年月日              |               | 昭和年月日              | 昭和年月日         | 昭和年月日              | 昭和年月日         |
| 但「預託金」又ハ「何々」振替拂込ノ分 |               | 但「預託金」又ハ「何々」振替拂込ノ分 |               | 但「預託金」又ハ「何々」振替拂込ノ分 |               | 但「預託金」又ハ「何々」振替拂込ノ分 |               |
| 右領收濟ニ付通知候也         |               | 右領收候也              |               | 右拂込候也              |               | 右拂込候也              |               |
| 第 號                | 何省所管          | 第 號                | 何省所管          | 第 號                | 何省所管          | 第 號                | 何省所管          |
| 昭 和 年 度            | 何 省 所 管       | 昭 和 年 度            | 何 省 所 管       | 昭 和 年 度            | 何 省 所 管       | 昭 和 年 度            | 何 省 所 管       |
| 何 會 計 歳 入          | 何 會 計 歳 入     | 何 會 計 歳 入          | 何 會 計 歳 入     | 何 會 計 歳 入          | 何 會 計 歳 入     | 何 會 計 歳 入          | 何 會 計 歳 入     |
| 納 拂 官 出 官 氏 名      | 納 拂 官 出 官 氏 名 | 納 拂 官 出 官 氏 名      | 納 拂 官 出 官 氏 名 | 納 拂 官 出 官 氏 名      | 納 拂 官 出 官 氏 名 | 納 拂 官 出 官 氏 名      | 納 拂 官 出 官 氏 名 |
| 入 徴 收 官 官 氏 名      | 入 徴 收 官 官 氏 名 | 入 徴 收 官 官 氏 名      | 入 徴 收 官 官 氏 名 | 入 徴 收 官 官 氏 名      | 入 徴 收 官 官 氏 名 | 入 徴 收 官 官 氏 名      | 入 徴 收 官 官 氏 名 |

〔別記〕  
歳入金振替拂込書  
用紙適宜寸法縦一四センチメートル(四寸五分)横一〇センチメートル(三寸三分)  
ノモノ三枚控綴



### ●關東遞信官署現金受拂規則

大正十一年五月五日  
關東廳令第三十四號

改正 昭和一六年關東局令第八四號  
關東遞信官署現金受拂規則左ノ通定ム

#### 關東遞信官署現金受拂規則

第一條 關東遞信官署(以下單ニ遞信)ノ出納官吏及出納員ハ會計規則第六十三條ノ規定ニ依リ歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ニ付交互振替及繰替計算ヲ以テ之カ受拂ヲ爲スヘシ

前項現金ノ出納保管ニ關スル事務取扱方ニ付テハ大正十一年大藏省令第二號出納官吏事務規程ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第二條 遞信官署ニ於テ歳出金ノ繰替拂ヲ要スルトキハ當該官署ノ長第一號書式ノ歳出金繰替拂票及歳出金繰替拂通知書ヲ發シ其ノ證券ハ之ヲ繰替拂ヲ爲サシムヘキ出納官吏又ハ出納員ニ送付シ通知書ハ之ヲ債主ニ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ隔地ノ債主ニ對シ緊急繰替拂ヲ要スルトキハ證券及通知書ノ發行ニ代リ電信ヲ以テ其ノ旨出納官吏又ハ出納員及債主ニ通知スヘシ

第三條 出納官吏又ハ出納員債主ヨリ前條ノ通知書ヲ以テ拂渡ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ證券ト對査シ現金ノ拂渡ヲ爲シ其ノ領收證書ヲ發スヘシ

前項ノ規定ハ電信ニ依ル繰替拂通知ヲ以テ拂渡ノ請求ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第四條 前條ニ依リ出納官吏又ハ出納員ニ於テ繰替拂ヲ爲シタル歳出金ニ對シテハ當該支出官出納官吏ヲ受取人トスル小切手ヲ振出シ其ノ現金ノ

補填ヲ爲スヘシ

出納官吏前項ノ小切手ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ヲ其ノ小切手支拂店ニ呈示シ預託金ニ振替拂込ヲ爲スヘシ

第五條 遞信官署ニ於テ歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂上現金ニ殘餘ヲ生シ又ハ缺乏ヲ告グルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ過超金トシテ同納シ又ハ之カ資金ノ交付ヲ受クヘシ

第六條 遞信官署ハ毎日歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂高ヲ精算シ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ關東遞信官署遞信局長ニ報告スヘシ

第七條 關東遞信官署遞信局長ハ前條ノ報告ニ依リ其ノ現金受拂高ヲ精算精算シ同局出納官吏ヲシテ日本銀行ニ對シ毎日其ノ歳入金ノ振替拂込及歳入歳出外現金ノ振替受拂ヲ爲サシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ要スル歳入金振替拂込書ハ第二號書式ニ依ル

第八條 遞信官署ニ於ケル支出官ノ備フヘキ支出簿ハ第三號書式ニ依リ出納官吏ノ備フル現金出納簿ハ出納員ヲ置カサル官署ニ在リテハ別ニ滿洲國駐劄特命全權大使ノ定ムル帳簿ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

第九條 大正十一年大藏省令第一號支出官事務規程第三十一條、第三十二條、第三十四條及第三十五條ノ規定ハ第二條ニ規定スルノ通知書記載事項ノ誤謬訂正、亡失又ハ毀損ノ場合ニ於ケル取扱ニ付之ヲ準用ス

第十條 第二條乃至第四條ノ規定ハ年金恩給ノ支拂其ノ他別段ノ規定アルモノニ、第二條乃至第四條及第七條ノ規定ハ簡易生命保險及郵便年金ノ受拂ヲ爲ス場合ニ夫々之ヲ適用セス

#### 附則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ適用ス  
關東都府府通信官署現金受拂規則ハ之ヲ廢止ス

歳出金繰替拂票

「何」號「何」號

大正「何」年度

指定繰替  
拂渡局所.....「何」局「何」所

金 何 程

本行ノ金額規定ノ手續ヲ履行シ現金ヲ拂渡サルヘシ

大正「何」年「何」月「何」日

「何」局長官氏名」印

「何」ノ「誰」渡

|           |     |     |
|-----------|-----|-----|
| 支 出 ノ 目 的 | 債 主 | 住 所 |
| 「何」       | 々」  |     |

第一號書式  
用紙寸法 縱五寸四分 橫四寸七分  
輪廓寸法 縱三寸七分 橫四寸七分



渡出金額替拂通知書 (兼領收證)

【記號番號】

大正「何」年度

大正「何」年「何」月「何」日振出

指定總替  
拂渡局所.....「何」府「何」局

小切手第 號

金 「何」 程

本行ノ金額指定ノ總替拂渡局所ニ出頭シ現金ヲ受領セラルヘシ

大正「何」年「何」月「何」日

「何」局長官氏 名「何」

「何」ノ「誰」殿



上記ノ金額領收候也

大正「何」年「何」月「何」日

「住」所」

受取人「何」ノ「誰」

注意 受取人ノ裏面ノ注意事項ヲ熟覽セラルヘシ

【和紙】

用紙寸法 縦四寸八分 横五寸九分  
輪廓寸法 縦三寸六分 横四寸七分

裏面

注 意 事 項

- 一 受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所氏名ヲ記入捺印シ現金領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ總替拂渡局所ニ差出シ現金ノ拂渡ヲ受ケラルヘシ
- 二 代理人ヲシテ現金ノ拂渡ヲ受ケシムルトキハ下ニ印刷シテハ委任文該字ノ處ニ代理人ノ氏名、年月日及本人ノ住所氏名ヲ記入捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出サルヘシ此ノ場合ニ於テハ代理人ハ本書ニ代理人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印セラルヘシ
- 三 受取人ノ印章ハ請求書ニ捺捺シタルモノト同一ノモノニ限ル

本通知書金額ノ受取方ヲ 委任致候也

大正「何」年「何」月「何」日

「住」所」

「何」ノ「誰」

【和紙】







●明治四十四年關東都督府令第十

二號(關東遞信官署ノ出納員ニ

關スル件) 明治四十四年六月二十二日

改正 昭和二年關東局令第五二號、一四年第四七號

關東遞信官署ノ出納員ハ關東遞信官署遞信書記、關東遞信官署遞信書記補

囑託員又ハ雇員ヲ以テ之ニ充ツ 出納官吏ヲ置ク官署ノ出納員ハ當該局所長ノ指定スル所ニ從ヒ現金ノ出納

ヲ爲スヘシ 出納官吏ヲ置カサル官署ノ出納員ハ總テノ現金ノ出納ヲ爲スヘシ

附則

明治三十九年九府令第五號ハ之ヲ廢止ス

●樺太廳郵便局現金受拂規則

大正十一年四月一日 大藏省令第三十七號

樺太廳郵便局現金受拂規則左ノ通定ム

樺太廳郵便局現金受拂規則

第一條 樺太廳郵便局出納官吏及出納員ハ會計規則第六十三條ニ依リ其ノ

取扱ニ係ル歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ヲ交互ニ繰替使用スヘシ

第二條 歳入徴收官郵便局出納官吏又ハ出納員ヲシテ歳入金ヲ領收セシメ

ムトスルトキハ第一號書式ノ納稅告知書又ハ第二號書式ノ納入告知書ヲ

發スヘシ

第三條 歳入金納付ノ義務アル者前條ノ告知書ヲ受ケスシテ直ニ歳入金ヲ

郵便局出納官吏又ハ出納員ニ納付セムトスルトキハ第三號書式ノ納付書

ヲ添附スヘシ

第四條 郵便局ニ於テ常時公衆ヨリ收納スル印紙切手類賣捌代金及海外電

報料金其ノ他授業料ノ類ハ前二條ノ規定ニ依ラス郵便局出納官吏ヲシテ

直ニ之ヲ領收セシムルコトヲ得

第五條 日本銀行代理店所在地外ニ於ケル收入官吏其ノ收納シタル歳入金

ヲ郵便局出納官吏又ハ出納員ニ拂込マムトスルトキハ第四號書式ノ拂込

書ヲ添附スヘシ

第六條 支出官郵便局出納官吏又ハ出納員ヲシテ返納金ヲ領收セシメ經費

ノ定額ニ戻入セムトスルトキハ第五號書式ノ返納告知書ヲ發スヘシ

第七條 前二條ノ規定ニ依リ郵便局出納官吏又ハ出納員ニ於テ領收シタル

歳入金及返納金ハ毎日之ヲ精算シ主任出納官吏第六號書式ノ歳入金拂込

書又ハ第七號書式ノ返納金拂込書ヲ添へ振替計算ヲ以テ之ヲ日本銀行ニ

拂込ムヘシ

第八條 支出官又ハ繰替拂官郵便局出納官吏又ハ出納員ヲシテ債主ニ對シ

歳出金ノ繰替拂渡ヲ爲サシムトスルトキハ第八號書式ノ歳出金繰替拂

渡票及同通知書ヲ發行シ該渡票ハ之ヲ指定郵便局出納官吏又ハ出納員ニ

【附則】

【日本】

通知票ハ之ヲ債主ニ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ隔地ノ債主ニ對シ緊急繰替拂ヲ要スルトキハ證券及通

知書ニ代ヘ電信ヲ以テ其ノ旨出納官吏及債主ニ通知スヘシ

第九條 前條ノ繰替拂證券又ハ電信ニ依リ繰替拂通知ニ依リ郵便局出納官

吏又ハ出納員ニ於テ繰替拂ヲ爲シタル歳出金ニ對シテハ當該支出官ハ出

納官吏ヲ受取人トスル小切手ヲ振出シ振替計算ヲ以テ其ノ現金ノ補填ヲ

爲スヘシ

第十條 樺太廳及所屬官署ニ於テ歳入歳出外現金ノ受入ヲ要スルトキハ郵

便局出納官吏又ハ出納員ニ對シ之カ受入ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ

於テハ第九號書式ノ歳入歳出外現金受入請求書ヲ調製シ之ヲ權利者ニ交

付スヘシ

第十一條 前條ノ規定ニ依リ郵便局出納官吏又ハ出納員ニ於テ受入タル歳

入歳出外現金ノ拂渡ヲ要スルトキハ其ノ受領證券ニ裏書ヲ爲シ又ハ第十

號書式ノ拂渡證券ヲ調製シ之ヲ權利者ニ交付スヘシ

第十二條 郵便局出納官吏ハ毎日歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂

高ヲ精算シ之ヲ樺太廳長官ニ報告スヘシ

第十三條 樺太廳長官ハ郵便局出納官吏及出納員ノ取扱ニ係ル歳入金、歳

第十二輯 財務 第一章 會計 第八款 出納官吏

附則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正四年内務省令第七號ハ之ヲ廢止ス



第一號書式 納稅告知書

|                                  |         |      |         |           |
|----------------------------------|---------|------|---------|-----------|
| 第「何」號                            | 大正「何」年度 | 「住」所 | 「何」     | 誰「納       |
| 「何」部                             | 租       | 稅    | 「何」稅(目) | 「何」年「何」期分 |
| 「取扱處」                            |         |      |         |           |
| 一金                               |         |      |         |           |
| 右大正「何」年「何」月「何」日<br>「何」廳歲入徵收官「官」氏 |         |      |         |           |
| 印付日收領                            |         |      |         |           |

|                             |         |      |         |           |
|-----------------------------|---------|------|---------|-----------|
| 第「何」號                       | 大正「何」年度 | 「住」所 | 「何」     | 誰「納       |
| 「何」部                        | 租       | 稅    | 「何」稅(目) | 「何」年「何」期分 |
| 「取扱處」                       |         |      |         |           |
| 一金                          |         |      |         |           |
| 歲入徵收官「官」氏<br>出納官東「官」氏<br>名宛 |         |      |         |           |
| 印付日收領                       |         |      |         |           |

|                |         |      |         |           |
|----------------|---------|------|---------|-----------|
| 第「何」號          | 大正「何」年度 | 「住」所 | 「何」     | 誰「納       |
| 「取」扱處          | 租       | 稅    | 「何」稅(目) | 「何」年「何」期分 |
| 「取扱處」          |         |      |         |           |
| 一金             |         |      |         |           |
| 右領收候也          |         |      |         |           |
| 出納官東「官」氏<br>名宛 |         |      |         |           |
| 印付日收領          |         |      |         |           |

【附註】

第二號書式 納入告知書

|                                  |         |        |     |     |
|----------------------------------|---------|--------|-----|-----|
| 第「何」號                            | 大正「何」年度 | 「住」所   | 「何」 | 誰「納 |
| 「何」部                             | 「何」(款)  | 「何」(項) | 「何」 | (目) |
| 「取扱處」                            |         |        |     |     |
| 一金                               |         |        |     |     |
| 但「何」々(收入ノ目的ヲ記載ス)                 |         |        |     |     |
| 右大正「何」年「何」月「何」日<br>「何」廳歲入徵收官「官」氏 |         |        |     |     |
| 印付日收領                            |         |        |     |     |

|                             |         |        |     |     |
|-----------------------------|---------|--------|-----|-----|
| 第「何」號                       | 大正「何」年度 | 「住」所   | 「何」 | 誰「納 |
| 「何」部                        | 「何」(款)  | 「何」(項) | 「何」 | (目) |
| 「取扱處」                       |         |        |     |     |
| 一金                          |         |        |     |     |
| 歲入徵收官「官」氏<br>出納官東「官」氏<br>名宛 |         |        |     |     |
| 印付日收領                       |         |        |     |     |

|                  |         |      |     |     |
|------------------|---------|------|-----|-----|
| 第「何」號            | 大正「何」年度 | 「住」所 | 「何」 | 誰「納 |
| 「取」扱處            |         |      |     |     |
| 「取扱處」            |         |      |     |     |
| 一金               |         |      |     |     |
| 但「何」々(收入ノ目的ヲ記載ス) |         |      |     |     |
| 右領收候也            |         |      |     |     |
| 出納官東「官」氏<br>名宛   |         |      |     |     |
| 印付日收領            |         |      |     |     |

【附註】







第五號書式 返納告知書

|   |         |        |         |
|---|---------|--------|---------|
| 第「何」號   | 大正「何」年度 | 「所管廳」  | 返納人「何」誰 |
| 「何」部  | 「何」(款)  | 「何」(項) | 要定額戻入   |
| 右大正「何」年「何」月「何」日迄「何」郵便局へ拂込「ル」シ<br>大正「何」年「何」月「何」日 |         |        |         |
| 支出官「官」氏<br>名「何」                                 |         |        |         |
| 印付日收領   |         |        |         |

返納告知書

|  |         |        |         |
|--|---------|--------|---------|
| 第「何」號  | 大正「何」年度 | 「所管廳」  | 返納人「何」誰 |
| 「何」部   | 「何」(款)  | 「何」(項) |         |
| 大正「何」年「何」月「何」日<br>支出官「官」氏<br>名「何」宛<br>出納官吏「官」氏<br>名「何」 |         |        |         |
| 印付日收領  |         |        |         |

通知書

|                           |         |       |         |
|---------------------------|---------|-------|---------|
| 第「何」號                     | 大正「何」年度 | 「所管廳」 | 返納人「何」誰 |
| 「取扱廳」                     |         |       |         |
| 右領收候也<br>出納官吏「官」氏<br>名「何」 |         |       |         |
| 印付日收領                     |         |       |         |

領收書

第六號書式 歳入金振替拂込書

|  |         |       |            |
|--|---------|-------|------------|
| 第「何」號  | 大正「何」年度 | 「所管廳」 | 歳入徴收官「官」氏名 |
| 「取扱廳」  |         |       |            |
| 右拂込候也<br>但「預託金」ヨリ振替拂込ノ分<br>一金「何」程<br>大正「何」年「何」月「何」日<br>出納官吏「官」氏<br>名「何」局 |         |       |            |

振替拂込書

|   |         |       |         |
|---|---------|-------|---------|
| 第「何」號   | 大正「何」年度 | 「所管廳」 | 取扱廳「何」廳 |
| 「取扱廳」   |         |       |         |
| 右領收済ニ付通知候也<br>但「預託金」ヨリ振替拂込ノ分<br>一金「何」程<br>歳入徴收官「官」氏<br>名「何」宛<br>日本銀行「何」店副 |         |       |         |

通知書

|  |         |       |            |
|--|---------|-------|------------|
| 第「何」號  | 大正「何」年度 | 「所管廳」 | 歳入徴收官「官」氏名 |
| 「取扱廳」  |         |       |            |
| 右領收候也<br>但「預託金」ヨリ振替拂込ノ分<br>一金「何」程<br>大正「何」年「何」月「何」日<br>日本銀行「何」店副 |         |       |            |

領收書



|                                       |                                    |  |  |
|---------------------------------------|------------------------------------|--|--|
| 第七號書式 返納金拂込書                          |                                    | 第八號書式 出納金拂込書                           |  |
| 第「何」號<br>大正「何」年度<br>「所管廳」<br>支出官「官氏名」 | 「何」部<br>「何」(款)<br>「何」(項)<br>取扱廳「何」 | 第「何」號<br>大正「何」年度<br>「所管廳」<br>取扱廳「何」    | 「何」部<br>「何」(款)<br>「何」(項)<br>納拂官更出「官氏名」 |
| 一金「何」程<br>要定額展入                       |                                    | 一金「何」程<br>但「預託金」ヨリ振替拂込ノ分               |  |
| 右拂込候也                                 |                                    | 右領收定額ニ展入候也                             |  |
| 大正「何」年「何」月「何」日<br>「何」局<br>出納官更「官氏名」   |                                    | 大正「何」年「何」月「何」日<br>日本銀行「何」店<br>支出官「官氏名」 |  |

〔印〕

第八號書式

用紙寸法 縱四寸八分 横五寸九分  
輪廓寸法 縱三寸六分 横四寸七分

出 金 給 付 拂 込 票

大 正 「何」 年 度

指定轉付 拂込局所 「何」 局

金 額 「何」 圓

本行ノ金額規定ノ手續ヲ履行シ現金ヲ拂渡サルヘシ

大正「何」年「何」月「何」日

〔支出官官氏名(轉付官官氏名)〕 「何」 誰」 渡

|       |      |
|-------|------|
| 支出ノ目的 | 債主住所 |
| 「何」   | 「何」  |



歳出金繰替拂通知書 (兼領收證)

記 號

大正 何 何 年 度

大正 何 何 年 何 月 何 日 振出 小切手第

指定繰替 拂渡局所

何

局

金 何 額

本行ノ金額指定ノ繰替拂渡局所ニ就キ現金ヲ受領セラレハシ

大正 何 何 年 何 月 何 日

支出官官氏名(繰替拂渡局官氏名)印

何 ノ 誰 渡

上記ノ金額領收候也

大正 何 何 年 何 月 何 日

印 紙

住 所

受取人 何 ノ 誰 ②

注意 受取人ハ裏面ノ注意事項ヲ熟讀セラレハシ

〔印紙〕

用紙寸法 縦四寸八分 横五寸九分  
輪廓寸法 縦三寸七分 横四寸七分

〔印紙〕

注 意 事 項

- 一 受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所氏名ヲ記入捺印シ現金領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ繰替拂渡局所ニ差出シ現金ノ拂渡ヲ受ケラレハシ
- 二 代人ヲシテ現金ノ拂渡ヲ受ケシムルトキハ下ニ印刷シテ委任文開字ノ處ニ代人ノ氏名、年月日及本人ノ住所氏名ヲ記入捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出サルベシ此ノ場合ニ於テハ代人ハ本書ニ代人タル肩書ヲ付シ記名捺印セラレハシ
- 三 受取人ノ印章ハ請求書ニ押捺シタルモノト同一ノモノニ限ル

本通知書金額ノ受取方ヲ

委任致候也

印 紙

大正 何 何 年 何 月 何 日

住 所 何 ノ 誰 ③







●大正五年樺太廳令第二十三號  
 (樺太廳郵便局現金受拂規則ニ依り發行シタル歳出金繰替拂證票及同通知書亡失ノ場合ニ於ケル取扱ニ關スル件)

大正五年七月二十三日  
 樺太廳令第二十三號

- 第一條 郵便局ニ於テ債主ニ現金拂渡前歳出金繰替拂證票ヲ亡失シタルトキハ第一號書式ニ依リ當該仕拂命令官又ハ繰替拂命令官ニ其ノ再發行ヲ請求スヘシ
- 第二條 仕拂命令官又ハ繰替拂命令官ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ更ニ歳出金繰替拂證票ヲ發行シ其ノ表面餘白ニ「再發行」ノ印ヲ押捺シ之ヲ當該郵便局ニ交付スヘシ
- 第三條 債主ニ於テ歳出金繰替拂通知書ヲ亡失シタルトキハ第二號書式ニ依リ其ノ旨拂渡郵便局ニ届出ツヘシ
- 第四條 郵便局ニ於テ前條ノ届出ヲ受ケタルトキハ現金拂渡ノ濟否ヲ調査シ既ニ拂渡済ナルトキハ其ノ旨告知シ届書ヲ返付シ拂渡未済ナルトキハ直ニ其ノ仕拂ヲ停止シ届書ハ之ヲ當該仕拂命令官又ハ繰替拂命令官ニ送付スヘシ
- 第五條 仕拂命令官又ハ繰替拂命令官ニ於テ前條ノ届書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ正確ト認ムルトキハ其ノ表面餘白ニ「右發行シタルコトヲ證明ス」ト記入シ記名捺印ノ上之ヲ當該郵便局ニ返付スヘシ

第六條 郵便局ニ於テ前條ノ規定ニ依リ届書ノ返付ヲ受ケタルトキハ債主ニ通知シ現金拂渡ノ手續ヲ爲スヘシ

附則  
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 第一號書式

歳出金繰替拂證票再發行請求書

|         |  |
|---------|--|
| 金額      |  |
| 所屬年度    |  |
| 證票發行年月日 |  |
| 證票記號番號  |  |
| 債主ノ住所氏名 |  |
| 亡失ノ事由   |  |

右再度發行相成度候也

【大正】何年何月何日 「何」郵便局  
 仕拂命令(繰替拂命令)官宛  
 出納官吏「官」氏 名「印」

第二號書式

歳出金繰替拂通知書亡失届

●大正二年樺太廳令第二號(樺太廳出納員現金取扱規則)

大正二年三月九日  
 樺太廳令第二號

- 改正 大正一三年第二五號、一五年第四號、昭和三年第一八號、五年第二二號
- 第一條 鐵道事務所、郵便局ノ出納員ハ當該局所長ノ指定スル所ニ從ヒ歳入金、歳出金又ハ歳入歳出外現金ノ出納ヲ爲スヘシ
- 第二條 出納員ハ鐵道書記、通信書記、通信書記補、雇員、通信夫、車掌見習、驛手、信號手及轉轍手ヲ以テ之ニ充ツ
- 第三條 出納員ハ大正十一年大藏省令第二十號第十四號書式ノ現金出納簿ヲ備ヘ現金ノ出納ヲ登記スヘシ
- 第四條 出納員ハ毎日其ノ領收シタル現金ヲ所屬出納官吏ニ拂込ミ又ハ特ニ指定シタル出納員ニ交付シ領收證書ヲ受ケヘシ但シ鐵道事務所所屬ノ出納員ニシテ歳入歳出外現金ノ拂渡ヲ爲シタルトキハ證憑書類ヲ添附シ遲滞ナク之ヲ所屬出納官吏ニ報告スヘシ
- 第五條 出納員ハ現金ヲ領收シタルトキハ領收證書ヲ發スヘシ
- 第六條 特種ノ帳簿ヲ以テ現金出納簿ニ代用シ得ルモノ及特種ノ帳簿ニ依リ現金ノ受授ヲ證シ得ルモノハ第三條ノ現金出納簿、第四條及第五條ノ領收證書ヲ要セス
- 第七條 現金出納ノ取扱ニ關シ本規則ノ外特ニ規定シタルモノハ其ノ規定ニ依ル

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 大正元年十一月樺太廳令第十號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

|          |  |
|----------|--|
| 所屬年度     |  |
| 通知書發行年月日 |  |
| 通知書記號番號  |  |
| 通知書發行廳名  |  |
| 指定拂渡郵便局名 |  |
| 亡失ノ事由    |  |

【大正】何年何月何日 「住」所「氏」名「印」

右發行シタルコトヲ證明ス  
 【大正】何年何月何日 「官」氏 名「印」

仕拂命令(繰替拂命令)官  
 前記金額領收候也  
 【大正】何年何月何日 右 「氏」名「印」

印附日付受局郵便



昭和十五年南洋廳令第四十五號  
(南洋群島内ニ於テ無料爲替ト爲シ得ル範圍ノ件)

昭和十五年十二月十六日  
南洋廳令第四十五號

南洋群島内ニ於テ無料爲替ト爲シ得ル範圍左ノ通定ム  
南洋群島内ニ於テ受授スル左記金員ハ特ニ無料爲替ト爲シ其ノ證書一枚ノ金額ニ制限ヲ附セズ但シ電信爲替ニ依ル場合ハ其ノ證書一枚ノ金額五千圓迄トス

- 一 南洋廳所屬歳入金、歳出金及右以外ノ現金ニシテ特ニ指定シタル國庫金ヲ現金出納官吏ト日本銀行パラオ代理店又ハ日本銀行トラツク代理店トノ間ニ受授スル金員
- 二 南洋廳所屬歳入金、歳出金及右以外ノ現金ニシテ特ニ指定シタル國庫金ヲ現金出納官吏相互間、現金出納官吏トパラオ支店又ハトラツク支店官トノ間ニ受授スル金員
- 三 南洋廳所屬歳出金及右以外ノ現金ニシテ特ニ指定シタル國庫金ヲ日本銀行パラオ代理店又ハ日本銀行トラツク代理店ヨリ南洋群島内ニ在ル債主ニ對シ送付スル金員
- 四 南洋群島地方歳歳入金及歳出金ヲ地方費出納吏相互間ニ受授スル金員
- 五 郵便切手類及收入印紙買受代金ヲ特定郵便局ヨリ其ノ賣渡局へ送付スル金員

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
昭和十四年一月南洋廳令第四號ハ之ヲ廢止ス

第九款 國庫

日本銀行國庫金取扱規程

大正十一年二月一日  
大藏省令第十號

改正 大正一四年第六號、一五年第一二號、  
昭和元年第三號、七年第一一號、一三年第五號、一五年第三三號、第五六號、一六年第二四號  
日本銀行國庫金取扱規程左ノ通定ム  
第一章 總則

- 第一條 日本銀行ハ本令ノ定ムル所ニ依リ國庫金ノ出納並政府預金ニ關スル事務ヲ取扱フヘシ
- 第二條 日本銀行ハ其ノ本店、支店及代理店ヲシテ國庫金ノ出納ヲ取扱ハシムヘシ
- 第三條 代理店ハ日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ
- 第四條 日本銀行ハ地方ニ統轄店ヲ設ケ其ノ所屬店ニ於ケル國庫金出納ノ事務ヲ統轄スヘシ
- 第五條 日本銀行ハ前項ノ所屬店中特ニ必要アルモノヲ特設店ト爲スコトヲ得
- 第六條 日本銀行ハ其ノ所屬店並前項ノ特設店ハ日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ
- 第七條 日本銀行ハ左ノ區分ニ依リ國庫金ノ出納ヲ取扱フヘシ
  - 一 歳歳
  - 二 出入
  - 三 出金
  - 四 預託
  - 五 預金
  - 六 他ノ國庫金
- 第八條 日本銀行ハ其ノ本店ニ當座預金勘定、別口預金勘定及指定預金勘定ヲ置キ政府預金ヲ區分整理スヘシ
- 第九條 當座預金勘定ハ日本銀行ニ於テ取扱フ國庫金ノ受拂ヲ整理スヘキ勘定トス
- 第十條 別口預金勘定ハ大藏大臣ノ定ムル種別ニ屬スル現金ノ受入ニ依リ預金ノ受拂ヲ整理スヘキ勘定トス
- 第十一條 指定預金勘定ハ大藏大臣ニ於テ特別ノ條件ヲ指定シタル預金ノ受拂ヲ整理スヘキ勘定トス

第九條 前二條ノ預金ノ受拂及其ノ預金相互間ノ粗替ハ別ニ定ムル場合ヲ除クノ外總テ當座預金勘定ヲ經由スヘシ

第十條 指定預金勘定ニ屬スル預金ニハ大藏大臣ノ指定スル條件中ニ定ムル利子ヲ附スベシ

第十一條 日本銀行ハ國庫金ノ出納ニ關シ臨時至急ヲ要スルトキハ各廳ノ請求ニ依リ營業時間外ト雖之ヲ取扱フ爲メスヘシ

第十二條 日本銀行ノ取扱フ國庫金ニシテ各店間ニ振替受拂ヲ要スルモノノ取扱手續ニ付テハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

第十三條 日本銀行(本店、支店又ハ代理店)以下同シ)納人ヨリ納稅告知書、納入告知書又ハ納付書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ領收證書ヲ納人ニ交付シ領收濟通知書ハ之ヲ歳入徵收官ニ送付ス

第十四條 日本銀行出納官吏又ハ收納事務ヲ取扱フ市町村、銀行、會社其ノ他ノ者ヨリ現金拂込書、送付書、所得稅拂込書又ハ通行稅拂込書ヲ添ヘ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ領收證書ヲ拂込人ニ交付シ領收濟通知書ハ之ヲ歳入徵收官ニ送付スヘシ

第十五條 日本銀行納人又ハ出納官吏ヨリ支拂元受高ヲ要スル特別會計ノ歳入金ノ納付又ハ拂込ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ領收證書ヲ納人又ハ出納官吏ニ交付スヘシ

第十六條 日本銀行前項ノ場合ニ於テ自店カ當該歳入徵收官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ領收金額ニ相當スル額ヲ當該特別會計ノ支拂元受高トシテ受入ノ記入ヲ爲シ、他店カ當該歳入徵收官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ領收濟通知書ヲ添ヘ其ノ旨ヲ當該取扱店ニ通知スヘシ

第十七條 日本銀行支出官事務規程第二十六條ノ二ノ規定ニ依リ小切手ノ交付ヲ受ケタルトキハ振替受拂ノ手續及所得稅法施行細則第二條(關東州、朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ其ノ當該法規)ノ手續ヲ爲スヘシ

第十八條 日本銀行前項ノ場合ニ於テ自店カ當該歳入徵收官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ領收金額ニ相當スル額ヲ當該特別會計ノ支拂元受高トシテ受入ノ記入ヲ爲シ、他店カ當該歳入徵收官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ領收濟通知書ヲ添ヘ其ノ旨ヲ當該取扱店ニ通知スヘシ



三條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十九條 日本銀行毎年度所屬歳入金ノ受入ヲ爲シ得ル期間經過後出納官更又ハ收納事務ヲ取扱フ市町村若ハ之ニ準スヘキモノヨリ當該年度ノ記載アル現金拂込書又ハ送付書ヲ添ヘ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ現年度ノ歳入トシテ之ヲ領收シ現金拂込書、送付書、領收證書又ハ領收済通知書ニ現年度ノ押印ヲ爲シ第十四條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十條 日本銀行毎年度所屬歳出金ノ定額戻入ヲ爲シ得ル期間經過後返納人ヨリ當該年度ノ記載アル返納告知書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ現年度ノ歳入トシテ之ヲ領收シ返納告知書及領收證書ニ現年度歳入ノ押印ヲ爲シ領收證書ヲ納人ニ交付シ其ノ旨ヲ支出官及歳入徴收官ニ通知スヘシ

第二十一條 日本銀行統轄店又ハ特扱代理店ハ自店及其ノ所屬代理店(特扱代理店ヲ除ク)ノ取扱ニ係ル納稅告知書、納入告知書、納付書、現金拂込書、送付書、所得稅拂込書、通行稅拂込書、其ノ他ノ證書書類ヲ年度、會計、所管廳、取扱廳別ニ區分シ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ保存スヘシ但シ特扱代理店ニ於テ調製シタルモノハ其ノ證書書類ト共ニ之ヲ所轄統轄店ニ於テ保存スルモノトス

第二十二條 日本銀行統轄店又ハ特扱代理店ハ自店及其ノ所屬代理店(特扱代理店ヲ除ク)ノ取扱ニ係ル納稅告知書、納入告知書、納付書、現金拂込書、送付書、所得稅拂込書、通行稅拂込書、其ノ他ノ證書書類ヲ年度、會計、所管廳、取扱廳別ニ區分シ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ保存スヘシ但シ特扱代理店ニ於テ調製シタルモノハ其ノ證書書類ト共ニ之ヲ所轄統轄店ニ於テ保存スルモノトス

第三章 歳出金

第二十七條 日本銀行支出官ノ振出シタル小切手ニシテ「要振替」ノ印ヲ押捺セルモノノ呈示ヲ受ケタルトキハ現金ノ支拂ヲ爲サス振替ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十八條 日本銀行毎年度所屬歳出金ノ定額戻入ヲ爲シ得ル期間内ニ返納人ヨリ返納告知書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ領收證書ヲ返納人ニ交付スヘシ

日本銀行前項ノ場合ニ於テ自店カ返納告知書ヲ發シタル支出官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ返納金額ニ相當スル金額ヲ定額戻入トシテ記入ノ手續ヲ爲シ領收済通知書ヲ支出官ニ送付シ、他店カ當該支出官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ領收済通知書ヲ添ヘ其ノ旨ヲ當該取扱店ニ通知スヘシ但シ該告知書ニ電信戻入ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ電信ヲ以テ之ヲ通知ヲ爲スモノトス

前項ノ通知ヲ受ケタル日本銀行ハ其ノ金額ヲ定額戻入トシテ記入ノ手續ヲ爲シ領收済通知書ヲ支出官ニ送付スヘシ

第二十九條 日本銀行支出官ヨリ支出官事務規程第十二條ノ規定ニ依リ小切手振出済通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ小切手支拂未済額調査ノ用ニ供スヘシ

第三十條 日本銀行ハ支出官ノ振出シタル小切手ニシテ毎年度所屬歳出金ノ支拂ヲ爲シ得ル期間内ニ支拂ヲ了セサルモノノ金額ヲ小切手振出済通知書ニ依リ算出シ特扱代理店以外ノ代理店ハ其ノ金額ヲ所轄統轄店ニ報告スヘシ

統轄店又ハ特扱代理店ハ前項ノ規定ニ依リ自店及其ノ所屬代理店ニ於テ算出シタル金額ヲ翌年度へ繰越整理スル爲前年度所屬歳出金トシテ拂出

第二十三條 日本銀行ニ於テ支拂豫算通知書若ハ其ノ更定通知書又ハ年度開始前支出ノ通知書ヲ受ケタルトキハ其ノ金額ヲ支拂豫算帳ニ記入スル爲必要ナル手續ヲ爲スヘシ

第二十四條 日本銀行特別會計ノ支出官ヨリ現年度ノ支拂元受高ノ内テ翌年度當該會計ノ支拂元受高ニ組入ヲ爲スヘキ旨ノ請求ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十五條 日本銀行特別會計ノ甲支出官ヨリ特別會計支拂元受高ノ内テ當該會計ノ乙支出官ノ支拂元受高ニ轉換ヲ爲スヘキ旨ノ請求ヲ受ケタルトキ自店カ乙支出官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ之カ手續ヲ爲シ其ノ旨ヲ甲乙支出官ニ通知シ、他店カ乙支出官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ當該店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル日本銀行ハ其ノ金額ヲ乙支出官ノ支拂元受高ニ受入レ其ノ旨ヲ甲乙支出官ニ通知スヘシ

第二十六條 日本銀行支出官ノ振出シタル小切手ノ呈示ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ調査シ之カ支拂ヲ爲スヘシ

- 一 小切手ハ合式ナルカ
  - 二 小切手ハ其ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過セルモノニアラサルカ
  - 三 小切手ノ券面金額ハ支拂豫算帳ニ於ケル支拂豫算各項ノ殘高ニ超過スルコトナキカ
  - 四 支拂元受高ヲ要スル特別會計ニ係ル小切手ニ付テハ前各號ノ外其ノ券面金額カ當該支出官ノ支拂元受高ヲ超過ヘルコトナキカ
- 前項ノ小切手ニシテ振出日附後一年ヲ經過シタルモノナルトキハ該小切手ノ餘白ニ支拂期間經過ノ旨ヲ記入シ之ヲ呈示シタル者ニ返付スヘシ

シ之ヲ歳出支拂未済繰越金トシテ受入整理スヘシ

第三十一條 日本銀行前條ノ手續ヲ爲シタル後前年度所屬ニ係ル小切手ニ對シ支拂ヲ爲ス場合ニ於テ統轄店又ハ特扱代理店ハ前條ノ歳出支拂未済繰越金ヨリ代理店(特扱代理店ヲ除ク)ニ於テハ支拂豫算額ヨリ拂出スヘシ

前項ノ規定ニ依リ代理店ニ於テ支拂豫算額ヨリ拂出シタル金額ハ所轄統轄店ニ於テ歳出支拂未済繰越金ヨリ拂出スヘシ

第三十二條 第三十條ノ歳出支拂未済繰越金ニシテ第二十一條ノ規定ニ依リ歳入ニ組入ノ手續ヲ爲スモノニ付テハ小切手振出済通知書ニ依リ日本銀行統轄店又ハ特扱代理店ニ於テ之カ拂出ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十三條 日本銀行支出官事務規程第十三條、第十九條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ支出官ヨリ小切手ノ交付ヲ受ケタルトキハ領收證書ヲ支出官ニ送付シ小切手ノ交付ヲ受ケタル日本銀行カ代理店ナルトキハ其ノ所轄統轄店、統轄店ナルトキハ自店ニ於テ其ノ金額ヲ歳出金トシテ拂出シ隔地拂資金トシテ受入整理スヘシ

第三十四條 日本銀行ハ前條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ日本銀行何店チ支拂場所トスル旨ノ記載アルトキハ適宜ノ方法ニ依リ支拂ニ必要ナル事項ヲ支拂場所タル當該店ニ通知スヘシ但シ電信送金ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ電信ヲ以テ之カ通知ヲ爲スモノトス

第三十五條 前條ノ通知ヲ受ケタル日本銀行受取人ヨリ歳出金支拂通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ受取人チシテ該支拂通知書ニ領收ノ旨ヲ記入セシメ支拂ヲ爲スヘシ

前條但書ノ電信通知ヲ受ケタル日本銀行受取人ヨリ支出官ノ發セル電信



通知ノ提出ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ領收證書ヲ徴シ支拂ヲ爲スヘシ

第三十六條 日本銀行支出官事務規程第十七條又ハ第十八條ノ規定ニ依リ支拂場所ヲ日本銀行甲店ヨリ乙店ニ變更スヘキ旨ノ通知ヲ受ケタルトキハ甲店ニ對シ取消ノ通知ヲ爲シ乙店ニ對シテハ第三十四條ノ通知ヲ爲スヘシ

第三十七條 日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ受取人ノ住所又ハ居所ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徴シ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十八條 日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ニシテ其ノ裏面又ハ金額氏名表ニ外國ニ在ル受取人ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ニ對シ適宜ノ方法ニ依リ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ但シ電信送金ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ電信送金ノ手續ヲ爲スモノトス

第三十九條 日本銀行前條第一項ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ交付ヲ受ケタル資金ニシテ送金額ニ不足ヲ生スルトキハ不足額補填ノ爲資金ノ交付ヲ受ケ之ヲ補填シ其ノ旨ヲ大藏大臣ニ通知シ送金額ニ過剩ヲ生シタルトキハ第二號書式ノ現金拂込書ヲ添ヘ現金ヲ歲入ニ納付スルノ手續ヲ爲スヘシ

第四十條 第三十五條、第三十七條又ハ第三十八條ノ規定ニ依リ支拂ヲ了シタルトキハ其ノ支拂ヲ爲シタル日本銀行代理店ナルトキハ其ノ所轄統轄店、統轄店ナルトキハ自店ニ於テ其ノ金額ヲ隔地拂資金ヨリ拂出整

理スヘシ

第四十一條 日本銀行支出官事務規程第二十七條ノ規定ニ依リ支出官ヨリ返納告知書ヲ受ケタルトキハ該告知書ヲ添ヘ返納ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十二條 日本銀行第三十三條ノ小切手ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ隔地ノ受取人ニ對シテ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

日本銀行前項ノ期間經過後歳出金支拂通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ該通知書ノ餘白ニ支拂期間經過ノ旨ヲ記載シ之ヲ提出者ニ返付スヘシ

日本銀行第一項ノ期間經過後支出官事務規程第十六條但書、第十九條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ支出官ノ通知ヲ受ケタル受取人ヨリ支拂ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ未タ支拂ヲ了セサルモノナルトキハ其ノ旨ヲ記載セル書面ヲ請求者ニ交付スヘシ

第四十三條 前條第一項ノ場合ニ於テ支拂ヲ了セサル金額ニ相當スル資金ハ日本銀行統轄店ニ於テ自店及其ノ所屬代理店ノ取扱ニ係ル一月分ヲ取續メ翌月七日迄ニ第三號書式ノ現金拂込書ヲ添ヘ之ヲ歲入ニ納付スルノ手續ヲ爲スヘシ

第四十四條 日本銀行統轄店又ハ特扱代理店ハ自店及其ノ所屬代理店(特扱代理店ヲ除ク)ノ取扱ニ係ル支拂濟ノ小切手、歳出金支拂通知書其ノ他ノ證憑書類ヲ第三十一條及第三十二條ノ規定ニ依リ支拂ヲ爲シタルモノト其ノ他ノモノトニ區分シ年度、會計、所管廳、支出官別ニ一月分ヲ取續メ合計書ヲ調製シ共ニ保存スヘシ但シ特扱代理店ニ於テ調製シタルモノハ其ノ證憑書類ト共ニ之ヲ所轄統轄店ニ於テ保存スルモノトス

第四十五條 日本銀行出納官吏事務規程第二十九條又ハ第五十七條ノ規定

ニ依リ出納官吏ヨリ預託金拂込書ヲ添ヘ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ第四號書式ノ預託金領收證書ヲ出納官吏ニ交付スヘシ

前項ノ拂込ヲ爲シタル出納官吏ニ對シテハ小切手用紙ヲ交付スヘシ

第四十六條 日本銀行出納官吏ノ振出シタル小切手ノ呈示ヲ受ケタルトキハ當該官吏ノ預託金額ヲ限度トシテ之ヲ支拂ヲ爲スヘシ

前項ノ小切手ニシテ其ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過シタルモノニ對シテハ之ヲ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條第二項ノ規定ハ前項ノ期間經過後小切手ノ呈示ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十七條 第二十七條ノ規定ハ前條第一項ノ小切手ニシテ「要振替」ノ印ヲ押捺セルモノノ呈示ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十八條 第三十三條乃至第三十七條、第四十條、第四十一條及第四十二條第一項、第二項ノ規定ハ日本銀行出納官吏事務規程ノ定ムル所ニ依リ出納官吏ノ請求ヲ受ケ隔地ノ受取人ニ對シ送金支拂ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

日本銀行前項ノ規定ニ依リ隔地ノ受取人ニ對シ送金支拂ノ手續ヲ爲シタルモノニシテ小切手振出日附後一年ヲ經過シ仍支拂ヲ了セサルモノニ付テハ其ノ振出年月日、番號、金額及債主名ヲ當該出納官吏ニ報告スヘシ

第四十九條 日本銀行出納官吏事務規程第六十條ノ規定ニ依リ出納官吏ヨリ預託金現在高證明ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ指定ノ日ニ於ケル預託金現在高證明スヘシ

請求ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十條 日本銀行出納官吏事務規程第六十二條ノ規定ニ依リ出納官吏ヨリ預託金現在高證明通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ前任出納官吏ノ預託金ハ後任出納官吏ノ預託金トシテ之ヲ取扱フヘシ但シ前任出納官吏ノ振出シタル小切手ノ支拂未済金額ニ相當スルモノハ之ヲ區分整理スルモノトス

第五十一條 日本銀行統轄店又ハ特扱代理店ハ自店及其ノ所屬代理店(特扱代理店ヲ除ク)ノ取扱ニ係ル預託金拂込書、支拂濟ノ小切手、領收證書其ノ他ノ證憑書類ヲ受拂ニ係ル所屬出納官吏別ニ一月分ヲ取續メ合計書ヲ調製シ共ニ保存スヘシ但シ特扱代理店ニ於テ調製シタルモノハ其ノ證憑書類ト共ニ之ヲ所轄統轄店ニ於テ保存スルモノトス

第五十二條 日本銀行預金部預金取扱規程第四條ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金部預金拂込書ヲ添ヘ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ定期預金ニ在リテハ第五號書式ノ預金部預金領收證書ヲ、其ノ他ノ預金ニ在リテハ第五號ノ二書式ノ預金部預金領收證書ヲ預ケ人ニ交付スヘシ

前項ノ預ケ人ニシテ供託局ナル場合ニ於テハ日本銀行ハ前項ノ手續ヲ爲スノ外其ノ提出ヲ受ケタル供託書ニ受領ノ旨ヲ記入シ之ヲ提出者ニ返付スヘシ

第五十三條 日本銀行預金部預金取扱規程第七條ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ有價證券預金組入請求書又ハ有價證券償還預金組入請求書ノ送付ヲ受ケタルトキハ預金部預金領收證書ヲ預ケ人ニ交付スヘシ預金部預金取扱規程第八條ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ通知書ノ送付ヲ受ケタルトキ亦



同シ

第五十四條 日本銀行預金部預金取扱規程第五條ノ規定ニ依リ保管金ヲ提出スヘキ者ヨリ預ケ人ノ預金ニ振込テ受ケタルトキハ第六號書式ノ預金部預金振込通知書ヲ振込人ニ交付スヘシ

第五十五條 日本銀行預金部預金取扱規程第九條ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金部預金拂戻請求書ノ提出又ハ小切手ノ呈示ヲ受ケタルトキハ預ケ人ノ預金額ヲ限度トシテ之カ支拂ヲ爲スヘシ但シ定期預金ノ期限前拂戻ニ付テハ大藏省預金部ノ指揮ヲ受クヘシ

第四十六條 第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ小切手ノ呈示ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條ノ二 日本銀行預金部預金取扱規程第八條ノ二第一項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金部定期預金更新通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ當該定期預金更新ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十六條 日本銀行ハ日本銀行政府有價證券取扱規程第二十三條ノ手續ヲ爲スモノニ付テハ預ケ人ノ預金中ヨリ有價證券購入代價ニ相當スル金額ヲ拂出スヘシ

第五十七條 日本銀行預金部預金取扱規程第十一條ノ規定ニ依リ甲預ケ人ヨリ乙預ケ人ノ預金ニ預入替ノ請求ヲ受ケタルトキハ甲預ケ人ニ領收證書ヲ交付シ自店カ乙預ケ人ノ預金取扱店ナル場合ニ於テハ預入替ノ手續ヲ爲シ預金部預金領收證書ヲ乙預ケ人ニ交付シ、他店カ乙預ケ人ノ預金取扱店ナル場合ニ於テハ當該取扱店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第五十八條 日本銀行預金部預金取扱規程第十二條ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ他店拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ領收證書ヲ交付シ支拂店タル日本銀行ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第五十九條 日本銀行統轄店又ハ特設代理店ハ毎年四月十日迄ニ預金部預金取扱規程第十三條本文ノ規定ニ依リ普通預金ノ利子ヲ元金ニ相入レ第七號書式ノ預金利子元加通知書ヲ預ケ人ニ交付スヘシ

第六十條 日本銀行ハ日本銀行政府有價證券取扱規程第二十三條ノ手續ヲ爲スモノニ付テハ預ケ人ノ預金中ヨリ有價證券購入代價ニ相當スル金額ヲ拂出スヘシ

第六十一條 日本銀行預金部預金取扱規程第十七條ノ規定ニ依リ預金部預金利子支拂ノ請求書ノ提出ヲ受ケタルトキハ受取人ヲシテ之ニ領收ノ旨ヲ記入セシメ支拂ヲ爲スヘシ

第六十二條 日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ利子額ヲ預ケ人ノ預金ニ組入ルヘシ

第六十三條 日本銀行甲店預金部預金取扱規程第二十六條第一項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金取扱店變更申込書ヲ受ケタルトキハ預ケ人ノ預金ヲ拂出シ第八號書式ノ預金部預金現在額證明書ヲ預ケ人ニ交付シ日本銀行乙店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第六十四條 日本銀行預金部預金取扱規程第四條第二項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金部預金帳交付ノ請求ヲ受ケタルトキハ第九號書式ノ預金部預金帳ヲ預ケ人ニ交付スヘシ

第六十五條 日本銀行統轄店又ハ特設代理店ハ自店及其ノ所屬代理店(特設代理店ヲ除ク)ノ取扱ニ係ル預金部預金拂込書、保管金振込書、預金

前項ノ通知ヲ受ケタル日本銀行ハ乙預ケ人ノ預金ニ受入ノ手續ヲ爲シ預金部預金領收證書ヲ乙預ケ人ニ交付スヘシ

第五十八條 日本銀行預金部預金取扱規程第十二條ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ他店拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ領收證書ヲ交付シ支拂店タル日本銀行ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第五十九條 日本銀行統轄店又ハ特設代理店ハ毎年四月十日迄ニ預金部預金取扱規程第十三條本文ノ規定ニ依リ普通預金ノ利子ヲ元金ニ相入レ第七號書式ノ預金利子元加通知書ヲ預ケ人ニ交付スヘシ

第六十條 日本銀行ハ日本銀行政府有價證券取扱規程第二十三條ノ手續ヲ爲スモノニ付テハ預ケ人ノ預金中ヨリ有價證券購入代價ニ相當スル金額ヲ拂出スヘシ

第六十一條 日本銀行預金部預金取扱規程第十七條ノ規定ニ依リ預金部預金利子支拂ノ請求書ノ提出ヲ受ケタルトキハ受取人ヲシテ之ニ領收ノ旨ヲ記入セシメ支拂ヲ爲スヘシ

第六十二條 日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ利子額ヲ預ケ人ノ預金ニ組入ルヘシ

第六十三條 日本銀行甲店預金部預金取扱規程第二十六條第一項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金取扱店變更申込書ヲ受ケタルトキハ預ケ人ノ預金ヲ拂出シ第八號書式ノ預金部預金現在額證明書ヲ預ケ人ニ交付シ日本銀行乙店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第六十四條 日本銀行預金部預金取扱規程第四條第二項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金部預金帳交付ノ請求ヲ受ケタルトキハ第九號書式ノ預金部預金帳ヲ預ケ人ニ交付スヘシ

第六十五條 日本銀行統轄店又ハ特設代理店ハ自店及其ノ所屬代理店(特設代理店ヲ除ク)ノ取扱ニ係ル預金部預金拂込書、保管金振込書、預金

部預金利子元加請求書、預金部預金拂戻請求書、支拂済ノ小切手、預金部預金利子支拂請求書、預金取扱店變更申込書其ノ他ノ證憑書類ヲ受拂ニ區分シ預金ノ種別、預ケ人別ニ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ保存スヘシ但シ特設代理店ニ於テ調製シタルモノハ其ノ證憑書類ト共ニ所轄統轄店ニ於テ保存スルモノトス

第六十六條 日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ取扱ヒタル命令書、通知書其ノ他ノ證憑書類ヲ受拂ニ區分シ各科目別ニ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ之ヲ保存スヘシ

第六十七條 日本銀行ハ本章ニ定ムルモノヲ除クノ外大藏大臣ノ特ニ指定スル國庫金ニ付テハ大藏大臣ノ別ニ定ムル所ニ依リ出納ノ手續ヲ爲スヘシ

第七十條 日本銀行ハ會計規則第六十條第一號、第二號及第五號ノ帳簿トシテ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

部預金利子元加請求書、預金部預金拂戻請求書、支拂済ノ小切手、預金部預金利子支拂請求書、預金取扱店變更申込書其ノ他ノ證憑書類ヲ受拂ニ區分シ預金ノ種別、預ケ人別ニ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ保存スヘシ但シ特設代理店ニ於テ調製シタルモノハ其ノ證憑書類ト共ニ所轄統轄店ニ於テ保存スルモノトス

第六十六條 日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ利子額ヲ預ケ人ノ預金ニ組入ルヘシ

第六十七條 日本銀行甲店預金部預金取扱規程第二十六條第一項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金取扱店變更申込書ヲ受ケタルトキハ預ケ人ノ預金ヲ拂出シ第八號書式ノ預金部預金現在額證明書ヲ預ケ人ニ交付シ日本銀行乙店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第六十八條 日本銀行預金部預金取扱規程第四條第二項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金部預金帳交付ノ請求ヲ受ケタルトキハ第九號書式ノ預金部預金帳ヲ預ケ人ニ交付スヘシ

第六十九條 日本銀行統轄店又ハ特設代理店ハ自店及其ノ所屬代理店(特設代理店ヲ除ク)ノ取扱ニ係ル預金部預金拂込書、保管金振込書、預金

部預金利子元加請求書、預金部預金拂戻請求書、支拂済ノ小切手、預金部預金利子支拂請求書、預金取扱店變更申込書其ノ他ノ證憑書類ヲ受拂ニ區分シ預金ノ種別、預ケ人別ニ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ保存スヘシ但シ特設代理店ニ於テ調製シタルモノハ其ノ證憑書類ト共ニ所轄統轄店ニ於テ保存スルモノトス

第六十六條 日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ利子額ヲ預ケ人ノ預金ニ組入ルヘシ

第六十七條 日本銀行甲店預金部預金取扱規程第二十六條第一項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金取扱店變更申込書ヲ受ケタルトキハ預ケ人ノ預金ヲ拂出シ第八號書式ノ預金部預金現在額證明書ヲ預ケ人ニ交付シ日本銀行乙店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第六十八條 日本銀行預金部預金取扱規程第四條第二項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金部預金帳交付ノ請求ヲ受ケタルトキハ第九號書式ノ預金部預金帳ヲ預ケ人ニ交付スヘシ

第六十九條 日本銀行統轄店又ハ特設代理店ハ自店及其ノ所屬代理店(特設代理店ヲ除ク)ノ取扱ニ係ル預金部預金拂込書、保管金振込書、預金

部預金利子元加請求書、預金部預金拂戻請求書、支拂済ノ小切手、預金部預金利子支拂請求書、預金取扱店變更申込書其ノ他ノ證憑書類ヲ受拂ニ區分シ預金ノ種別、預ケ人別ニ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ保存スヘシ但シ特設代理店ニ於テ調製シタルモノハ其ノ證憑書類ト共ニ所轄統轄店ニ於テ保存スルモノトス

第七十條 日本銀行ハ會計規則第六十條第一號、第二號及第五號ノ帳簿トシテ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

第七十條 日本銀行ハ會計規則第六十條第一號、第二號及第五號ノ帳簿トシテ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

第七十條 日本銀行ハ會計規則第六十條第一號、第二號及第五號ノ帳簿トシテ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

第七十條 日本銀行ハ會計規則第六十條第一號、第二號及第五號ノ帳簿トシテ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

第七十條 日本銀行ハ會計規則第六十條第一號、第二號及第五號ノ帳簿トシテ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

第七十條 日本銀行ハ會計規則第六十條第一號、第二號及第五號ノ帳簿トシテ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

第七十條 日本銀行ハ會計規則第六十條第一號、第二號及第五號ノ帳簿トシテ左ノ帳簿ヲ備フヘシ



- 一 國庫金總括帳
  - 二 國庫金受拂内譯帳
  - 三 當座預金内譯帳
  - 四 別口預金内譯帳
  - 五 指定預金内譯帳
  - 六 國庫金受拂總括帳
  - 七 國庫金受拂報告額整理帳
  - 八 某年度一般會計内譯帳
  - 九 某年度某特別會計内譯帳
  - 十 隔地拂資金内譯帳
  - 十一 歳出支拂未済繰越金内譯帳
  - 十二 預託金内譯帳
  - 十三 預金部内譯帳
  - 十四 某年度一般會計支拂豫算帳
  - 十五 某年度某特別會計支拂豫算帳
- 前項ノ帳簿中第一號乃至第五號ノ帳簿ハ日本銀行本店ニ、第七號ノ帳簿ハ特設代理店所轄日本銀行統轄店ニ、第六號及第八號乃至第十三號ノ帳簿ハ日本銀行統轄店ニ、第六號、第八號、第九號及第十一號乃至第十三號ノ帳簿ハ日本銀行特設代理店ニ、第十四號及第十五號ノ帳簿ハ日本銀行各店ニ之ヲ備フヘシ
- 日本銀行ハ支拂元受高ヲ要スル特別會計、預金部預金及預託金ノ受拂殘額ヲ明瞭ナラシムル爲適宜ノ帳簿ヲ設ケヘシ
- 第七十一條** 國庫金總括帳ニハ大藏大臣ノ定ムル計算科目毎ニ口座ヲ設ケ

- ノ受拂額ヲ記入スヘシ
- 第七十八條** 隔地拂資金内譯帳ニハ統轄店別ノ口座ヲ設ケ隔地拂資金ノ受拂額ヲ記入スヘシ
- 第七十九條** 歳出支拂未済繰越金内譯帳ニハ年度、會計、所管廳、支出官別ノ口座ヲ設ケ歳出支拂未済繰越金ノ受拂額ヲ記入スヘシ
- 第八十條** 預託金内譯帳ニハ所屬廳、出納官吏別ノ口座ヲ設ケ預託金ノ受拂額ヲ記入スヘシ
- 第八十一條** 預金部内譯帳ニハ左ノ種別及口座ヲ設ケ預金部ノ受拂額ヲ記入スヘシ
- 一 預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金ハ預ケ人ノ口座
  - 二 會計規則第二百一十一條ノ規定ニ依ル預金ハ保管金、供託金ノ種別及預ケ人、取扱主任官別ノ口座
  - 三 其ノ他ノ預金ハ大藏大臣ノ定ムル種別及口座
- 日本銀行本店ニ備フル預金部内譯帳ニハ前項ニ規定スルモノノ外大藏大臣ノ定ムル口座ヲ設ケ預金部資金ノ受拂額ヲ記入スヘシ
- 第八十二條** 第七十條第一號乃至第十三號ノ帳簿ニハ之ヲ備フル日本銀行ニ於テ左記各號ニ依リ受拂額ヲ記入スヘシ
- 一 第一號ノ帳簿ニハ各統轄店毎日ノ報告額但シ當座預金、別口預金及指定預金ノ計算科目ハ本店ニ於ケル受拂額
  - 二 第二號ノ帳簿ニハ各統轄店毎日ノ報告額
  - 三 第三號乃至第五號ノ帳簿ニハ本店ニ於ケル受拂額
  - 四 第六號ノ帳簿ニハ統轄店自店及其ノ所屬代理店ニ於ケル毎日ノ受拂額

- 國庫金ノ受拂額ヲ記入スヘシ
- 第七十二條** 國庫金受拂内譯帳ニハ大藏大臣ノ定ムル計算科目毎ニ各統轄店ヲ區分シタル口座ヲ設ケ國庫金ノ受拂額ヲ記入スヘシ
- 第七十三條** 當座預金内譯帳、別口預金内譯帳及指定預金内譯帳ニハ大藏大臣ノ定ムル口座ヲ設ケ各預金ノ受拂額ヲ記入スヘシ
- 第七十四條** 國庫金受拂總括帳ニハ大藏大臣ノ認可ヲ經テ日本銀行ノ定ムル計算科目毎ニ口座ヲ設ケ國庫金ノ受拂額ヲ記入スヘシ
- 第七十五條** 國庫金受拂報告額整理帳ニハ國庫金受拂總括帳ノ計算科目毎ニ所屬特設代理店ヲ區分シタル口座ヲ設ケ國庫金ノ受拂額ヲ記入スヘシ
- 第七十六條** 某年度一般會計内譯帳ニハ左ノ區分及口座ヲ設ケ一般會計ノ受拂額ヲ記入スヘシ
- 一 受入ハ之ヲ歳入ト歳入外トニ區分シ歳入ニハ所管廳、取扱廳別ノ口座(第十九條ノ場合ニ於テハ尙其ノ所屬年度別ノ口座)歳入外ニハ大藏大臣ノ定ムル口座
  - 二 拂出ハ歳出ト歳出外トニ區分シ歳出ニハ所管廳、支出官別ノ口座、歳出外ニハ大藏大臣ノ定ムル口座
- 第七十七條** 某年度某特別會計内譯帳ハ支拂元受高ヲ要スル特別會計ノ内譯帳ト支拂元受高ヲ要セサル特別會計ノ内譯帳トヲ別冊ト爲スヘシ
- 支拂元受高ヲ要スル特別會計ノ内譯帳ニハ所管廳、取扱廳、支出官別ノ口座ヲ設ケ同一口座中ニ當該會計ノ歳入歳出及歳入外歳出外ノ受拂額ヲ記入シ尙第十九條ノ場合ニ於テハ其ノ所屬年度ヲ記入スヘシ
- 支拂元受高ヲ要セサル特別會計ノ内譯帳ニハ前條ノ規定ニ準シ當該會計

- 五 第七號ノ帳簿ニハ所屬特設代理店毎日ノ報告額
  - 六 第八號乃至第十三號ノ帳簿ニハ各店ニ於ケル受拂額
  - 八 第三十三條 某年度一般會計支拂豫算帳及某年度某特別會計支拂豫算帳ニハ所管廳、支出官、經常又ハ臨時部、款項別ノ口座ヲ設ケ支拂豫算額及支拂済額ヲ記入スヘシ
  - 八 第四十四條 本章ニ規定スル帳簿ノ様式及記入ノ方法ハ日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ
  - 八 第五十五條 日本銀行各店間ノ振替受拂ヲ記入スヘキ帳簿ノ種類、様式及記入ノ方法ハ日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ
- 第八章 計算報告**
- 第八十六條** 日本銀行ハ國庫金ノ出納ニ關シ左ノ計算報告表ヲ調製スヘシ
- 一 國庫金貸借對照表 第十號書式
  - 二 國庫金受拂報告表 第十一號書式
  - 三 當座預金受拂内譯表 第十二號書式
  - 四 別口預金(指定預金)受拂内譯表 第十三號書式
  - 五 歳入金月計突合表 第十四號書式
  - 六 歳出金月計突合表 第十五號書式
  - 七 歳出支拂未済繰越金月計突合表 第十六號書式
  - 八 預託金月計突合表 第十七號書式
  - 九 預金部預金月計突合表 第十八號書式
  - 十 預金部受拂計算表 第十九號書式
  - 十一 某月出納計算書 書式ハ別ニ之ヲ定ム
- 第八十七條** 國庫金貸借對照表、國庫金受拂報告表、當座預金受拂内譯表、



別口預金受拂内課表及指定預金受拂内課表ハ日本銀行本店ニ於テ毎日之ヲ調製シ大藏省ニ提出スヘシ

第八十八條 歳入金月計突合表ハ日本銀行統轄店ニ於テ自店及其ノ所屬代理店(大藏大臣ノ指定スル所屬代理店ヲ除ク)ノ取扱ヒタル歳入額及其ノ累計額ヲ掲ケ毎月(年度經過後整理期間末日ノ屬スル月以外ノ)歳入額及更正拂額ナキ月ヲ除ク)ニ通テ調製シ翌月七日迄ニ到達ノ日取ヲ以テ歳入徴收官ニ送付シ其ノ一通ニ證明ヲ受ケ之カ返付ヲ受ケヘシ但シ第十九條ノ規定ニ依リ取扱ヒタル歳入額ハ所屬年度毎ニ別表ニ調製スルモノトス

第八十九條 歳出金月計突合表ハ日本銀行統轄店ニ於テ自店及其ノ所屬代理店(特設代理店ヲ除ク)ノ取扱ヒタル小切手支拂額、支拂元受高(支拂元受高ヲ要スル特別會計ノ歳出金月計突合表ニ限ル)其ノ累計額及支拂未済額ヲ掲ケ毎月(年度經過後整理期間末日ノ屬スル月以外ノ)小切手支拂額、支拂元受高、定額戻入額及更正納額ナキ月ヲ除ク)之ヲ調製シ支出官ニ送付シ其ノ證明ヲ受ケ添付シタル書類ト共ニ之カ返付ヲ受ケヘシ

第九十條 歳出支拂未済繰越金月計突合表ハ日本銀行統轄店ニ於テ自店及其ノ所屬代理店(特設代理店ヲ除ク)ノ取扱ヒタル歳出支拂未済繰越金ノ越高、受入額、支拂額及残額ヲ掲ケ毎月(歳出支拂未済繰越金ノ受入額及支拂額ナキ月ヲ除ク)之ヲ調製シ支拂済ニ保ル小切手振出通知書ヲ

第九十一條 預託金月計突合表ハ日本銀行統轄店ニ於テ自店及其ノ所屬代理店(特設代理店ヲ除ク)ノ取扱ヒタル預託金ノ越高、受拂額及殘額ヲ掲ケ毎月(預託金月計突合表中官廳ノ預金ノ越高ヲ除ク)之ヲ調製シ預託金部預金拂込書、預託金部預金拂戻請求書並支拂済小切手ノ番號及金額ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ翌月七日迄ニ到達ノ日取ヲ以テ取扱主任官ニ送付シ其ノ證明ヲ受ケ添付シタル書類ト共ニ之カ返付ヲ受ケヘシ

第九十二條 特設代理店ハ其ノ取扱ヒタル歳出金、歳出支拂未済繰越金、預託金及預金部預金ノ月計突合表ヲ調製シ其ノ證明ヲ受ケヘシ

第九十三條 預金部受拂計算表ハ日本銀行統轄店ニ於テ自店及其ノ所屬代理店ノ取扱ヒタル預金部預金ノ受拂額中第九十二條ノ月計突合表ニ掲ケサルモノヲ掲ケ毎月(第九十二條ノ月計突合表ニ掲ケサル預金部預金ノ受拂額ナキ月ヲ除ク)之ヲ調製シ預金部預金拂込書、預金部預金拂戻請求書及支拂済小切手ノ番號及金額ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ翌月七日迄ニ到達ノ日取ヲ以テ大藏大臣ノ指定スル官吏ニ送付シ其ノ證明ヲ受ケ添付シタル書類ト共ニ之カ返付ヲ受ケヘシ

第九十四條 某月出納計算書ハ毎月日本銀行各店ニ於テ取扱ヒタル國庫金ノ出納額、歳入金及歳出金ノ出納計算ニ付テハ一會計年度ヲ四期ニ分チ(年度經過後整理期間末ヲ合セテ五回)各統轄店別ニ自店及其ノ所屬代理店ノ取扱ヒタル歳入額及小切手支拂額ヲ掲ケタル某月歳入金及歳出金ノ内課表

第九十五條 日本銀行ハ會計検査院ノ検査ヲ受クル爲メ會計検査院ノ定ムル國庫金ノ出納計算書ヲ調製シ大藏大臣ノ定ムル期限内ニ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ

第九十六條 日本銀行歳入徴收官、支出官又ハ出納官吏ノ送付ニ保ル納稅告知書、納入告知書、小切手、返納告知書又ハ現金拂込書ノ誤謬訂正請求書ニシテ毎年度所屬歳入金又ハ歳出金ノ受入又ハ支拂ヲ爲シ得ル期間内ニ到達シタルモノニ付テハ當該店ニ於テ受付ヲ爲シタル日附ニ依リ之カ訂正ノ手續ヲ爲シ歳入徴收官又ハ出納官吏ノ請求ニ保ルモノハ歳入徴

第九十七條 日本銀行支出官事務規程第三十條ノ規定ニ依リ誤謬訂正請求書ノ送付ヲ受ケタルトキハ當該店ニ於テ受付ヲ爲シタル日附ニ依リ之カ訂正ノ手續ヲ爲スヘシ

第九十八條 日本銀行歳入徴收官、出納官吏、預金部預金ノ預ケ人又ハ振込人ヨリ領收通知書、領收證書、預託金領收證書、預金部預金領收證書、預金部預金振込通知書又ハ預金購入有價證券保管通知書ノ證明請求書ノ提出アリタル場合ニ於テハ之ヲ調査シ正當ナリト認めタルトキハ該請求書ノ餘白ニ證明ノ上之ヲ歳入徴收官、出納官吏、預ケ人又ハ振込人ニ交付スヘシ但シ振込人ニ對シ證明ヲ爲シタル場合ニ於テハ預ケ人ニ對シテ其ノ旨ヲ通知スルモノトス

第九十九條 日本銀行ハ支出官事務規程第三十四條、出納官吏事務規程第七十條又ハ保管金取扱規程第二十條ノ規定ニ依リ歳出金支拂通知書、預託金支拂通知書又ハ保管金支拂通知書ノ亡失又ハ毀損ニ保ル届書ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ金額支拂未済ナルトキハ其ノ旨ヲ届書ノ餘白ニ記入シ之ヲ當該支出官、出納官吏又ハ保管金取扱官廳ニ送付スヘシ

第十條 雜則

第九十六條 日本銀行歳入徴收官、支出官又ハ出納官吏ノ送付ニ保ル納稅告知書、納入告知書、小切手、返納告知書又ハ現金拂込書ノ誤謬訂正請求書ニシテ毎年度所屬歳入金又ハ歳出金ノ受入又ハ支拂ヲ爲シ得ル期間内ニ到達シタルモノニ付テハ當該店ニ於テ受付ヲ爲シタル日附ニ依リ之カ訂正ノ手續ヲ爲シ歳入徴收官又ハ出納官吏ノ請求ニ保ルモノハ歳入徴

第九十七條 日本銀行支出官事務規程第三十條ノ規定ニ依リ誤謬訂正請求書ノ送付ヲ受ケタルトキハ當該店ニ於テ受付ヲ爲シタル日附ニ依リ之カ訂正ノ手續ヲ爲スヘシ

第九十八條 日本銀行歳入徴收官、出納官吏、預金部預金ノ預ケ人又ハ振込人ヨリ領收通知書、領收證書、預託金領收證書、預金部預金領收證書、預金部預金振込通知書又ハ預金購入有價證券保管通知書ノ證明請求書ノ提出アリタル場合ニ於テハ之ヲ調査シ正當ナリト認めタルトキハ該請求書ノ餘白ニ證明ノ上之ヲ歳入徴收官、出納官吏、預ケ人又ハ振込人ニ交付スヘシ但シ振込人ニ對シ證明ヲ爲シタル場合ニ於テハ預ケ人ニ對シテ其ノ旨ヲ通知スルモノトス

第九十九條 日本銀行ハ支出官事務規程第三十四條、出納官吏事務規程第七十條又ハ保管金取扱規程第二十條ノ規定ニ依リ歳出金支拂通知書、預託金支拂通知書又ハ保管金支拂通知書ノ亡失又ハ毀損ニ保ル届書ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ金額支拂未済ナルトキハ其ノ旨ヲ届書ノ餘白ニ記入シ之ヲ當該支出官、出納官吏又ハ保管金取扱官廳ニ送付スヘシ

第十條 雜則

第九十六條 日本銀行歳入徴收官、支出官又ハ出納官吏ノ送付ニ保ル納稅告知書、納入告知書、小切手、返納告知書又ハ現金拂込書ノ誤謬訂正請求書ニシテ毎年度所屬歳入金又ハ歳出金ノ受入又ハ支拂ヲ爲シ得ル期間内ニ到達シタルモノニ付テハ當該店ニ於テ受付ヲ爲シタル日附ニ依リ之カ訂正ノ手續ヲ爲シ歳入徴收官又ハ出納官吏ノ請求ニ保ルモノハ歳入徴







第十二輯 財務 第一章 會計 第九款 國庫  
第五號書式 預金部預金領收證書 (用紙寸法日本標準規格B6)

預金部預金領收證書

第 號  
金  
期 限 年 月 日  
上記金額預金部定期預金トシテ領收候也  
年 月 日  
日本銀行(何店)印  
某廳取扱主任官(又ハ何々)宛  
理事者

第五號ノ二書式 預金部預金領收證書 (用紙寸法日本標準規格B6)

預金部預金領收證書

第 號  
金  
上記金額領收候也  
年 月 日  
日本銀行(何店)印  
某廳取扱主任官(又ハ何々)宛  
理事者

第六號書式 預金部預金振込済通知書 (用紙寸法日本標準規格B6)

預金部預金振込済通知書

第 號  
金  
振込人氏名  
上記金額貴廳ノ預金トシテ振込相受候也  
年 月 日  
日本銀行(何店)印  
某廳取扱主任官宛

備考  
振込力錯誤ナリシトキ又ハ其ノ必要ナキニ至リシトキハ振込人ハ官廳ヨリ其ノ旨ノ證明書ヲ受ケ之ヲ日本銀行ニ提出シ現金ノ返付ヲ請求スヘシ  
第十二輯 財務 第一章 會計 第九款 國庫

第六號ノ二書式 預金部普通預金組入通知書 (用紙寸法日本標準規格B6)

預金部普通預金組入通知書

金 定期預金  
預入年月日 年 月 日  
期 限 年 月 日  
上記金額 年 月 日預金部普通預金=組入候也  
年 月 日  
日本銀行(何店)印  
某廳取扱主任官(又ハ何々)宛  
理事者



預金部預金現在額證明書

金 年月日  
預金現在高

上記金額證明候也

年月日

日本銀行(何店)印

某廳取扱主任官(又ハ何々)宛  
理事者

上記金額貴殿ノ預金トシテ取扱方承認候也

年月日

日本銀行(何店)印

来廳取扱主任官(又ハ何々)宛  
理事者

第八號書式 預金部預金現在額證明書 (用紙寸法日本標準規格B6)

| 年月日 | 預入高 | 拂戻高 | 差引殘高 |
|-----|-----|-----|------|
|     |     |     |      |
|     |     |     |      |
|     |     |     |      |
|     |     |     |      |
|     |     |     |      |
|     |     |     |      |
|     |     |     |      |
|     |     |     |      |
|     |     |     |      |

第九號書式 預金部預金帳 (用紙寸法日本標準規格A6)

第 號

預金部預金帳

殿

日本銀行(何店)

〔輯一二三三〕

預金利子元加通知書

金

上記金額何年度分預金利子元加濟=付通知候也

年月日

日本銀行(何店)印

某廳取扱主任官(又ハ何々)宛  
理事者

第七號書式 預金利子元加通知書 (用紙寸法日本標準規格B6)

預金部預金利子組入通知書

金

定期預金利子

預入年月日 年月日

期限 年月日

上記金額 年 月 日預金部普通預金=組入候也

年月日

日本銀行(何店)印

某廳取扱主任官(又ハ何々)宛  
理事者

第七號ノ二書式 預金部預金利子組入通知書 (用紙寸法日本標準規格B6)

〔輯一二三三〕



















# 第十款 國有財產

## ●國有財產法

大正十年四月八日  
法律第四十三號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル國有財產法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(國務各大  
臣副署)

### 國有財產法

第一條 本法ニ於テ國有財產ト稱スルハ國有ノ不動產並勅令ヲ以テ定ムル國有ノ動產及權利ヲ謂フ

第二條 國有財產ヲ分テ左ノ四種トス

一 公共用財產 國ニ於テ直接公共ノ用ニ供シ又ハ供スルモノト決定シタルモノ

二 公用財產 國ニ於テ神社ノ用又ハ國ノ事務、事業若ハ官吏其ノ他ノ職員ノ住居ノ用ニ供シ又ハ供スルモノト決定シタルモノ

三 營林財產 國ニ於テ森林經營ノ目的ニ供シ又ハ供スルモノト決定シタルモノ

四 雜種財產 前各號ニ屬セサルモノ

第三條 國有財產ニ關スル事務ハ各省大臣之ヲ管理シ國有財產ニ關スル總轄事務ハ大藏大臣之ヲ管理スヘシ

第四條 國有財產ハ雜種財產ヲ除クノ外之ヲ讓渡シ又ハ之ニ私權ヲ設定スルコトヲ得ス但シ其ノ用途又ハ目的ヲ妨ケサル限度ニ於テ其ノ使用又ハ收益ヲ爲サシムルハ此ノ限ニ在ラス

第五條 雜種財產ハ左ニ掲ケル場合ニ限り之ヲ讓與スルコトヲ得

一 帝室用又ハ公共團體ニ於テ公共用若ハ公用ニ供スル爲必要アルトキ

第十二輯 財務 第一章 會計 第十款 國有財產

〔日本〕

二 公共用財產又ハ公用財產ノ用途ヲ廢止シタル場合ニ於テ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ其ノ維持保存ノ費用ヲ負擔シタル者、其ノ用途ニ代ルヘキ他ノ施設ヲ爲シタル者其ノ他ノ緣故者又ハ關係者ニ讓與スルトキ

三 神社、寺院又ハ佛堂ノ合併シタル場合ニ於テ之ニ因リ其ノ供用ヲ止メタル國有財產ヲ其ノ合併シタル神社、寺院又ハ佛堂ニ讓與スルトキ

第六條 雜種財產ハ法律ヲ以テ特別ノ定テ爲シタル場合ニ限り之ヲ出賣ノ目的ト爲スコトヲ得

第七條 雜種財產ハ土地及建物以外ノ土地ノ定著物ニ限り帝室用又ハ國、公共團體若ハ私人ニ於テ公共用、公用若ハ公益事業ニ供スル爲必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ他ノ土地及建物以外ノ土地ノ定著物ト交換ヲ爲スコトヲ得

第八條 用途及期間ヲ指定シテ國有財產ノ賣拂、讓與又ハ交換ヲ爲シタル場合ニ於テ指定期間内ニ之ヲ其ノ用途ニ供セス又ハ之ヲ其ノ用途ニ供シタル後指定期間内ニ其ノ用途ヲ廢止シタルトキハ政府ハ其ノ契約ヲ解除スルコトヲ得

第九條 國有財產ノ賣拂代金又ハ交換差金ハ財產引渡前之ヲ納付セシムヘシ但シ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ延納ノ特約ヲ爲スコトヲ得

第十條 國有財產ニ付境界査定ヲ施行セムトスルトキハ豫メ期日ヲ定メテ隣接地所有者ニ之ヲ通知シ其ノ立會ヲ求ムヘシ

隣接地所有者期日ニ於テ立會ハサルコトアルモ境界査定ヲ施行スルコト

三九







- 二 不動產又ハ前號ニ掲ケル動産ノ從物
- 三 事業所ニ於ケル機械及重要ナル器具
- 四 地上權、地役權、礦業權、砂礦權其ノ他之ニ準スヘキ權利
- 五 株式及出資ニ因ル權利

前項第三號ノ事業所ノ範圍ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第二條 各省大臣公用財產又ハ公用財產ノ用途ヲ廢止セムトスルトキハ豫メ大藏大臣ニ之ヲ通知シ特ニ大藏大臣ト協定シタルモノヲ除クノ外用途廢止後遲滞ナク之ヲ大藏大臣ニ引繼クヘシ

前項ノ規定ハ用途ノ廢止ト同時ニ國有財產タルノ性質ヲ失フモノ、國有林野法第三條第二項ノ規定ニ依リ營林財產ト爲スノ必要アルモノ、史蹟名勝天然紀念物ニ指定セラレタルモノ及帝國鐵道會計、通信事業特別會計、簡易生命保險特別會計、大學資金又ハ學校及圖書館資金ニ屬スルモノニ付之ヲ適用セス

第三條 各省大臣國有財產ノ管理換ヲ受ケムトスルトキハ所管大臣及大藏大臣ニ協議スヘシ

第四條 左ニ掲ケル場合ニ於テハ所管大臣ハ大藏大臣ニ協議スヘシ  
一 公用財產タル土地ノ用途ヲ變更セムトスル場合ニシテ大藏大臣ノ定ムルモノニ該當スルトキ

二 公用財產ト爲スノ目的ヲ以テ土地ノ交換ヲ爲シ又ハ寄附ヲ受ケムトスルトキ

三 雜種財產ヲ公用財產又ハ營林財產ト爲サムトスルトキ

四 營林財產ノ目的ヲ廢止セムトスルトキ

第五條 各省大臣公用財產ト爲スノ目的ヲ以テ土地ノ買入若ハ收用ヲ爲シ又ハ地上權ヲ取得シタルトキハ遲滞ナク之ヲ大藏大臣ニ通知スヘシ

第六條 前二條ノ規定ハ國有財產法施行地外ニ在ル財產及帝國鐵道會計ニ屬シ又ハ屬スヘキ財產ニ付之ヲ適用セス

第七條 國有財產ニ關スル事務ニ從事スル職員ハ其ノ取扱ニ係ル國有財產ヲ讓受ケ又ハ自己ノ所有物ト交換スルコトヲ得ス

第二章 賣拂、讓與及交換

第八條 公共團體ニ於テ維持保存ノ費用ヲ負擔シタル公共用財產ノ用途ヲ廢止シタル場合ニ於テハ之ヲ其ノ公共團體ニ讓與スルコトヲ得但シ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外費用負擔ノ義務ヲ負ヒタル期間力十年ニ滿タサルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九條 公共團體又ハ私人ニ於テ公共用財產ノ用途ニ代ルヘキ他ノ施設ヲ爲シタル爲其ノ用途ヲ廢止シタル場合ニ於テハ之ヲ其ノ施設ヲ爲シタル者又ハ其ノ相續人其ノ他ノ包括承繼者ニ讓與スルコトヲ得但シ財產ノ見込價格力其ノ施設ニ要シタル費用ノ額ヲ超過スルトキハ超過額ニ相當スル部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十條 公共用財產又ハ公用財產ノ用途ヲ廢止シタル場合ニ於テ其ノ財產中寄附ニ係ルモノハ之ヲ其ノ寄附者又ハ其ノ相續人其ノ他ノ包括承繼者ニ讓與スルコトヲ得但シ寄附ノ際特約ヲ爲シタル場合ヲ除クノ外寄附ヲ受ケタル後二十年ヲ經過シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 國有財產ニ付交換ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ當該官廳ハ目的物ノ價格ヲ評定シ其ノ基礎ヲ明ニシタル調書ヲ作成スヘシ  
評定價格ノ差額力其ノ高價ナルモノノ價格ノ四分ノ一ヲ超ユルトキハ交換ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條 前條第一項ノ規定ハ隨意契約ニ依リ國有財產ノ賣拂ヲ爲サムト

スル場合ニ之ヲ準用ス

第十三條 一定ノ用途ニ供セシムル目的ヲ以テ國有財產ノ賣拂、讓與又ハ交換ヲ爲ス場合ニ於テハ當該官廳ハ其ノ用途並ニ其ノ用途ニ供スヘキ始期及期間ヲ指定スヘシ但シ當該官廳ニ於テ特ニ其ノ必要ナシト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三章 境界査定

第十四條 國有財產ニ付境界ノ分明ナラサルモノアル場合ニ於テ當該官廳ハ必要ト認メタルトキ又ハ隣接地所有者ノ申請アリタルトキハ當該官廳ハ其ノ境界査定ヲ施行スヘシ

第十五條 境界査定ヲ施行セムトスルトキハ當該官廳ハ其ノ日時及場所ヲ定メ書面ヲ以テ隣接地所有者ニ之ヲ通知スヘシ

前項ノ書面ノ送達ハ期日ニ付豫メ隣接地所有者ノ承諾アリタル場合ヲ除クノ外期日ノ前日ヨリ起算シ少クトモ七日前之ヲ爲スヘシ

第十六條 隣接地所有者期日ニ於テ立會ヲ爲スコト能ハサル事由ヲ申出テタルトキハ當該官廳ハ其ノ期日ヲ變更スルコトヲ得

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用セス

第十七條 境界査定ヲ了シタルトキハ當該官廳ハ書面ヲ以テ隣接地所有者ニ之ヲ通知スヘシ

隣接地所有者ハ當該官廳又ハ其ノ指定シタル官公署ニ就キ査定圖又ハ其ノ原本ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第十八條 當該官廳第十五條又ハ前條ノ通知ヲ爲シタルトキハ配達證明郵便ニ依リタル場合ヲ除クノ外其ノ受領書ヲ發スヘシ

第十九條 國有財產法第十二條ノ公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲シ且關係市區町

村長又ハ之ニ準スヘキ者ヲシテ揭示其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ爲サシムヘシ

第四章 貸付及準貸付

第二十條 公共用財產又ハ公用財產ト爲スノ目的ヲ以テ寄附ヲ受ケタル國有財產ハ其ノ用途ニ供セサル期間無償ニテ之ヲ其ノ寄附者又ハ其ノ相續人其ノ他ノ包括承繼者ニ貸付スルコトヲ得

第二十一條 隨意契約ニ依リ國有財產ヲ貸付セムトスルトキハ當該官廳ハ貸付料ヲ評定シ其ノ基礎ヲ明ニシタル調書ヲ作成スヘシ國有財產法第十五條第二項ノ規定ニ依リ貸付期間ヲ更新セムトスルトキ亦同シ

第二十二條 前二條ノ規定ハ貸付ニ依ラスシテ國有財產ノ使用又ハ收益ヲ爲サシムル契約ニ付之ヲ準用ス

第二十三條 雜種財產ニ付土地ノ開拓又ハ水面ノ埋立若ハ干拓ノ事業ヲ爲サシムル契約ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ當該官廳ハ事業者ヨリ左ノ事項ヲ具シタル事業計畫書ヲ提出セシムヘシ

- 一 土地又ハ水面ノ所在及面積
- 二 事業ノ目的
- 三 事業施行ノ方法及順序
- 四 成功豫定期間
- 五 收支豫算
- 六 計畫圖

事業成功ノ後公共ノ用ニ供スヘキ部分アルトキハ其ノ位置及面積ノ事業計畫書ニ記載セシムヘシ

第二十四條 國有財產法第二十一條第一項ノ規定ニ依リ國有財產ノ賣拂又



ハ有償貸付ノ豫約ヲ爲サムトスルトキハ當該官廳ハ賣拂價格又ハ貸付料ヲ評定シ其ノ基礎ヲ明ニシタル調書ヲ作成スヘシ  
前項ノ規定ハ國有財產ノ讓與又ハ無償貸付ノ豫約ヲ爲サムトスル場合ニ之ヲ準用ス

第二十五條 事業ノ成功ニ要スル豫定期間ハ契約ノ日ヨリ十年以内ニ於テ之ヲ定ムヘシ  
天災其ノ他已ムテ得サル事由ニ因リ必要アリト認ムルトキハ當該官廳ハ前項ノ規定ニ依リ定メタル期間ノ半ニ相當スル期間以内ニ於テ豫定期間ノ延長ヲ承認スルコトヲ得

第二十六條 當該官廳ハ契約ノ日ヨリ二年以内ノ期間ヲ指定シ事業者ヲシテ其ノ事業ニ著手セシムヘシ  
前條第二項ノ規定ハ前項ノ期間ニ付之ヲ準用ス

第二十七條 國有財產法第二十三條ノ規定ニ依リ事業者ニ對シ成功部分ノ賣拂、讓與又ハ貸付ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ當該官廳ハ特別ノ事由アリト認ムル場合ヲ除クノ外豫約ニ定メタル條項ニ準シテ其ノ契約ヲ爲スヘシ

第二十八條 國有財產法第二十四條第一項ニ規定スル雜種財產ノ使用又ハ收益ニ付テハ寺院又ハ佛堂ニ關スル主務大臣ノ定ムル所ニ依ルヘシ  
第二十九條 寺院又ハ佛堂國有財產法第二十四條第二項ノ規定ニ依リ雜種財產ノ貸付ヲ受クムトスルトキハ地方長官ヲ經由シ主務大臣、其ノ財產ヲ管理スル大臣及大藏大臣ニ願出ツヘシ  
前條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ貸付シタル雜種財產ニ付之ヲ準用ス

第五章 臺帳

第三十條 國有財產ノ臺帳ハ所管ノ各省ニ之ヲ備フヘシ但シ部局ノ長ニ於テ國有財產ニ關スル事務ヲ分掌スル場合ニ於テハ其ノ部局毎ニ之ヲ備ヘ各省ニハ其ノ總括簿ヲ備フルモノトス  
第三十一條 國有財產ノ臺帳ハ其ノ種類毎ニ之ヲ調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ但シ財產ノ性質ニ依リ其ノ記載事項ヲ省略スルコトヲ得  
一 種目  
二 所在又ハ所屬  
三 數量  
四 價格  
五 得喪變更ノ年月日及事由  
六 其ノ他必要ナル事項  
第三十二條 國有財產ノ臺帳ニ登錄スヘキ價格ハ購入ニ係ルモノハ購入價格、交換ニ係ルモノハ交換當時ニ於ケル評定價格、收用ニ係ルモノハ補償金額ニ依リ其ノ他ノモノハ左ノ區分ニ依リ之ヲ定ムヘシ  
一 土地ニ付テハ種類ノ時價ニ比準シテ算定シタル金額  
二 立木竹ニ付テハ其ノ材積ニ單價ヲ乘シテ算定シタル金額、庭木其ノ他材積ヲ基準トシテ算定シ難キ立木竹ハ見込價格  
三 建物其ノ他ノ工作物及船舶其ノ他ノ動産ニ付テハ建築費、製造費又ハ見込價格  
四 權利ニ付テハ第一條第四號ニ掲グルモノハ見込價格、第五號ニ掲グルモノハ拂込金額又ハ出資金額  
第三十三條 土地及立木竹ノ價格ハ國有財產現在額總計算書調製ノ年三月三十一日ノ現況ニ依リ之ヲ改定スヘシ但シ臺帳ニ登錄シタル後二年ヲ經

〔日本〕

過セサルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テ土地ノ價格ハ種類ノ時價ニ比準シ、立木竹ノ價格ハ其ノ材積ニ單價ヲ乘シテ之ヲ算定スヘシ但シ庭木其ノ他材積ヲ基準トシテ算定シ難キ立木竹ニ付テハ見込價格ニ依ル

第三十四條 作業會計又ハ造幣局特別會計ノ固定資本ニ屬スルモノノ價格ハ前二條ノ規定ニ拘ラス其ノ資本價格ニ依ルヘシ

第三十五條 各省大臣ハ會計検査院ニ證明ノ爲國有財產ノ増減計算書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ  
前項ノ計算書ハ國有財產ニ關スル事務ヲ分掌スル部局ノ長ヨリ直ニ會計検査院ニ送付セシムルコトヲ得

第三十六條 各省大臣ハ毎會計年度間ニ於ケル國有財產増減報告書ヲ調製シ翌年度八月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ  
大藏大臣ハ各省ノ國有財產増減報告書ニ基キ國有財產増減總計算書ヲ調製シ各省ノ國有財產増減報告書ト共ニ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第三十七條 各省大臣ハ每五年三月三十一日現在ニ於ケル國有財產現在額報告書ヲ調製シ其ノ年九月三十日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ  
大藏大臣ハ各省ノ國有財產現在額報告書ニ基キ國有財產現在額總計算書ヲ調製シ各省ノ國有財產現在額報告書ト共ニ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第七章 雜則

第十二輯 財務 第一章 會計 第十款 國有財產

〔輯三七〕

第三十八條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外國有財產ノ臺帳ニ關シ必要ナル事項ハ大藏大臣ノ之ヲ定ム

第三十九條 第三十五條ニ規定スル計算證明書類ノ様式及送付期限ニ付テハ會計検査院ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第四十條 前條ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ニ定ムル諸計算書ノ様式ハ大藏大臣ノ之ヲ定ム

第四十一條 本令ニ定ムル帳簿及書類ノ様式ニハ國防上秘密ヲ要スル國有財產ニ付必要ナル特例ヲ設クヘシ

附則

第四十二條 本令ハ國有財產法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四十三條 左ノ命令ハ之ヲ廢止ス但シ官有財產ノ増減異動ニシテ本令施行前ニ係ルモノノ報告ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

明治七年九月二十三日達皇城周圍内外ノ邊境等修繕改築ニ關スル件

明治八年第四百四十六號達

明治八年第四百九十八號達

明治九年第四百六十六號達

明治十三年第六號達

明治十三年七月八日達皇城周圍内外ノ邊境外岸接近ノ官有地ヘ家屋等建築ニ關スル件

明治十四年第十號達

明治十六年第四十五號達

官有地特別處分規則

官有財產管理規則



官有地取扱規則

明治二十四年勅令第十五號

明治二十七年勅令第九十二號

明治三十六年勅令第九十六號

明治三十九年勅令第二百二十號

明治四十一年勅令第九十九號

明治四十二年勅令第七十號

大正六年勅令第二百二十四號

第四十四條 本令施行ノ際ニ於ケル各省所管ノ雜種財產ハ國有林野及北海

道國有未開地ヲ除クノ外第二條ノ規定ニ準シ本令施行ノ日ノ現在ニ依リ

之ヲ大藏大臣ニ引繼クヘシ

第四十五條 本令施行ノ際國有財產ノ臺帳ニ登錄スヘキ土地及立木竹ノ價

格ハ其ノ購入、交換又ハ收用ニ係ルモノト雖爾後二年ヲ經過シタルモノ

ニ付テハ帝國鐵道會計ニ屬スルモノヲ除クノ外第三十二條第一號又ハ第

二號ノ規定ニ依リ算定シタル金額ニ依ル

第四十六條 各省大臣ハ本令施行ノ日ノ現在ニ於ケル國有財產現在額報告

書ヲ調製シ其ノ年十月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十七條 前三條ニ規定スルモノヲ除クノ外本令施行ニ關シ必要ナル事

項ハ大藏大臣之ヲ定ム

### ●國有財產法施行規則

大正十一年二月八日  
大藏省令第十四號

改正 大正十一年第六一號

昭和二年第五號、七年第一七號、九年第一一號

國有財產法施行規則左ノ通定ム

第一條 國有財產法施行規則

第一條 公用財產タル土地ノ用途ヲ變更セムトスル場合ニシテ之ニ因リ各

箇ノ官廳、兵營、病院、監獄、學校、官舎、工場、倉庫、練兵場、作業

場、演習場、射擊場、飛行場、牧場、農場、試驗場、演習林ノ敷地ニ異

動ヲ生スヘキモノニ付テハ國有財產法施行令第四條ノ規定ニ依リ所管大

臣大藏大臣ト協議スヘシ但シ其ノ異動ノ面積ハ百坪ヲ超エサル場合及相

接續スル兩敷地ノ區域ノ相互變更ニシテ其ノ面積ハ各敷地ノ面積ノ一割

ヲ超エサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 國有財產ノ臺帳ハ第一號様式ニ據ル但シ帝國鐵道會計又ハ通信事

業特別會計ニ屬スルモノ及作業會計又ハ造幣局特別會計ノ固定資本ニ屬

スルモノニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議シ別ニ其ノ様式ヲ定ムルコト

ヲ得

國有林野ニシテ別ニ臺帳ノ設備アルモノニ付テハ之ニ總括ヲ附シテ國有

財產ノ臺帳ニ代用スルコトヲ得

第三條 臺帳ニハ土地、建物及國有財產法施行令第一條第四號ニ掲ケル權

利ニ關スル圖面ヲ附屬セシムヘシ但シ本令施行ノ際ニ於ケル雜種財產ニ

付テハ其ノ重要ナルモノヲ除クノ外當分ノ内之ヲ省略スルコトヲ得

第四條 國有財產ノ總括簿ヲ備フル場合ニ於テハ第一號様式中總括ニ準シ

テ之ヲ調製シ尙公用財產ノ分ニ付テハ前條ニ準シテ圖面ヲ附屬セシムヘ

シ

第五條 國有財產現在額報告書及國有財產増減報告書ハ第二號及第三號様

式ニ據ル

附則 本令ハ國有財產法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 附則 (昭和七年大藏省令第十七號)

本令ハ昭和七年度ヨリ之ヲ適用ス但シ昭和七年三月三十一日現在ニ於ケル

國有財產現在額報告書ハ改正様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第一號様式(國有財產臺帳)

|        |     |
|--------|-----|
| 國有財產臺帳 |     |
| 何會計所屬  | 何財產 |
| 管理廳名   |     |

### 備考

一本臺帳ハ一般會計及各特別會計所屬別ニ公用財產、營林財產及雜種

財產毎ニ別冊トシ尙公用財產中神社ノ用ニ供スルモノ及國防上秘密

ヲ要スルモノ、雜種財產中寺院又ハ佛堂ノ用ニ供スルモノ及公共團

體ニ於テ直接公共ノ用ニ供スルモノハ各別冊ト爲スモノトス

二各臺帳ニ登錄スヘキ國有財產ノ區分及種目ハ別表ノ定ムル所ニ依ル

モノトス但シ工作物及器具機械ニ付テハ必要ニ應シ適宜其ノ種目ノ

追補ヲ爲スコトヲ妨ケス

三各臺帳ハ土地ノ種目別一區域ヲ基準トシテ口座ヲ分チ當該土地ノ定

若物ハ勿論其ノ上ニ存スル官廳其ノ他ニ從屬スル動產及權利ヲモ其

ノ口座ニ整理スルモノトス但シ土地ヲ基準トスル口座ニ整理シ難キ

第十二輯 財務

第一章 會計

第十款 國有財產

モノニ付テハ別ニ口座ヲ設ケルコトヲ要ス

四各臺帳ニハ卷頭ニ索引ヲ附シ卷末ニ總括ヲ附スルモノトス但シ索引

及總括ハ便宜各別冊ト爲スコトヲ妨ケス

五各臺帳ノ口座ハ公用財產ニ在リテハ土地ノ種目ニ冠シタル名稱(例

ハハ何廳、何工場、何練兵場等ノ如シ)ヲ附シ所屬官廳順ニ、營林

財產又ハ雜種財產ニ在リテハ名稱ヲ附セス道府縣郡市(市ニ區アル

モノニ付テハ市及區)區町村順ニ、其ノ土地ヲ基準トセサル口座ハ

末尾トシ保管ノ官廳順ニ編綴スルモノトス

六各口座ハ土地(地上權、地役權其ノ他之ニ準スヘキ權利ハ土地ニ準

シ土地ノ次トス)立木竹、建物、工作物、器具機械、船舶、鐵業權

(砂鐵權ハ鐵業權ニ準ス)、株式及持分ノ順序ニ依リ整理スルモノト

ス

七各様式ノ標題ハ公用財產ニ在リテハ口座名、營林財產及雜種財產ニ

在リテハ所在地(市區町村)名又ハ保管ノ官廳名ニ依ルモノトス但シ

所在地名ニ依ルモノハ便宜之ヲ省略スルコトヲ妨ケス

八沿革欄ニハ臺帳登錄ニ至ル迄ノ沿革ヲ詳細ニ記入スルモノトス

九年月日欄ニハ得喪變更其ノ他登錄ヲ要スル事由ノ發生シタル年月日

ヲ記入スルモノトス

十公用財產中神社ノ用ニ供スルモノ及雜種財產中寺院若ハ佛堂ノ用ニ

供シ又ハ公共團體ニ於テ直接公共ノ用ニ供スルモノニ付テハ土地ノ

價格及土地ノ定著物ニ關スル記入ヲ要セサルモノトス

十一數量ノ單位ハ別表ノ定ムル所ニ依リ單位未滿ハ之ヲ切捨ツ但シ全

額單位未滿ノモノ及特ニ單位未滿ヲ存スルノ必要アルモノニ付テハ

此ノ限ニ在ラス

十二一口座全部消滅シタル場合ニ於テハ之ヲ除斥シ別ニ編綴保存スル

モノトス



| 口 | 座   | 索引番號 | 口 | 座 | 索引番號 |
|---|-----|------|---|---|------|
| 何 | 廳   | 1    |   |   |      |
| 何 | 倉庫  | 2    |   |   |      |
| 何 | 練兵場 | 3    |   |   |      |

(索引)

備考

一 管林財產及雜種財產ノ分ニ付テハ口座欄ヲ「所在及所属」欄トシ所在ノ道府縣郡市區町村名又ハ保管ノ官廳名ヲ記入スルモノトス

【(山林)】

土地

【(山林)】

| 種目       | 敷地   | 所在地 | 何縣何郡何町字何々番地 | 沿革        | 何     |            |       | 備考         |               |       |   |
|----------|------|-----|-------------|-----------|-------|------------|-------|------------|---------------|-------|---|
|          |      |     |             |           | 在     | 現          | 減     |            |               |       |   |
| 年月日      | 摘    | 要   | 増           | 減         | 現     | 在          | 備     |            |               |       |   |
| 大正       | 現    | 在   | 數           | 量         | 價     | 格          | 數     | 量          | 價             | 格     | 備 |
| 11. 4. 1 | 買    | 入   | 120         | 12,000.00 | 3,500 | 297,545.00 | 3,500 | 297,545.00 | 樹木10<br>坪當85圓 | 價格45圓 |   |
| 12.10.20 | 買    | 入   |             |           | 3,620 | 309,545.00 | 3,620 | 309,545.00 |               |       |   |
| 14. 3.20 | 用途廢止 |     |             |           | 3,270 | 279,786.00 | 3,270 | 279,786.00 | 樹木2           | 價格9圓  |   |
| 16. 3.31 | 價格改定 |     |             | 79,950.00 |       |            |       |            | 樹木8<br>坪當110圓 | 價格40圓 |   |

(土地)

索引番號 5

備考

一 種目欄ニハ公用財產ノ種目ニ冠シタル名稱ハ之ヲ省略シテ記入スルモノトス  
 二 所在欄ニハ道府縣郡市區町村大字地番ヲ記入スルモノトス但シ鐵道敷地其ノ他特殊ノモノニ付テハ便宜他ノ方法ニ依リ記入スルコトヲ妨ク  
 三 地上權、地役權其ノ他之ニ準スル權利ニ付テハ其ノ權利ノ種類ヲ欄外土地ノ右傍ニ赤書シ其ノ目的ナル土地ノ所有者、存続期間其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ備考欄ニ記入スルモノトス  
 四 借地上ニ國有ノ建物其ノ他ノ工作物アル場合及一敷地中ノ一部ヲ借地ナル場合ニ於テハ口座ノ初葉備考欄ニ其ノ借地ノ所在及數量ヲ記入スルモノトス  
 五 管林財產中部分林、保安林、保管林、委託林、官地民木林、官行造林等ニ付テハ各其ノ數量ヲ備考欄ニ記入スルモノトス  
 六 雜種財產ノ買扱又ハ交換ノ保ルモノニ付テハ其ノ買扱價格又ハ交換差金ヲ備考欄ニ記入スルモノトス立木、竹、建物等皆之ニ被テ



建築物

何

| 建築物<br>番號    | 種目  | 事務所 | 建設<br>種目 | 増  |    | 減   |     | 現   |       | 在         |            | 備考 |
|--------------|-----|-----|----------|----|----|-----|-----|-----|-------|-----------|------------|----|
|              |     |     |          | 坪  | 延坪 | 坪   | 延坪  | 坪   | 延坪    | 坪         | 延坪         |    |
| 大正<br>11.4.1 | 現在  |     | 1        |    |    |     |     | 296 | 699   | 65,530.00 | 73,950.96  |    |
|              |     |     | 2        |    |    |     |     | 400 | 754   | 1,350     | 138,780.60 |    |
|              |     |     | 計        |    |    |     |     | 630 | 1,350 | 1,350     | 138,780.60 |    |
| 14.9.30      | 増   |     | 2        | 40 | 70 |     |     | 440 | 820   | 90,750.00 | 90,750.00  |    |
| 15.2.9       | 取   |     | 1        |    |    | 230 | 600 |     |       | 65,530.00 |            |    |
| 16.3.31      | 現在計 |     |          |    |    |     |     | 440 | 820   | 90,750.00 | 90,750.00  |    |

(建物)

索引番號 5

備考  
一 建物一棟毎ニ別業トス  
但シ種目ノ同シキモノ  
ハ之ヲ併記スルヲ妨ケ  
ス  
二 建物ニハ一口座ヲ通シ  
テ番號ヲ附シ之ヲ建物  
番號トシテ記入シ併別ニ  
稱呼アルモノハ成ルハ  
ク之ヲ附記スルモノト  
ス  
三 數棟ノ建物ヲ併記スル  
場合ニ於テハ其ノ番號  
ヲ建物番號標ニ連記シ  
テ摘要欄ノ末尾ニ建物  
番號ヲ表示シテ一棟毎  
ニ記入シテ附シ増減  
ヲ加除スル毎三元記入  
ノ建物番號及現在欄ノ  
數字ヲ失抹スルモノト  
ス(一棟ノ建物全部消  
滅シタル場合ニ於テハ  
建物番號標ノ當該番號  
及構造欄ノ當該記入事  
項ヲモ失抹スルモノト  
ス)  
四 構造欄ニハ木造、鐵造、  
土藏造、煉瓦造、石造、  
人造石造、混泥土造、  
鐵筋混泥土造、鐵骨煉  
瓦造、鐵骨鐵筋混泥土  
造等ノ別ヲ記入シ尙平  
家建、二階建等ノ別及  
地下室又ハ屋階アルモ  
トス  
五 數量欄延坪ハ地下室、  
屋階其ノ他ヲ含ム總延  
坪ヲ記入スルモノトス  
六 建物ノ從物(農建具、  
窓掛等)ニ付テハ其ノ  
價格ヲ建物價格ニ合算  
シ住宅建ニ付テハ其ノ  
各數量ヲ備考欄ニ記入  
スルモノトス

工作物及器具機械  
(立  
工)

何

| 種目           | 年月日 | 摘 | 要 | 増 |   | 減 |        | 現 |         | 在 |   | 備考 |
|--------------|-----|---|---|---|---|---|--------|---|---------|---|---|----|
|              |     |   |   | 量 | 價 | 量 | 價      | 量 | 價       | 量 | 價 |    |
| 大正<br>11.4.1 | 現在  |   | 1 |   |   |   |        | 1 | 85,000  |   |   |    |
|              |     |   | 2 |   |   |   |        | 1 | 350,000 |   |   |    |
|              |     |   | 計 |   |   |   |        | + | 190,000 |   |   |    |
|              |     |   | 3 |   |   | 2 | 60,000 | 2 | 60,000  |   |   |    |
| 15.2.9       | 取   |   |   |   |   |   |        | 2 | 60,000  |   |   |    |
| 16.3.31      | 現在計 |   |   |   |   |   |        | 4 | 495,000 |   |   |    |

(工作物、器具機械、立木竹)

索引番號 5

備考  
一 工作物、器具機  
械又ハ立木竹ノ  
各一種目毎ニ別  
業トス但シ立木  
竹ニ付テハ材積  
ヲ基準トシテ其  
ノ價格ヲ算定セ  
難キモノハ其ノ  
數量及價格ヲ土  
地ノ備考欄ニ記  
入シテ其ノ價格  
ヲ土地ノ價格ニ  
合算スルコトヲ  
妨ケス  
二 一種目ニ付構造  
又ハ細分ヲ異ニ  
スルモノアル場  
合ニ於テハ成ル  
ヘク之ヲ別業ト  
シ其ノ之ヲ併記  
スル場合ニ於テ  
ハ構造又ハ細分  
毎ニ番號ヲ附シ  
建物ノ部備考三  
ノ例ニ依ルモノ  
トス  
三 構造又ハ細分欄  
ニハ其ノ主要ヲ  
ル構造別又ハ細  
分別ヲ適宜區分  
記入スルモノト  
ス  
四 數量單位ニ上  
ニ及テモノハ本  
様式ノ數量欄ヲ  
適宜區分シテ相  
當欄ヲ設ケルモ  
ノトス



船舶

何

| 種目             | 汽船名 | 何丸  | 構造<br>又分 | 汽機重聯成<br>汽機、常形 | 尺其<br>他 | 長幅深<br>登簿 | 何何尺<br>何何尺 | 馬力何<br>何噸 | 何年何月購入 | 増 |   | 減 |   | 現 |   | 在 |   | 備考 |  |
|----------------|-----|-----|----------|----------------|---------|-----------|------------|-----------|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|--|
|                |     |     |          |                |         |           |            |           |        | 數 | 價 | 數 | 價 | 數 | 價 | 數 | 價 |    |  |
| 大正<br>11. 4. 1 | 現   | 在   |          |                |         |           |            |           |        |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |
| 15. 3. 10      | 屬   | 買入  |          |                | 15.00   |           |            |           |        |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |
| 15. 12. 20     | 屬   | 具除斥 |          |                |         |           |            |           |        |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |
| 16. 3. 31      | 現   | 在計  |          |                |         |           |            |           |        |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |

備考  
一船舶一隻毎ニ別業トス但  
雜船ハ之ヲ伴記スルヲ妨  
ス此ノ場合ニ於テハ構造又  
ハ細分毎ニ番號ヲ附シ建物  
ノ部備考三ノ例ニ依ルモ  
ノ部備考三ノ例ニ依ルモ  
トス  
一構造又ハ細分欄ニハ其ノ主  
要ナル構造別又ハ細分別ヲ  
適宜區分記入シ尙汽船ニ付  
テハ汽機汽機ノ種類及筒數  
ヲモ附記スルモトス  
三尺度其ノ他欄ニハ汽船ニ付  
テハ長幅深、馬力、登簿噸  
數其ノ他ニ付テハ各之ニ準  
シテ必要ナル事項ヲ記入ス  
ルモトス  
四屬其ノ他ノ從物ニ付テハ  
其ノ價格ヲ船舶價格ニ合算  
シ別ニ明細目錄ノ調製アル  
モノヲ除クノ外其ノ名稱及  
數量ヲ備考欄ニ記入スルモ  
トス  
五海軍艦船ニ付テハ本様式ニ  
準シ適宜之ヲ記入ス爲メ  
ノトス

[註釋]

鐵業權 (砂鐵權)

何

| 種目             | 何鐵山何區<br>何採掘鐵區 | 登番<br>錄號 | 何府縣何權第何號 | 所在  | 何縣何郡何村大<br>何字何 | 何年何月許可<br>何年何月何種減區許可 | 増 |   | 減 |   | 現 |   | 在 |   | 備考 |
|----------------|----------------|----------|----------|-----|----------------|----------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
|                |                |          |          |     |                |                      | 數 | 價 | 數 | 價 | 數 | 價 | 數 | 價 |    |
| 大正<br>11. 4. 1 | 現              | 在        |          |     |                |                      |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
| 13. 5. 1       | 増              | 區        |          | 430 | 8,600.00       |                      |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
| 16. 3. 31      | 現              | 在計       |          |     |                |                      |   |   |   |   |   |   |   |   |    |

備考  
一鐵區毎ニ記入スルモノトス但シ種  
目ヲ同シクスルモノハ合併記入スル  
ヲ妨クヌ此ノ場合ニ於テハ登錄番號  
欄ニ番號ヲ附シテ記入シ建物ノ部備考  
三ノ例ニ依ルモノトス



株式及持分

何

表10

| 種<br>目         | 何<br>株<br>式 | 内<br>容 | 増                     |              | 減                          |        | 現                          |        | 在                          |              | 備<br>考 |
|----------------|-------------|--------|-----------------------|--------------|----------------------------|--------|----------------------------|--------|----------------------------|--------------|--------|
|                |             |        | 一<br>株<br>ノ<br>金<br>額 | 何<br>々       | 何<br>年<br>何<br>月<br>何<br>日 | 何<br>々 | 何<br>年<br>何<br>月<br>何<br>日 | 何<br>々 | 何<br>年<br>何<br>月<br>何<br>日 | 何<br>々       |        |
| 大正<br>11. 4. 1 | 現           | 在      |                       |              |                            |        |                            |        | 1,000                      | 1,000,000.00 |        |
| 13.10.10       | 引           | 受      | 1,000                 | 1,000,000.00 |                            |        |                            |        | 2,000                      | 2,000,000.00 |        |
| 16. 3.31       | 現           | 在<br>計 |                       |              |                            |        |                            |        | 2,000                      | 2,000,000.00 |        |

(株式及持分)

備考  
一 内容欄ニハ一株又ハ一口ノ金額其ノ  
他株式又ハ持分ノ内容ヲ示スヘキ事  
項ヲ詳細記入スルモノトス

【注4】

【注4】

(總括)

總括

何

| 年<br>月<br>日    | 區<br>分      | 種<br>目 | 増        |           | 減          |           | 現            |            | 在      |           | 備<br>考                     |
|----------------|-------------|--------|----------|-----------|------------|-----------|--------------|------------|--------|-----------|----------------------------|
|                |             |        | 數<br>量   | 價<br>格    | 數<br>量     | 價<br>格    | 數<br>量       | 價<br>格     | 數<br>量 | 價<br>格    |                            |
| 大正<br>11. 4. 1 | 土<br>地      | 敷<br>地 |          |           |            |           | 3,500        | 297,545.00 | 1      | 73,230.00 | 樹木10,價格45圓                 |
|                | 建<br>物      | 事務所建   |          |           |            |           | 1,350<br>630 | 138,780.00 | 6      | 555.00    |                            |
|                | 工<br>作<br>物 | 雜工作物   |          |           |            |           |              |            |        |           |                            |
|                | 船<br>舶      | 汽<br>船 |          |           |            |           |              |            |        |           |                            |
|                | 計           |        |          |           |            |           |              |            |        |           |                            |
| 12.10.20       | 土<br>地      | 敷<br>地 | 120      | 12,000.00 |            |           | 3,620        | 309,545.00 |        |           | 買入                         |
| 14. 3.20       | "           | "      |          |           | 350        | 29,759.00 | 3,270        | 279,786.00 |        |           | 用途廢止 樹木2,價格9圓<br>樹木8,價格36圓 |
| 14. 9.30       | 建<br>物      | 事務所建   | 70<br>49 | 17,503.00 |            |           |              |            |        |           | 増築                         |
| 15. 2. 9       | "           | "      |          |           | 600<br>230 | 65,530.00 |              |            |        |           | 取毀                         |
| "              | 工<br>作<br>物 | 雜工作物   |          |           | 2          | 60.00     |              |            |        |           | "                          |
| 15. 3.10       | 船<br>舶      | 汽<br>船 |          | 15.00     |            |           |              |            |        |           | 屬具買入                       |
| 14年度計          | 建<br>物      | 事務所建   |          |           |            |           | 829<br>440   | 90,750.00  |        |           |                            |
|                | 工<br>作<br>物 | 雜工作物   |          |           |            |           | 4            | 405.00     |        |           |                            |
|                | 船<br>舶      | 汽<br>船 |          |           |            |           | 1            | 73,245.00  |        |           |                            |







| 建<br>物 | 立<br>木<br>竹 | 何敷地                  |                       |          |  |
|--------|-------------|----------------------|-----------------------|----------|--|
|        |             | 何敷地<br>(寺院佛堂供<br>用地) | 何敷地<br>(公共團體公<br>共用地) | 何敷地<br>歩 | 何敷地<br>歩   |
| 雜屋建    |             |                      |                       |          | 寺院又ハ佛堂ノ名稱ヲ冠スルモ<br>ノトス                                      |
| 倉庫建    |             |                      |                       |          | 公園其ノ他特有名稱アルモノハ<br>其ノ名稱ヲ、特有名稱ナキモノ<br>ハ普通名稱ヲ冠スルモノトス          |
| 工場建    |             |                      |                       |          | 庭木其ノ他材積ヲ基準トシテ其<br>ノ價格ヲ算定シ難キモノヲ包括<br>スルモノトス箇數ハ概數ニ依ル<br>テ妨ケス |
| 住宅建    |             |                      |                       |          |  |
| 事務所建   |             |                      |                       |          | 官署、學校、圖書館、病院、兵<br>營、監獄(監房ヲ除ク)、停車場<br>等ノ主タル建物ヲ包括スルモノ<br>トス  |
|        |             |                      |                       |          | 官舎、合宿所等ノ主タル建物ヲ<br>包括スルモノトス                                 |
|        |             |                      |                       |          | 上屋チモ包括スルモノトス   |
|        |             |                      |                       |          | 監房、既倉、番小屋、物置、廊<br>下、便所、門衛所、小使室等他                           |

| 工作物  |   |
|------|---|
| 門    | ノ種目ニ屬セサルモノヲ包括ス<br>ルモノトス                                 |
| 圍障   | 木門、石門等ノ各一箇所ヲ以テ<br>一箇トス<br>柵、塀、垣、生垣等ヲ包括スル<br>モノトス        |
| 水道   | 一式ヲ以テ一箇トス   |
| 下水   | 溝渠、埋下水等ノ各一式ヲ以テ<br>一箇トス                                  |
| 築庭   | 築山、置石、泉水等(立木竹ヲ<br>除ク)チ一箇トシ一箇所ヲ以テ<br>一箇トス                |
| 池井   | 貯水池、瀝水池、井戸等ノ各一<br>箇所ヲ以テ一箇トス                             |
| 鋪床   | 石敷、煉瓦敷、混泥土敷、木塊鋪、<br>アスファルト鋪等ノ各一箇所ヲ<br>以テ一箇トス            |
| 照明裝置 | 電燈、瓦斯燈、弧光燈等ニ關スル<br>設備(常時取リ外ツス部分ヲ含<br>メス)ノ各一式ヲ以テ一箇トス     |
| 暖房裝置 | 暖爐、瓦斯暖爐等チモ包括シ各<br>一式ヲ以テ一箇トス                             |
| 冷室裝置 | 一式ヲ以テ一箇トス   |
| 通風裝置 | 一式ヲ以テ一箇トス   |
| 消防裝置 | 一式ヲ以テ一箇トス   |
| 通信裝置 | 私設電話、電鈴等ニ關スル設備<br>ニシテ他ノ種目ニ該當セサルモ<br>ノヲ包括シ各一式ヲ以テ一箇ト<br>ス |

| 煙突   | 貯槽                         | 橋梁                      | 土留                    | 射場                        | 岸壁 | 陸道 | 軌道 | 輕便軌道 | 電信架空線          | 電信地下線                    | 電信水底線 | 電話架空線 | 電話地下線 |
|--|----------------------------|-------------------------|-----------------------|---------------------------|----|----|----|------|----------------|--------------------------|-------|-------|-------|
| 〃  | 〃                          | 〃                       | 〃                     | 〃                         | 〃  | 〃  | 〃  | 〃    | 〃              | 〃                        | 〃     | 〃     | 〃     |
| 獨立ノ存在チ有スルモノニシテ<br>煙道等ノ設備チ一箇トシ一基チ<br>以テ一箇トス | 水槽、油槽、瓦斯槽等チ包括シ<br>各其ノ箇數ニ依ル | 棧橋、陸橋等チモ包括シ各其ノ<br>箇數ニ依ル | 石垣、柵等ノ各一箇所ヲ以テ一<br>箇トス | 射擊場ニ於ケル諸工作物ノ一式<br>チ以テ一箇トス |    |    |    |      | 延長里間           | 延長里間                     | 延長里間  | 延長里間  | 延長里間  |
|  |                            |                         |                       |                           |    |    |    |      | 同報電信線チ包括スルモノトス | 海底線、湖底線、河底線チ包括<br>スルモノトス |       |       |       |

| 電話水底線 | 電力架空線 | 電力地下線 | 電車架空線 | 氣送管路 | 空氣供給管路 | 無線電信柱 | 燈臺        | 望檣                    | 起重機                   | 昇降機       | 船渠                     | 艦及爐                             | 原動裝置                                    | 變電裝置                           | 傳動裝置                        |
|-------|-------|-------|-------|------|--------|-------|-----------|-----------------------|-----------------------|-----------|------------------------|---------------------------------|---|--------------------------------|-----------------------------|
| 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃    | 〃      | 〃     | 〃         | 〃                     | 〃                     | 〃         | 〃                      | 〃                               | 〃                                       | 〃                              | 〃                           |
| 延長里間  | 延長里間  | 延長里間  | 延長里間  | 里間   | 里間     | (箇數)  | 一式ヲ以テ一箇トス | 燈船チモ包括シ一箇所ヲ以テ一<br>箇トス | 定置式ノモノニ付一式ヲ以テ一<br>箇トス | 一式ヲ以テ一箇トス | 浮船渠チモ包括シ各一式ヲ以テ<br>一箇トス | 鎔鑄爐、反射爐、結晶爐、眞鍮<br>爐等ノ各一式ヲ以テ一箇トス | 發電裝置、發動裝置、汽機、瓦<br>斯發生裝置等ノ各一式ヲ以テ一<br>箇トス | 變流裝置、變壓裝置、蓄電裝置<br>等ノ各一式ヲ以テ一箇トス | 電動裝置、シヤフチンク等ノ各<br>一式ヲ以テ一箇トス |
| 延長里間  | 延長里間  | 延長里間  | 延長里間  | 里間   | 里間     | (箇數)  | 一式ヲ以テ一箇トス | 燈船チモ包括シ一箇所ヲ以テ一<br>箇トス | 定置式ノモノニ付一式ヲ以テ一<br>箇トス | 一式ヲ以テ一箇トス | 浮船渠チモ包括シ各一式ヲ以テ<br>一箇トス | 鎔鑄爐、反射爐、結晶爐、眞鍮<br>爐等ノ各一式ヲ以テ一箇トス | 發電裝置、發動裝置、汽機、瓦<br>斯發生裝置等ノ各一式ヲ以テ一<br>箇トス | 變流裝置、變壓裝置、蓄電裝置<br>等ノ各一式ヲ以テ一箇トス | 電動裝置、シヤフチンク等ノ各<br>一式ヲ以テ一箇トス |



| 器具機械  |   | 船    |      |
|---|---|------|------|
| 雜工作物  | 工場機械                                      | 戰艦   | 巡洋艦  |
| 除塵裝置、噴霧裝置、製鹽裝置等ノ各一式ヲ以テ一箇トス                              | 機織機、印刷機等工場ニ於ケル土地ニ定著セサル主タル機械ヲ包括シ各一式ヲ以テ一箇トス | 戰艦   | 巡洋艦  |
| 浮標、立標、信號標等ノ各一箇所ヲ以テ一箇トス                                  | 機車、客車、電車、貨車、自動車等ヲ包括スルモノトス                 | 巡洋艦  | 航空母艦 |
| 井戸屋形、揚水場、石炭置場、馬糞場、灰捨場、避雷針、船架等ノ各種目ニ屬セサルモノヲ包括シ各一箇所ヲ以テ一箇トス | 他ノ種目ニ屬セサル動産タル機械及器具ヲ包括スルモノトス               | 水雷母艦 |      |
| 事業所ニ於ケルモノニ付テノミ適用アルモノトス                                  |   |      |      |

| 砂礫                           |                      | 鐵業                      |     | 鐵權  |      |
|------------------------------|----------------------|-------------------------|-----|-----|------|
| 敷設艦                          | 海防艦                  | 砲艦                      | 驅逐艦 | 潜水艦 | 水雷艇  |
| 敷設艦                          | 海防艦                  | 砲艦                      | 驅逐艦 | 潜水艦 | 水雷艇  |
| 汽船                           | 帆船                   | 雜船                      | 特務艇 | 特務艦 | 普通船舶 |
| 數噸                           | 石隻                   | 隻                       | 隻   | 隻   | 隻    |
| 電動船、内火船等機關ニ依リ推進スルモノヲ包括スルモノトス | 補助機械ヲ備フルモノヲモ包括スルモノトス | 他ノ種目ニ屬セサル一切ノ船舶ヲ包括スルモノトス |     |     |      |
| 何處山何探掘                       | 坪                    | 特有名稱ヲ冠スルモノトス            |     |     |      |

| 株式及持分        |     | 何處山何探掘 |     |
|--------------|-----|--------|-----|
| 何會社株式        | 何持分 | 何會社株式  | 何持分 |
| 株            | 口   | 株      | 口   |
| 特有名稱ヲ冠スルモノトス |     |        |     |

備考

一 地上權、地役權其ノ他之ニ準スヘキ權利ハ土地ニ準スルモノトス  
第二號様式(國有財產現在額報告書)

| 何處山何探掘       |     |
|--------------|-----|
| 何會社株式        | 何持分 |
| 株            | 口   |
| 特有名稱ヲ冠スルモノトス |     |

備考

一 大正何年何月何日現在何省所管  
何會計所屬國有財產現在額報告書

一 一般會計及各特別會計毎ニ公用財產、營林財產及雜種財產ニ大別シ向公用財產中神社ノ用ニ供スルモノ及國防上秘密ヲ要スルモノ、雜種財產中寺院又ハ佛堂ノ用ニ供スルモノ及公共團體ニ於テ直接公共ノ用ニ供スルモノハ各之ヲ細別シ臺帳ノ總括ニ依

第十二輯 財務 第一章 會計 第十款 國有財產

| 何省所管何會計所屬 |        |
|-----------|--------|
| 甲 公用財產    | 乙 雜種財產 |
| 管理處名      | 管理處名   |
| 口座名       | 口座名    |
| 所在區分      | 所在區分   |
| 種目        | 種目     |
| 數量        | 數量     |
| 量價        | 量價     |
| 格備        | 格備     |
| 考         | 考      |































八 當該寺院又ハ教會ニ於テ現ニ公益事業ノ爲使用スル土地

第一條 昭和十四年法律第七十八號(以下之ヲ法ト稱ス)第一條ノ規定ニ依

九 前各號ノ土地ニ於ケル立木竹其ノ他ノ定著物

リ國有財產ノ讓與ヲ受ケントスル寺院又ハ教會ハ別記第一號様式ニ依ル

當該寺院若ハ教會ノ所屬宗派、當該寺院ノ住職若ハ當該教會ノ主管者又ハ當該寺院若ハ教會ノ主宰スル財團法人ノ經營スル公益事業ニシテ當該寺院又ハ教會ノ經營ニ準ズルモノト認メラルトキハ其ノ事業ノ爲現ニ使用スル土地及其ノ定著物ハ之ヲ寺院又ハ教會ニ讓與スルコトヲ得

讓與申請書ヲ大藏大臣ニ提出スベシ  
前項ノ讓與申請書ニハ權徒總代又ハ信徒總代連署シ讓與ヲ受ケントスル土地ノ圖面、昭和十四年勅令第八百九十二號第一條第一項第七號、第八號又ハ同條第二項ノ規定ニ依ルモノナルトキハ之ニ該當スルコトヲ證明スル書面並ニ宗派ニ屬セザル教會ヲ除クノ外管長ノ意見書ヲ添付スベシ

第二條 寺院又ハ佛堂ニ無償ニテ貸付シタル國有財產ニシテ國土保安其ノ他公益上又ハ森林經營上國ニ於テ特ニ必要アリト認ムルモノハ國有トシテ存置シ前條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ讓與セズ又之ガ賣拂ヲ爲サズ

第二條 法第三條ノ規定ニ依リ國有財產ノ賣拂ヲ受ケントスル寺院又ハ教會ハ別記第二號様式ニ依ル賣拂申請書ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

第三條 寺院又ハ教會ニ對シ昭和十四年法律第七十八號第四條ノ規定ニ依リ賣拂代金ノ年賦延納ヲ認ムル場合ニハ國債ヲ以テ賣拂代金ニ相當スル擔保ヲ提供シタル場合ヲ除クノ外民法第三百二十五條第三號ニ規定スル先取特權ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第三條 賣拂代金ニ付年賦延納ヲ求メントスル寺院又ハ教會ハ前條ノ賣拂申請書ニ之ヲ記載シ擔保ヲ提供セザルモノニ在リテハ民法第三百二十五條第三號ニ規定スル先取特權ノ登記ニ關スル承諾書ヲ添付スベシ

附則 本令ハ昭和十四年法律第七十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條 寺院又ハ教會法第五條ノ規定ニ依リ無償貸付ヲ受ケタル國有財產ニ付土地ノ現狀ニ著シキ變更ヲ加ヘ、建物建設ノ目的ヲ以テ土地ヲ使用シ又ハ土地ヲ轉貸セントスルトキハ大藏大臣ノ許可ヲ受クベシ

● 昭和十五年大藏省令第二號(寺院等ニ無償ニテ貸付シタル國有財產ノ處分ニ關スル法律施行規則)  
昭和十五年一月十一日  
大藏省令第二號

前項ノ規定ニ依リ貸付ノ取消ヲ爲シタル場合ニ於テ國ハ之ガ損害ヲ賠償セズ  
第七條 寺院又ハ教會第一條、第二條若ハ第四條ノ規定ニ依ル申請又ハ第五條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サントスルトキハ其ノ所在地ヲ所轄スル稅務署ヲ經由スベシ  
附則 本令ハ昭和十四年法律第七十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

五 經費ヲ伴フモノニ在リテハ其ノ豫算金額  
第五條 寺院又ハ教會法第五條ノ規定ニ依リ無償貸付ヲ受ケタル國有財產ニ付耕作ノ目的ヲ以テ土地ヲ使用セントスルトキ又ハ災害ノ爲土地及立木竹ニ被害アリタルトキハ遲滞ナク大藏大臣ニ届出ヅベシ  
第六條 寺院又ハ教會前二條ノ規定ニ違反シタルトキハ大藏大臣ハ當該寺院又ハ教會ニ對シ貸付ノ取消ヲ爲スコトヲ得

二 土地ノ所在及坪數  
三 土地ノ現狀ヲ變更シ、土地ヲ使用シ又ハ轉貸セントスル方法及期間  
四 收入ヲ伴フモノニ在リテハ其ノ豫算金額

別記 (第一號様式)

讓與申請書

|                                    |      |      |        |
|------------------------------------|------|------|--------|
| 一、申請寺院(又ハ教會)ノ所在、名稱及所屬宗派            | 所在   | 名稱   | 所屬宗派   |
| 二、佛堂ガ寺院ニ屬シ又ハ寺院若ハ法人タル教會ト爲リタル年月日及舊名稱 | 舊名稱  | 年月日  | ニ屬スト爲ル |
| 三、讓與ヲ受ケントスル國有財產ノ所在、種類、數量及價格        | 所在   | 種類   | 實測數量   |
| 見込價格                               | 摘要   | 要    |        |
| 種別                                 | 實測數量 | 見込價格 | 摘要     |
| 土地                                 | 坪數   | 價格   |        |
| 立木                                 | 數量   | 價格   |        |
| 其他                                 | 數量   | 價格   |        |
| 計                                  |      |      |        |



- 四、讓與ヲ受ケントスル財産ノ内譯
- 一 本堂、庫裡、會堂其ノ他寺院又ハ教會ニ必要ナル建物又ハ工作物ノ敷地ニ供スル土地
  - 二 宗教上ノ儀式又ハ行事ヲ行フ爲ニ必要ナル土地
  - 三 參道トシテ必要ナル土地
  - 四 庭園トシテ必要ナル土地
  - 五 寺院又ハ教會ノ風致ヲ維持スル爲ニ必要ナル土地
  - 六 寺院又ハ教會ノ災害ヲ防止スル爲ニ必要ナル土地
  - 七 歴史又ハ古記等ニ依リ寺院又ハ教會ト密接ナル緣故アルモノト認メラルル土地
  - 八 當該寺院又ハ教會ニ於テ現ニ公益事業ノ爲使用スル土地
  - 九 前各號ノ土地ニ於ケル立木竹其ノ他ノ定著物
- 一〇 施行勅令第一條第二項ニ規定スル公益事業ノ爲使用スル土地及其ノ定著物

右位置圖及實測圖並ニ其ノ他關係書類相添ヘ及申請候也

年 月 日

住所 申請者 寺住職(教會ニ在リテハ教會主管者) 氏  
 住所 禮信徒總代 氏  
 同 同 氏 氏 氏

名 名 名 名  
 印 印 印 印

東石坪東石坪坪坪坪坪坪坪坪

注意事項

〔輯一〇七〕

(第二號樣式)

- (1) 讓與ヲ受ケントスル國有財産が無償ニテ貸付シアル國有財産ノ全部ニアラザルトキハ其ノ全部ニ付種類、實測數量及見込價格ヲ三ノ摘要欄ニ記載スルコト
- (2) 申請書、位置圖、實測圖、其ノ他關係書類ハ四通作成提出スルコト
- (3) 實測圖ニハ讓與ヲ受ケントスル内譯ヲ記入スルコト
- (4) 隣接所有者ノ承諾ヲ求ムルノ必要アルモノニ付テハ別ニ其ノ承諾書ヲ添附スルコト
- (5) 申請書ハ所轄稅務署ニ提出スルコト

〔輯一〇八〕

賣拂申請書

|                                    |       |       |     |        |
|------------------------------------|-------|-------|-----|--------|
| 一、申請寺院(又ハ教會)ノ所在、名稱及所屬宗派            |       | 所在    | 名稱  | 所屬宗派   |
| 二、佛堂カ寺院ニ屬シ又ハ寺院若ハ法人タル教會ト爲リタル年月日及舊名稱 |       | 舊名稱   | 年月日 | ニ屬スト爲ス |
| 三、賣拂ヲ受ケントスル國有財産ノ所在、種類、數量及價格        |       |       |     |        |
| 所在                                 | 種類及數量 | 坪合与   | 東石才 | 坪合与    |
|                                    | 立木竹地  |       |     |        |
|                                    | 其他    |       |     |        |
| 計                                  |       | 價時ノ上同 |     |        |
| 計                                  |       | 額半ノ價時 |     |        |



四、年賦延納ヲ求メントスル  
トキハ其ノ期間

ケ年

右位置圖及實測圖竝ニ其ノ他關係書類相添ヘ及申請候也

年 月 日

大藏大臣宛

|       |             |   |   |
|-------|-------------|---|---|
| 住所    | 寺住職(教會ニ在リテ) | 氏 | 名 |
| 申請者   | ハ教會主管者)     | 氏 | 名 |
| 住所    |             | 氏 | 名 |
| 禮信徒總代 |             | 氏 | 名 |
| 同     |             | 氏 | 名 |
| 同     |             | 氏 | 名 |

注意事項

- (1) 申請書、位置圖、實測圖、其ノ他關係書類ハ四通作成提出スルコト
- (2) 隣接所有者ノ承諾ヲ求ムルノ必要アルモノニ付テハ別ニ其ノ承諾書ヲ添附スルコト
- (3) 國債ヲ以テ擔保ヲ提供セントスルトキハ其ノ名稱、記號、番號、額面金額ノ種類、數量及額面總額ヲ記載シタル書類ヲ添附スルコト
- (4) 申請書ハ所轄稅務署ニ提出スルコト

〔輯一〇八〕

●寺院等ノ國有境內地取扱規程

昭和十五年二月九日  
大藏省訓令第一號

稅務監督局

寺院等ノ國有境內地取扱規程左ノ通定ム

寺院等ノ國有境內地取扱規程

第一條 寺院等ニ無償ニテ貸付シアル國有財產ノ管理及處分ハ本規程ニ依リ稅務監督局長之ヲ取扱フベシ

前項ノ事務ニ付稅務署長ハ稅務監督局長ヲ補助スルモノトス

第二條 寺院又ハ教會ニ對シ昭和十四年法律第七十八號(以下法ト稱ス)第一條ニ依リ國有財產ノ讓與ヲ爲サントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ニ稟請スベシ

- 一 臺帳記載事項
- 二 讓與ノ相手方及其ノ所屬宗派
- 三 讓與ヲ適當トスル事由及其ノ區別數量竝ニ見込價格
- 四 國有トシテ存置スルモノ又ハ賣拂フベキモノアルトキハ其ノ數量及見込價格
- 五 讓與ニ附帶シテ條件ヲ定ムベキ場合ニ於テハ其ノ條件
- 六 元佛堂ニ在リテハ宗教團體法第三十五條第一項ノ規定ニ依リ寺院ニ屬シ又ハ寺院若ハ法人タル教會ト爲リタル年月日及其ノ舊名稱
- 七 其ノ他參考トナルベキ事項

第三條 法第二條ニ依リ前項ノ提起アリタルトキハ意見ヲ附シ遲滯ナク願書ヲ大藏大臣ニ進達スベシ

第十二輯 財務 第一章 會計 第十款 國有財產

第十二輯 財務 第一章 會計 第十款 國有財產

〔輯一〇八〕

第四條 寺院又ハ教會ニ對シ法第三條ニ依リ國有財產ノ賣拂ヲ爲サントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ニ稟請スベシ

- 一 臺帳記載事項
  - 二 賣拂ノ相手方及其ノ所屬宗派
  - 三 賣拂ヲ適當トスル事由
  - 四 賣拂價格ニ關スル調書
  - 五 代金納付ノ方法及時期
  - 六 國債ヲ以テ擔保ヲ提供セントスルモノニ付テハ其ノ名稱、記號、番號、額面金額ノ種類、數量及額面總額
  - 七 賣拂ニ附帶シテ條件ヲ定ムベキ場合ニ於テハ其ノ條件
  - 八 元佛堂ニ在リテハ宗教團體法第三十五條第一項ノ規定ニ依リ寺院ニ屬シ又ハ寺院若ハ法人タル教會ト爲リタル年月日及其ノ舊名稱
  - 九 其ノ他參考トナルベキ事項
- 前項第四號ノ調書ハ賣買實例、精通者ノ意見其ノ他ノ資料ニ依リ成ルベク詳細ニ記載スベシ
- 第五條 特ニ國有トシテ存置スルモノヲ除クノ外法第三條ニ依リ賣拂ヲ爲サザル國有財產ニ付テハ現況ニ依リ一般讓與契約若ハ指名讓與契約ニ付シ又ハ讓與契約ニ依リ特定ノ者ニ賣拂フベシ
- 前項ニ依リ賣拂ヲ爲サントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ニ稟請スベシ
- 一 法第三條ニ依リ賣拂ヲ爲スニ至ラザリシ事由
  - 二 前條第一項第一號、第四號、第五號及第七號ニ規定スル事項
  - 三 指名讓與契約ニ付シ又ハ讓與契約ニ依ラントスルモノニ付テハ其ノ

四三二ノ九



















| 考 | 備   |
|---|---|
| 一 | 親任官官舎ノ備附家具ハ別ニ之ヲ定ム等外官舎ノ備附家具ハ列任官官舎ニ準ス                                   |
| 二 | 大廣間ヲ備フル勅任官官舎ニハ本表ノ外卓子、御帽掛各一箇並窓掛窓ニヲ増加備附クルコトヲ得                           |
| 三 | 各種布張製椅子ニハ覆布ヲ附スルコトヲ得   |
| 四 | 電燈又ハ瓦斯燈ノ設備ヲ得ル地方ニ在リテハ本表ノ外點燈上必要ノ設備ヲ爲スコトヲ得但シ電球又ハ瓦斯球及計量器ノ保藏費並電燈料ハ居住者ノ自辨トス |
| 五 | 勅任官官舎ニ在リテハ本表ノ外卓子、小卓子及大廣間備及食卓ノ數ニ應シ掛布、卓子掛布、地氈毛(綿)氈ヲ備附クルコトヲ得             |
| 六 | 構造上穿靴ノ儘昇降スル官舎ニハ昇降口ノ數ニ應シ靴拭ヲ備附クルコトヲ得                                    |

別表第三

| 官舎賃渡料   |         | 官       |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 大       | 中       | 大       | 中       |
| 官等      | 官等      | 官等      | 官等      |
| 年額      | 年額      | 年額      | 年額      |
| 四百五十圓   | 三百三十七圓五 | 八十五圓五十錢 | 七十二圓    |
| 各部      | 各部      | 各部      | 各部      |
| 中       | 中       | 中       | 中       |
| 將       | 將       | 將       | 將       |
| 十錢      | 十錢      | 六十圓     | 三十四圓二十錢 |
| 各部      | 各部      | 各部      | 各部      |
| 少       | 少       | 少       | 少       |
| 將       | 將       | 將       | 將       |
| 二百二十五圓  | 二百二十五圓  | 五十七圓六十錢 | 三十四圓二十錢 |
| 各部      | 各部      | 各部      | 各部      |
| 大       | 大       | 大       | 大       |
| 佐       | 佐       | 佐       | 佐       |
| 百八十圓    | 百八十圓    | 二十七圓    | 二十七圓    |
| 各部      | 各部      | 各部      | 各部      |
| 中       | 中       | 中       | 中       |
| 佐       | 佐       | 佐       | 佐       |
| 百五十七圓五十 | 百五十七圓五十 | 二十二圓五十錢 | 二十二圓五十錢 |
| 各部      | 各部      | 各部      | 各部      |
| 少       | 少       | 少       | 少       |
| 佐       | 佐       | 佐       | 佐       |
| 百三十五圓   | 百三十五圓   | 十八圓     | 十八圓     |

附則

昭和十一年勅令第二百六十六號  
 (國有財産法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件)  
 昭和十一年八月十五日  
 勅令第二百六十六號

改正 昭和十一年八月三日  
 朕國有財産法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 國有財産法ハ第十三條及第二十四條ノ規定ヲ除クノ外之ヲ朝鮮ニ施行ス

第二條 朝鮮總督府ニ屬スル國有財産ニ關スル事務ハ朝鮮總督府之ヲ管理スベシ

第三條 各省大臣公用財産ノ用途ヲ廢止セントスルトキハ豫メ之ヲ朝鮮總督府ニ通知スベシ

第四條 前條ノ規定ニ依リ引續テ受ケタル財産又ハ之ト交換シタル財産ハ國有財産整理資金ノ爲朝鮮總督府之ヲ管理スベシ但シ朝鮮總督府大臣ト協定シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 朝鮮總督府各省大臣ノ管理ニ屬スル國有財産ノ管理換ヲ受ケントスルトキハ朝鮮總督府及大臣ニ協議スベシ

第六條 朝鮮總督府國有財産整理資金ノ爲管理スル雜種財産ヲ公用財産若ハ營林財産ト爲サントスルトキ又ハ公用財産ト爲スノ目的ヲ以テ交換セシトスルトキハ大臣ニ協議スベシ

第七條 雜種財産ハ營利ヲ目的トセザル公共ノ利益ト爲ルベキ事業ニ供スル爲必要アルトキハ國有財産法第五條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ當該事業者ニ讓與スルコトヲ得

第八條 市街地計畫區域内ニ於ケル雜種財産タル土地ハ國有財産法第五條ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督府ノ定ムル所ニ依リ之ヲ市街地計畫事業執行ノ費用ヲ負擔スル公共團體ニ讓與スルコトヲ得

第九條 陸接國境ニ於ケル公道橋ノ附帶施設タル防護區舍並ニ税關監視所用及警察官派出所用廳舎ハ滿洲國政府ニ於テ公用ニ供スル爲必要アルトキハ無償ニ之ヲ使用セシムルコトヲ得

第十條 前項ノ國有財産ニシテ雜種財産タルモノハ國有財産法第五條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ滿洲國政府ニ讓與スルコトヲ得

督及大臣ニ通知シ特ニ朝鮮總督府ト協定シタルモノヲ除クノ外用途廢止後遲滞ナク之ヲ朝鮮總督府ニ引續テ受ケルベシ但シ其ノ用途廢止ト同時ニ國有財産タルノ性質ヲ失フモノ及大學資金ニ屬スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

朝鮮總督府前項ノ規定ニ依リ引續テ受ケタルモノハ遲滞ナク之ヲ大臣ニ通知スベシ

第四條 前條ノ規定ニ依リ引續テ受ケタル財産又ハ之ト交換シタル財産ハ國有財産整理資金ノ爲朝鮮總督府之ヲ管理スベシ但シ朝鮮總督府大臣ト協定シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 朝鮮總督府各省大臣ノ管理ニ屬スル國有財産ノ管理換ヲ受ケントスルトキハ朝鮮總督府及大臣ニ協議スベシ

各省大臣朝鮮總督府ノ管理ニ屬スル國有財産ノ管理換ヲ受ケントスルトキハ朝鮮總督府及大臣ニ協議スベシ

第六條 朝鮮總督府國有財産整理資金ノ爲管理スル雜種財産ヲ公用財産若ハ營林財産ト爲サントスルトキ又ハ公用財産ト爲スノ目的ヲ以テ交換セシトスルトキハ大臣ニ協議スベシ

第七條 雜種財産ハ營利ヲ目的トセザル公共ノ利益ト爲ルベキ事業ニ供スル爲必要アルトキハ國有財産法第五條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ當該事業者ニ讓與スルコトヲ得

第八條 市街地計畫區域内ニ於ケル雜種財産タル土地ハ國有財産法第五條ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督府ノ定ムル所ニ依リ之ヲ市街地計畫事業執行ノ費用ヲ負擔スル公共團體ニ讓與スルコトヲ得

第九條 陸接國境ニ於ケル公道橋ノ附帶施設タル防護區舍並ニ税關監視所用及警察官派出所用廳舎ハ滿洲國政府ニ於テ公用ニ供スル爲必要アルトキハ無償ニ之ヲ使用セシムルコトヲ得

第十條 前項ノ國有財産ニシテ雜種財産タルモノハ國有財産法第五條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ滿洲國政府ニ讓與スルコトヲ得



國有財產法施行令第二條、第四條、第五條、第十四條及第十九條ノ規定ハ朝鮮ニ於ケル國有財產ニ付之ヲ適用セズ

國有財產法施行令第三條、第八條但書及第三十六條乃至第三十八條ノ規定ハ朝鮮總督ノ管理ニ屬スル國有財產ニ付之ヲ適用セズ

第十六條 朝鮮總督ノ管理ニ屬スル國有財產ニ付テハ國有財產法施行令第一條中所管大臣又ハ第三十五條中各省大臣トアルハ朝鮮總督、同令第三十條中所管ノ各省又ハ各省トアルハ朝鮮總督府トス

附則

第十七條 本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條 朝鮮官有財產管理規則及驛屯土特別處分令ハ之ヲ廢止ス

第十九條 官有財產ノ増減異動ニシテ本令施行前ニ保ルモノノ報告ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第二十條 驛屯土、國有ノ沢及從來驛屯土ニ準ジテ管理シタル土地ニシテ本令施行ノ際現ニ驛屯土特別處分令ニ依リ貸付又ハ賣拂ノ契約ノ效力ヲ有スルモノニ付テハ其ノ契約ノ終了ニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ル

第二十一條 國有未墾地利用法、森林令、朝鮮土地改良令及朝鮮市街地計畫令中ノ國有財產ノ讓與、貸付又ハ貸付ニ依ラザル使用若ハ收益ニ關スル事項ニ付テハ國有財產法トノ關係ニ於テハ當分ノ內當該法律又ハ制令ニ依ル

第二十二條 國有財產現在額報告書ノ第一回分ハ昭和十二年三月三十一日ノ現在ニ依リ之ヲ調製スベシ

第二十三條 國有財產法、國有財產法施行令及本令中國有財產ノ臺帳ニ關スル規定ハ當分ノ內國有ノ林野ニ付之ヲ適用セズ

第二十四條 本令施行ノ際國有財產ノ臺帳ニ登錄スベキ土地及立木竹ノ價格ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ算定シタル金額ニ依ル

●國有財產法施行規則

昭和十二年三月二十九日 朝鮮總督府令第二十六號

改正 昭和十五年第九二號 國有財產法施行規則左ノ通定ム

國有財產法施行規則

第一條 市街地計畫區域内ニ於ケル雜種財產タル土地ハ公用財產カ雜種財產ナル場合ニ於テ朝鮮市街地計畫令第五條ノ規定ニ依リ負擔セシメラルベキ金額ニ相當スル價額ノ土地ヲ限度トシテ之ヲ當該市街地計畫事業執行ノ費用ヲ負擔スル公共團體ニ讓與スルコトヲ得

第二條 昭和十一年勅令第二百六十六號第八條ノ三ニ規定スル礦業トハ朝鮮重要礦物増產令第一條ニ規定スル重要礦物ノ採掘及之ニ附屬スル事業トス

第三條 國有財產ノ境界査定ハ土地調査令又ハ朝鮮林野調査令ニ依リ査定又ハ裁決ニ依リ確定セザル土地ニ限リ之ヲ施行ス

第四條 國有財產ニ付境界ノ分明ナラザルモノアル場合ニ於テ境界査定ヲ爲スノ必要アルトキハ當該國有財產ノ所管官廳ハ左ノ事項ヲ具シ境界査定ヲ所轄稅務署ニ委嘱スベシ

- 一 所在地
- 二 境界査定ヲ爲スル必要トスル事由
- 三 境界査定ヲ爲スニ付參考ト爲ルベキ事項
- 四 圖面

第五條 國有財產ニ付境界ノ分明ナラザルモノアル場合ニ於テ境界査定ヲ爲スル必要トスル隣接地所有者ハ前條各號ニ掲グル事項ヲ具シ當該國有

〔輯一〇二〕

〔輯一〇一〕

第十一條 裁定ノ申請書ヲ受理シタル稅務署ハ當該國有財產ノ所管官廳ニ之ヲ通知シ且申請書ニ關係書類ヲ添ヘ之ヲ朝鮮總督ニ申達スベシ

第十二條 裁定ヲ了シタルトキハ申請者、境界査定ヲ施行シタル稅務署及當該國有財產ノ所管官廳ニ書面ヲ以テ之ヲ通知スルノ外朝鮮總督府官報ニ之ヲ公告ス

第十三條 國有財產ノ臺帳ハ別記様式ニ依ル

第十四條 臺帳ニハ土地、建物及國有財產法施行令第一條第一項第四號ノ權利ニ關スル圖面ヲ附屬セシムベシ

第十五條 國有財產ノ總括簿ハ別記様式中ノ總括ニ準ジテ之ヲ調製シ公用財產ニ付テハ鐵道線路用地及測量標數地ヲ除クノ外圖面ヲ附屬セシム

附則

第十六條 本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十七條 左ノ朝鮮總督府令ハ之ヲ廢止ス但シ本令施行ノ際現ニ驛屯土特別處分令ニ依リ貸付又ハ賣拂ノ契約ノ效力ヲ有スルモノニ付テハ其ノ契約ノ終了ニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ル

大正元年朝鮮總督府令第四十號

大正七年朝鮮總督府令第五十八號

大正九年朝鮮總督府令第一百十號

大正九年朝鮮總督府令第六十六號

(別記様式省略)

財產ノ所管官廳ニ境界査定ノ申請ヲ爲スベシ

第五條 國有財產ニ付境界査定ノ申請ヲ受ケタル當該官廳ハ申請書ニ意見ヲ附シ申請ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ境界査定ヲ所轄稅務署ニ委嘱スベシ

第六條 境界査定ヲ施行セントスル場合ニ於テ隣接地所有者ノ立會ヲ求めントスルトキハ豫メ其ノ日時及場所ヲ當該國有財產ノ所管官廳ニ通知スベシ

其ノ日時ヲ變更セントスルトキ亦同シ

前項ノ官廳ハ境界査定ニ立會フコトヲ得

第七條 國有財產ニ付境界査定又ハ測量ヲ爲ス爲他人ノ土地ニ立入り、目標ヲ設置シ又ハ障害物ヲ除却スルノ必要アルトキハ其ノ所有者及占有者ニ豫メ之ヲ通知スベシ

日出前又ハ日没後邸内ニ立入り、目標ヲ設置シ又ハ障害物ヲ除却セントスル場合ニ於テハ占有者ノ承諾ヲ受ケベシ

第八條 稅務署ハ委嘱ヲ受ケタル日ヨリ六箇月以内ニ境界査定ヲ施行スベシ

第九條 境界査定ヲ了シタルトキハ當該國有財產ノ所管官廳及隣接地所有者ニ書面ヲ以テ之ヲ通知スルノ外朝鮮總督府官報ニ之ヲ公告スベシ

第十條 境界査定ニ付朝鮮總督ノ裁定ヲ求めントスルトキハ隣接地所有者ニ在リテハ境界査定ノ通知ヲ受ケタル日、其ノ他境界査定ニ不服アル利害關係人ニ在リテハ前條ノ公告アリタル日ヨリ六十日以内ニ申請書ヲ所轄稅務署ニ提出スベシ

前項ノ申請書ニハ不服ノ事由ヲ記載スベシ



### ●朝鮮總督府官舎規程

大正二年七月二日  
朝鮮總督府訓令第四十號

朝鮮總督府 所屬官署

朝鮮總督府官舎規程左ノ通定ム  
朝鮮總督府官舎規程

#### 第一章 保管

第一條 各官署ノ長ハ其ノ所屬官舎ノ保管及取締ヲ爲スヘシ  
京城所在ノ官舎ニ付テハ警察官署、〔鐵道局〕及逕信官署所屬ノモノ其ノ  
他特ニ定ムルモノヲ除クノ外朝鮮總督官房〔總務局長〕ノ保管及取締ニ屬  
スルモノトス

第二條 各官署ニ官舎主任ヲ置キ其ノ官署ノ長ハ第一條第二項ノ場合ニ之ヲ  
命免ス  
官舎主任ハ其ノ官署ノ長ノ命ヲ承ケ官舎ノ保存及衛生其ノ他ノ取締ヲ爲  
スヘシ

第三條 官舎ノ居住又ハ退居ハ各官署ノ長之ヲ命ス

第四條 官舎主任ハ定期又ハ臨時ニ官舎ノ検査ヲ爲スヘシ

第十二輯 財務 第一章 會計 第十款 國有財產

定期検査ハ毎年四月之ヲ行ヒ臨時検査ハ官舎居住者ノ入舎又ハ退居ノト  
キ及特ニ必要アリト認メタルトキ之ヲ行フ

検査ヲ行フ場合ハ豫メ官舎居住者ニ通知スヘシ

第五條 官舎居住者ニ於テ自費ヲ以テ官舎ノ建増、加工又ハ敷地ニ施工セ  
ムトスルトキハ事由ヲ具シ官署ノ長ノ許可ヲ受クヘシ

#### 第二章 貨渡

第六條 官舎ニ居住ヲ命セラレタル者ハ受命ノ日又ハ前居住者退居ノ日ヨ  
リ七日以内ニ入舎スヘシ

病氣其ノ他ノ事故ニ依リ前項ノ期間内ニ入舎スルコト能ハサルトキハ其  
ノ事由ヲ具シ相當期間ノ猶豫ヲ請フコトヲ得

第七條 官舎ニ居住ヲ命セラレタル者入舎セムトスルトキハ豫メ其ノ期日  
ヲ申出テ入舎ノ際物品會計官吏立會ノ上官舎主任トノ間ニ官舎及備品ノ  
授受ヲ爲スヘシ

第八條 官舎居住者官舎ヲ退去スル場合ニハ前二條ノ例ニ準シ返納ノ手續  
ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ官舎居住者ノ自費ヲ以テ建増其ノ他ノ施工ヲ爲シタル  
モノアルトキハ總テ原形ニ復スヘシ但シ許可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ  
在ラス

第九條 官舎居住者故意又ハ過失ニ因リ官舎若ハ備品ヲ毀損シ又ハ亡失シ  
タルトキハ辨償ノ責ニ任スヘシ

第十條 左ニ掲ケル事故アル場合ニハ官舎居住者ハ速ニ官舎主任ニ申報ス  
ヘシ

一 官舎若ハ備品ヲ毀損シ又ハ亡失シタルトキ



二 官舎又ハ其ノ附近ニ於テ傳染病患者發生シタルトキ  
三 火災、水災其ノ他異變アリタルトキ

第十一條 官舎居住者家族及使用者以外ノ者ヲ同居セシムルトキハ其ノ旨  
届出ツヘシ

官舎取締上必要アリト認ムルトキハ前項同居者ノ退去ヲ命スルコトアルヘシ

第十二條 官舎居住者轉地療養、歸省其ノ他ノ事故ニ因リ全家ヲ擧ケ一時  
官舎ヲ離ルトキハ監守人ヲ定メ之ヲ監守セシムヘシ其ノ事故七日以上  
ニ及フトキハ豫メ其ノ旨届出ツヘシ

前項ノ監守人ヲ不適當ト認メタルトキハ其ノ更替ヲ命スルコトアルヘシ

第三章 設備及修繕

第十三條 官舎ニ設備スヘキ電燈、水道給水柱及備品定數ハ別表ニ依ル但  
シ洋室ヲ有スル官舎ニ在リテハ其ノ室ノ用途ニ應ジ備品ノ定數ヲ增加ス  
ルコトヲ得

各官署ノ長ハ前項ノ定數ヲ減シ又ハ之ヲ設備セサルコトヲ得

第十四條 官舎ノ修繕ハ別段ノ規定アルモノヲ除ク外官費支辨トス但シ  
畳表ノ裏返シハ新調後一年以上、同表替ハ裏返シ後六箇月以上、襖張替  
ハ新調又ハ張替後一年以上ヲ經タルモノニ限ル

新ニ入合スル場合又ハ傳染病患者アリタル場合ニハ前項但書ノ規定ニ拘  
ラス臨時施工スルコトアルヘシ

第十五條 左ニ掲グルモノハ官舎居住者ノ自辨トス但シ新ニ入合スル場合  
ハ此ノ限ニ在ラス  
一 椅子覆及窓用「レース」洗濯  
一 障子張替

別表ノ一

電燈、水道定數表

| 名稱    | 初年度設備限度 |      | 初年度設備限度 |      | 初年度設備限度 |      |
|-------|---------|------|---------|------|---------|------|
|       | 勅任官舎    | 奏任官舎 | 判任官舎    | 勅任官舎 | 奏任官舎    | 判任官舎 |
| 電燈    | 二〇箇     | 一〇箇  | 一〇箇     | 一五箇  | 三箇      | 五箇   |
| 水道給水柱 | 一       | 二    | 一       | 一    | 一       | 一    |

備考

- 一 電燈「コード」ハ長サ十尺以内トス
- 二 洋室ニハ必要ニ依リ「サンテアリア」ヲ附スルコトヲ得
- 三 勅任官舎ニ在リテハ家屋ノ構造ニ從ヒ電燈ノ定數ヲ増加スルコト  
ヲ得

別表ノ二

備品定數表

| 名稱   | 單位數  |      | 量    |      | 摘 要   |
|------|------|------|------|------|---|
|      | 勅任官舎 | 奏任官舎 | 勅任官舎 | 奏任官舎 |   |
| 洋 襪  | 同    | 同    | 同    | 同    | 奏任官舎ニハ建物ニ造附<br>ノ設備ヲ爲ス<br>洋式應接室ヲ有スル官舎<br>ニ限ル |
| 玄 靴  | 同    | 同    | 同    | 同    |   |
| 關 泥  | 同    | 同    | 同    | 同    |   |
| 長椅子  | 同    | 同    | 同    | 同    |   |
| 監掛椅子 | 同    | 同    | 同    | 同    |   |
| 女椅子  | 同    | 同    | 同    | 同    |   |
| 小椅子  | 同    | 同    | 同    | 同    |   |

〔台本〕

〔輯七三〕

●昭和十二年勅令第三十六號（國  
有財産法ヲ臺灣ニ施行スルノ  
件）

昭和十二年三月二十七日  
勅令第三十六號

（總理、大藏、拓  
務大臣副署）

朕國有財産法ヲ臺灣ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 國有財産法ハ第二十四條及行政訴訟ニ關スル規定ヲ除クノ外之ヲ  
臺灣ニ施行ス

第二條 臺灣總督府ニ屬スル國有財産ニ關スル事務ハ臺灣總督之ヲ管理ス  
ベシ

第三條 各省大臣公用財産ノ用途ヲ廢止セントスルトキハ豫メ之ヲ臺灣總  
督及大藏大臣ニ通知シテ臺灣總督ト協定シタルモノヲ除クノ外用途廢  
止後遲滞ナク之ヲ臺灣總督ニ引繼グベシ但シ其ノ用途廢止ト同時ニ國有  
財産タルノ性質ヲ失フモノ及大學資金ニ屬スルモノニ付テハ此ノ限ニ在  
ラズ

臺灣總督前項ノ規定ニ依リ引繼ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ大藏大臣  
ニ通知スベシ

第四條 前條ノ規定ニ依リ引繼ヲ受ケタル財産又ハ之ト交換シタル財産ハ

| 式            | 應            | 接            | 室            | 洋式           | 其            | 他            |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 丸卓           | 丸卓           | 丸卓           | 丸卓           | 丸卓           | 丸卓           | 丸卓           |
| 子掛           | 子掛           | 子掛           | 子掛           | 子掛           | 子掛           | 子掛           |
| 同            | 同            | 同            | 同            | 同            | 同            | 同            |
| 暖爐           | 暖爐           | 暖爐           | 暖爐           | 暖爐           | 暖爐           | 暖爐           |
| 附屬器具         | 附屬器具         | 附屬器具         | 附屬器具         | 附屬器具         | 附屬器具         | 附屬器具         |
| 石炭           | 石炭           | 石炭           | 石炭           | 石炭           | 石炭           | 石炭           |
| 兩袖           | 兩袖           | 兩袖           | 兩袖           | 兩袖           | 兩袖           | 兩袖           |
| 迴轉椅子         | 迴轉椅子         | 迴轉椅子         | 迴轉椅子         | 迴轉椅子         | 迴轉椅子         | 迴轉椅子         |
| 茶卓           | 茶卓           | 茶卓           | 茶卓           | 茶卓           | 茶卓           | 茶卓           |
| 書棚           | 書棚           | 書棚           | 書棚           | 書棚           | 書棚           | 書棚           |
| 陽棚           | 陽棚           | 陽棚           | 陽棚           | 陽棚           | 陽棚           | 陽棚           |
| 燈            | 燈            | 燈            | 燈            | 燈            | 燈            | 燈            |
| 同            | 同            | 同            | 同            | 同            | 同            | 同            |
| 電燈ノ設備        | 電燈ノ設備        | 電燈ノ設備        | 電燈ノ設備        | 電燈ノ設備        | 電燈ノ設備        | 電燈ノ設備        |
| ナキモノニ限ル      | ナキモノニ限ル      | ナキモノニ限ル      | ナキモノニ限ル      | ナキモノニ限ル      | ナキモノニ限ル      | ナキモノニ限ル      |
| 暖房ノ裝置        | 暖房ノ裝置        | 暖房ノ裝置        | 暖房ノ裝置        | 暖房ノ裝置        | 暖房ノ裝置        | 暖房ノ裝置        |
| ナキモノニ限ル      | ナキモノニ限ル      | ナキモノニ限ル      | ナキモノニ限ル      | ナキモノニ限ル      | ナキモノニ限ル      | ナキモノニ限ル      |
| 洋室ニ限ル        | 洋室ニ限ル        | 洋室ニ限ル        | 洋室ニ限ル        | 洋室ニ限ル        | 洋室ニ限ル        | 洋室ニ限ル        |
| 表門、玄關及應接室ニ取附 | 表門、玄關及應接室ニ取附 | 表門、玄關及應接室ニ取附 | 表門、玄關及應接室ニ取附 | 表門、玄關及應接室ニ取附 | 表門、玄關及應接室ニ取附 | 表門、玄關及應接室ニ取附 |
| 勅任官舎ハ十箇以内ノ標示 | 勅任官舎ハ十箇以内ノ標示 | 勅任官舎ハ十箇以内ノ標示 | 勅任官舎ハ十箇以内ノ標示 | 勅任官舎ハ十箇以内ノ標示 | 勅任官舎ハ十箇以内ノ標示 | 勅任官舎ハ十箇以内ノ標示 |
| 器ヲ附ス         | 器ヲ附ス         | 器ヲ附ス         | 器ヲ附ス         | 器ヲ附ス         | 器ヲ附ス         | 器ヲ附ス         |

備考

- 一 電燈、瓦斯、瓦斯七輪、消火器、水流シ、塵溜箱ハ官舎ノ現狀ニ應ジ  
適當ノ數ヲ備附クヘシ
- 二 建物ニ風呂水槽取附ナキトキハ風呂桶ヲ備附クルコトヲ得又井  
戸車、釣瓶、釣瓶繩又ハ井戸ニ取附ナキトキニ限り之ヲ備附クルコ  
トヲ得
- 三 判任官舎ニハ前二項ノ物品ニ限り備附クヘシ



國有財產整理資金ノ爲臺灣總督之ヲ管理スベシ但シ臺灣總督大藏大臣ト協定シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 臺灣總督各省大臣ノ管理ニ屬スル國有財產ノ管理換ヲ受ケントスルトキハ所管大臣及大藏大臣ニ協議スベシ

各省大臣臺灣總督ノ管理ニ屬スル國有財產ノ管理換ヲ受ケントスルトキハ臺灣總督及大藏大臣ニ協議スベシ

第六條 臺灣總督國有財產整理資金ノ爲管理スル雜種財產ヲ公用財產若ハ管林財產ト爲サントスルトキ又ハ公用財產ト爲スノ目的ヲ以テ交換セシトスルトキハ大藏大臣ニ協議スベシ

第七條 雜種財產ハ管利ヲ目的トセザル公共ノ利益ト爲ルベキ事業ニ供スル爲必要アルトキハ國有財產法第五條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ當該事業者ニ讓與スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ財產カ國有財產整理資金ノ爲管理セラレルモノナルトキハ臺灣總督ハ大藏大臣ニ協議スベシ

第八條 國有財產ニ付境界ノ分明ナラザルモノアル場合ニ於テ當該官廳必要ト認メタルトキ又ハ隣接地所有者ノ申請アリタルトキハ當該官廳ハ其ノ境界査定ヲ知事又ハ廳長ニ委囑スベシ

前項ニ規定スル委囑アリタルトキハ知事又ハ廳長ハ其ノ境界査定ヲ施行スベシ

第九條 國有財產法第十二條ノ公告ハ臺灣總督府報ヲ以テ之ヲ爲シ且關係アル市尹、街庄長又ハ大正九年勅令第三百六十一號第二條ノ區長ヲシテ

國有財產法施行令第十五條乃至第十八條中當該官廳トアルハ前項ノ規定ニ依リ境界査定ヲ施行スベキ知事又ハ廳長トス

揭示其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ爲サシムベシ

第十條 臺灣總督ハ其ノ管理ニ屬スル國有財產ニ付每會計年度間ニ於ケル國有財產増減報告書ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ拓務大臣ニ送付スベシ

臺灣總督ハ其ノ管理ニ屬スル國有財產ニ付每五年三月三十一日現在ニ於ケル國有財產現在額報告書ヲ調製シ其ノ年八月三十一日迄ニ之ヲ拓務大臣ニ送付スベシ

第十一條 國有財產法施行令第三十八條ニ規定スル事項ハ臺灣總督ノ管理ニ屬スル國有財產ニ付テハ臺灣總督大藏大臣ニ協議シテ之ヲ定ム

第十二條 國有財產法第三條ノ規定ハ臺灣總督府ニ屬スル國有財產ニ付之ヲ適用セズ

國有財產法施行令第二條、第四條、第五條、第十四條及第十九條ノ規定ハ臺灣ニ於ケル國有財產ニ付之ヲ適用セズ

國有財產法施行令第三條、第八條但書及第三十六條乃至第三十八條ノ規定ハ臺灣總督ノ管理ニ屬スル國有財產ニ付之ヲ適用セズ

第十三條 臺灣總督ノ管理ニ屬スル國有財產ニ付テハ國有財產法施行令第一條中所管大臣又ハ第三十五條中各省大臣トアルハ臺灣總督、同令第三十條中所管ノ各省又ハ各省トアルハ臺灣總督府トス

附則

第十四條 本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十五條 明治三十年勅令第七十四號、明治三十年勅令第三百八十九號及臺灣官有財產管理規則ハ之ヲ廢止ス但シ臺灣官有財產管理規則第六條第三號及第五號ノ規定ハ當分ノ内仍其ノ效力ヲ有ス

●國有財產法施行規則

昭和十二年四月一日 臺灣總督府令第二十五號

改正 昭和十三年第一〇八號、一六年第二二號

國有財產法施行規則左ノ通定ム

國有財產法施行規則

第一條 臺灣總督ノ管理ニ屬スル國有財產ハ特別ノ定アル場合又ハ特ニ之ガ保管ヲ指定シタル場合ヲ除クノ外左ノ區分ニ依リ當該官廳之ヲ保管スベシ

一 公共用財產及雜種財產ハ其ノ財產所在地所轄ノ知事又ハ廳長

二 公用財產ハ之ヲ其ノ用ニ供シ又ハ供スベキ官廳

三 管林財產ハ管林事業ヲ管掌スル官廳

第二條 前條ニ規定スル官廳トハ臺灣總督府總督官房會計課長、臺灣總督府米穀局長、臺灣總督府殖產局管林所長、臺灣總督府高等法院長、臺灣總督府地方法院長(臺北地方法院長ヲ除ク)、臺灣總督府交通局總長、臺灣總督府專賣局長、臺灣總督府稅關長、臺灣總督府氣象臺長、臺北帝國大學總長、臺灣總督府諸學校長、臺灣總督府警察官及司獄官練習所長、臺灣總督府圖書館長、臺灣總督府少年救護院長、臺灣總督府府醫院長、臺灣總督府結核療養所長、臺灣總督府癩療養所長、臺灣總督府精神病院長、臺灣總督府監獄長、臺灣總督府農業試驗所長、臺灣總督府林業試驗所長、臺灣總督府工業試驗所長、臺灣總督府熱帶醫學研究所長、臺灣總督府糖業試驗所長、臺灣總督府天然瓦斯研究所長、知事及廳長トス

第三條 臺灣總督府殖產局管林所、臺灣總督府專賣局及臺灣總督府交通局

鐵道部ハ國有財產法施行令第一條第一項第三號ノ事業所トス

第四條 土地ノ面積ハ臺灣地租規則第三條ニ規定スル名稱命位ニ依ル

(參考) ○臺灣官有財產管理規則

第六條 官有財產ノ賣拂又ハ貸付ハ左ニ掲グル場合ニ限り隨意契約ニ依ルコトヲ得

三 官設事業ニ直接附隨スル事業ノ爲必要缺クヘカラスト認ムル土地、建物ヲ其ノ起業者ニ貸付スルトキ

五 市區計畫ノ確定シタル市街指定地ヲ賣拂又ハ貸付スルトキ



第五條 臺灣總督ノ管理ニ屬スル國有財產ノ隣接地所有者ニシテ境界査定ノ申請ヲ爲サントスル者ハ別記第一號様式ノ願書ヲ其ノ國有財產ノ保管官廳ニ提出スベシ

第六條 明治三十二年律令第二十五號ニ依リ海面、河川其ノ他公用ニ供スル水面ノ埋立及海埔浮洲又ハ河川其ノ他公用ニ供スル水面ノ敷地ノ埋立開墾ヲ出願セントスル者ハ別記第二號様式ノ願書ニ圖面ヲ添附シ其ノ海面、海埔浮洲又ハ河川其ノ他公用ニ供スル水面及其ノ敷地所轄ノ知事又ハ廳長ニ之ヲ提出スベシ

第七條 雜種財產ニ付其ノ賣拂、讓與又ハ交換ヲ受ケントスル者ハ別記第三號様式ノ願書ニ圖面ヲ添附シ當該財產ノ保管官廳ニ之ヲ提出スベシ

第八條 雜種財產ノ貸付ヲ受ケントスル者ハ別記第四號様式ノ願書ニ圖面ヲ添附シ當該財產ノ保管官廳ニ之ヲ提出スベシ

第九條 前二條ノ願書ニハ出願人ノ戶籍抄本(外國人ニ在リテハ其ノ國籍ヲ證スル書面)ヲ添附スベシ出願人法人又ハ組合其ノ他共同シテ事業ヲ經營セントスル者ナル場合ニ在リテハ定款若ハ寄附行爲ノ謄本及登記簿

第十條 前二條ノ規定ハ貸付期間ノ更新及準貸付ニ付之ヲ準用ス

第十一條 雜種財產ニ付土地ノ開拓又ハ水面ノ埋立若ハ干拓ヲ爲サントスル者國有財產法第二十一條ノ規定ニ依リ其ノ財產ノ賣拂、讓與又ハ貸付ノ豫約ヲ受ケントスル場合ニ於テハ別記第五號様式ノ願書及第六號様式ノ事業計畫書ニ圖面ヲ添附シ其ノ財產所在地所轄ノ知事又ハ廳長ニ之ヲ提出スベシ土地臺帳登錄地ニ在リテハ別ニ地圖謄本ヲ添附スベシ

第十二條 國有財產法第二十一條ノ規定ニ依リ賣拂、讓與又ハ貸付ノ豫約ヲ爲ス場合ハ成功豫定期間中豫約使用料ヲ徵收ス但シ土地又ハ水面ノ狀況其ノ他ノ事由ニ因リ之ヲ減免スルコトヲ得

第十三條 國有財產法第二十一條ノ規定ニ依リ賣拂、讓與又ハ貸付ノ豫約ヲ受ケタル者ハ別記第七號様式ニ依リ前年ニ於ケル事業ノ功程ヲ翌年一月三十一日迄ニ臺灣總督ニ届出ヅベシ

第十四條 公共團體ノ提出スル願書ニハ其ノ議決機關ノ議決又ハ諮問機關ノ答申ヲ要スル事項ニ付テハ其ノ決議書又ハ答申書ノ謄本及監督官廳ノ許可ヲ要スル事項ニ付テハ許可書ノ謄本ヲ添附スベシ

第十五條 縣社以下ノ神社ノ提出スル願書ニハ神職及氏子總代又ハ崇敬者總代三名以上連署ヲ、寺院又ハ佛堂ノ住職又ハ管理人ヨリ提出スル願書ニハ檀家又ハ信徒總代三名以上連署ヲ爲スベシ

第十六條 國有財產ノ賣拂、讓與、交換、貸付又ハ賣拂、讓與若ハ貸付ノ豫約ヲ出願セル者其ノ許可ヲ受ケタルトキハ許可書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ許可指令書ノ全文ヲ寫シタル請書ヲ臺灣總督ニ提出シ當該保管官廳ヨリ其ノ財產ノ引渡ヲ受ケベシ

第十七條 國有財產法第二十一條ノ規定ニ依リ豫約ヲ受ケタル者土地ノ引渡ヲ受ケタルトキハ直ニ境界ノ要所ニ別記様式ノ標杭ヲ建設シ其ノ中間ニ間標ヲ置キ境界ヲ明瞭ナラシムベシ但シ水面ニシテ境界ニ標杭又ハ間標ヲ建設シ難キ場合ハ其ノ境界ノ方法、距離等ヲ記載シタル標杭ヲ適宜ノ箇所ニ建設スベシ

第十八條 國有財產ノ讓與、貸付又ハ賣拂、讓與若ハ貸付ノ豫約ヲ受ケタル者ハ當該官吏ガ事業地ノ狀況ヲ検査セントスルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十九條 國有財產法第二十一條ノ規定ニ依リ賣拂、讓與又ハ貸付ノ豫約ヲ受ケタル者事業著手指定期間若ハ成功豫定期間ノ延長又ハ事業計畫ノ變更ヲ出願セントスルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ臺灣總督ニ願書ヲ提出スベシ

第二十條 出願人、貸付若ハ準貸付ヲ受ケタル者又ハ賣拂、讓與若ハ貸付ノ豫約ヲ受ケタル者臺灣ニ住所ヲ有セザルトキ又ハ有セザルニ至リタルトキハ臺灣ニ住所ヲ有スル代理人ヲ定メ當該官廳ニ届出ヅベシ代理人ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二十一條 國有財產ノ貸付若ハ準貸付ヲ受ケタル者又ハ賣拂、讓與若ハ貸付ノ豫約ヲ受ケタル者ニ付左ノ各號ノ一ニ該當スル事實發生シタルトキハ本人、相續人、代理人又ハ管理人ハ十四日以内ニ當該官廳ニ其ノ旨

第十二輯 財務 第一章 會計 第十款 國有財產

第二十二條 出願人左ニ掲グル事由ノ一ニ該當スルトキハ其ノ出願ヲ無効トス

一 實地ニ立會ヲ命セラレ正當ノ事由ナクシテ立會ヲ爲サザルトキ

二 願書ノ訂正ヲ命セラレ指定ノ期間内ニ之ガ訂正ヲ爲サザルトキ

三 許可書ヲ交付スルニ際シ本人又ハ代理人ノ所在不明ナルトキ

第二十三條 本令ノ出願ニ因リ許可ヲ取消若ハ契約ノ解除ヲ受ケタル者又ハ其ノ代理人住所不明ニシテ指令書ヲ交付スル能ハザルトキハ當該官廳ハ其ノ要領ヲ府報ヲ以テ公告シ又ハ其ノ財產所在地所轄ノ市尹、街庄長若ハ大正九年勅令第三百六十一號第二條ノ區長(財產所在地が番地ナルトキハ所轄郡守又ハ支廳長)ヲシテ揭示其ノ他ノ方法ニ依リ六日間之ヲ公示セシム

第二十四條 出願人又ハ其ノ代理人出願後ニ於テ住所ヲ變更シタル場合ハ直ニ其ノ旨當該官廳ニ届出ヅベシ

第二十五條 土地臺帳未登錄ノ國有地ニシテ國有財產ノ臺帳ニ登錄セント



(別記様式省略)

スルトキハ臺灣地租規則施行規則第八條及第九條ノ規定ニ準ジ一區域毎ニ假地書ヲ附スベシ

第二十六條 國有財產ノ臺帳ハ別記第九號様式ニ依ル但シ事業所ニ屬スル財產ニ付テハ臺灣總督ノ認可ヲ得テ別ニ其ノ様式ヲ定ムルコトヲ得  
營林財產ノ臺帳ニシテ國有財產ノ臺帳記載事項ノ記載アルモノハ之ニ總括ヲ附シテ國有財產ノ臺帳ニ代用スルコトヲ得  
前項ノ總括ハ別記第九號様式中總括ニ準ジテ之ヲ調製スベシ

第二十七條 國有財產ノ臺帳ニハ土地、建物及國有財產法施行令第一條第四號ニ掲グル權利ニ關スル圖面ヲ附屬セシムベシ但シ本令施行ノ際ニ於ケル雜種財產ニ付テハ其ノ重要ナルモノヲ除クノ外當分ノ内之ヲ省略スルコトヲ得

第二十八條 國有財產増減報告書及國有財產現在額報告書ハ別記第十號及第十一號様式ニ依ル

附則

第二十九條 本令ハ國有財產法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十條 本令施行前官有財產ニ關シ提出セル願書ニ付テハ本令ニ依リ提出シタルモノト看做ス但シ昭和十二年勅令第三十六號第十六條ニ掲グル勅令又ハ律令ニ依ル願書ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十一條 明治三十六年十二月府令第八十二號ハ之ヲ廢止ス

第三十二條 本令施行ノ際國有財產ノ臺帳ニ登錄スベキ土地及立木竹ノ價格ハ現ニ官有財產臺帳ニ登錄セラレタル土地及立木竹ニ付テハ其ノ記載價格、新ニ登錄スベキ土地及立木竹ニ付テハ國有財產法施行令第三十二條ノ規定ニ依リ算定シタル金額ニ依ル

●昭和十二年勅令第百號(國有財產法ヲ樺太ニ施行スルノ件)

〔輯七六〕

昭和十二年四月一日  
勅令第百號

朕國有財產法ヲ樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(總理、大藏、拓務大臣副署)

第一條 國有財產法ハ第十三條及第二十四條ノ規定ヲ除クノ外之ヲ樺太ニ施行ス

第二條 樺太廳ニ屬スル國有財產ニ關スル事務ハ樺太廳長官ヲシテ之ヲ管理セシム

第三條 各省大臣公用財產ノ用途ヲ廢止セントスルトキハ豫メ之ヲ樺太廳長官及大藏大臣ニ通知シ特ニ樺太廳長官ト協定シタルモノヲ除クノ外用途廢止後遲滞ナク之ヲ樺太廳長官ニ引繼グベシ但シ其ノ用途廢止ト同時ニ國有財產タルノ性質ヲ失フモノ及大學資金ニ屬スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

樺太廳長官前項ノ規定ニ依リ引繼ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ大藏大臣ニ通知スベシ

第四條 前條ノ規定ニ依リ引繼ヲ受ケタル財產又ハ之ト交換シタル財產ハ國有財產整理資金ノ爲樺太廳長官ヲシテ之ヲ管理セシム但シ樺太廳長官大藏大臣ト協定シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 樺太廳長官各省大臣ノ管理ニ屬スル國有財產ノ管理換ヲ受ケントスルトキハ所管大臣及大藏大臣ニ協議スベシ



各省大臣樺太廳長官ノ管理スル國有財產ノ管理換テ受ケントスルトキハ樺太廳長官及大藏大臣ニ協議スベシ

第六條 樺太廳長官國有財產整理資金ノ爲管理スル雜種財產ヲ公用財產若ハ營林財產ト爲サントスルトキ又ハ讓與、交換若ハ無償ニテ貸付セントスルトキハ大藏大臣ニ協議スベシ

第七條 雜種財產ハ營利ヲ目的トセザル公共ノ利益ト爲ルベキ事業ニ供スル爲必要アルトキハ國有財產法第五條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ當該事業者ニ讓與スルコトヲ得

第八條 國有財產法第二十一條乃至第二十三條及國有財產法施行令第二十三條乃至第二十七條ノ規定ハ公共用財產タル國有水面ノ埋立又ハ干拓ヲ爲サントスル者アル場合ニ付之ヲ準用ス

第九條 國有財產ニ付境界ノ分明ナラザルモアル場合ニ於テ當該官廳必要ト認メタルトキ又ハ隣接地所有者ノ申請アリタルトキハ當該官廳ハ其ノ境界査定ヲ樺太廳支廳長ニ委囑スルコトヲ得

第十條 樺太廳長官ハ其ノ管理スル國有財產ニ付毎會計年度間ニ於ケル國有財產増減報告書ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ拓務大臣ニ送付スベシ

樺太廳長官ハ其ノ管理スル國有財產ニ付每五年三月三十一日現在ニ於ケル國有財產現在額報告書ヲ調製シ其ノ年八月三十一日迄ニ之ヲ拓務大臣ニ送付スベシ

第十一條 國有財產法施行令第三十八條ニ規定スル事項ハ樺太廳長官ノ管理スル國有財產ニ付テハ樺太廳長官大藏大臣ニ協議シテ之ヲ定ム

第十二條 國有財產法施行令第二條、第四條及第五條ノ規定ハ樺太ニ於ケル國有財產ニ付之ヲ適用セズ

第十三條 樺太廳長官ノ管理スル國有財產ニ付テハ國有財產法施行令第一條中所管大臣又ハ第三十五條中各省大臣トアルハ樺太廳長官、同令第十九條中官報トアルハ樺太廳公報、同令第三十條中所管ノ各省又ハ各省トアルハ樺太廳トス

附則

第十四條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十五條 樺太官有財產管理規則ハ之ヲ廢止ス

第十六條 樺太官有財產管理規則ニ依リテ爲シタル處分又ハ契約ニシテ本令施行ノ際ニ其ノ效力ヲ有スルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第十七條 樺太國有未開地特別處分令、樺太國有森林原野產物特別處分令及大正四年勅令第八十六號ハ國有財產法、國有財產法施行令又ハ本令ニ拘ラズ當分ノ内仍其ノ效力ヲ有ス

第十八條 官有財產ノ増減異動ニシテ本令施行前ニ保ルモノノ報告ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第十九條 國有財產現在額報告書ノ第一回分ハ昭和十二年三月三十一日ノ現在ニ依リ之ヲ調製スベシ

第二十條 國有財產法、國有財產法施行令及本令中國有財產ノ臺帳、計算書

及報告書ニ關スル規定ハ當分ノ内國有ノ未開地及林野ニ付之ヲ適用セズ但シ國有財產ノ臺帳記載事項ニ付調査ヲ爲シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十一條 本令施行ノ際國有財產ノ臺帳ニ登錄スベキ土地及立木ノ價格ハ樺太廳長官ノ定ムル所ニ依リ算定シタル金額ニ依ル

●明治四十年樺太廳令第三十四號 (官有建物貸付規則)

明治四十年四月一日 樺太廳令第三十四號

第一條 本島ニ移住シ農業又ハ牧畜ヲ營ム者ハ本則ニ依リ官有建物ノ貸付ヲ出願スルコトヲ得

第二條 官有建物ノ貸付ハ有償トス其ノ料金ハ別ニ之ヲ定ム 貸付料ハ毎年四月其ノ年度分ヲ前納スヘシ新ニ貸付ヲ許可シタルモノハ其ノ都度徴收ス

第三條 官有建物ノ貸付ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ戶籍謄本ヲ添ヘ別記書式ニ依リ所轄支廳長ヲ經由シ樺太廳長官ニ願出ヘシ

- 一 前住所、職業及氏名
二 建物ノ表示
三 使用ノ目的

第四條 貸付ノ期間ハ〔十箇年〕以内トス

第五條 前條ノ貸付期間ハ許可ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第六條 貸付許可ノ指令ヲ受ケタルトキハ別記書式ノ請書ヲ差出ヘシ

第七條 貸付シタル官有建物ノ修理保存其ノ他ノ費用ハ借受人ノ負擔トス

第八條 建物貸付期間中官ニ於テ公用又ハ公益ノ事業ニ供スル必要アルトキハ貸付ノ許可ヲ取消シ期日ヲ指定シテ之ヲ返還セシムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ借受人ハ其ノ直接ニ受ケタル損害ニ付キ補償ヲ求ムルコトヲ得

第九條 官有建物ノ貸付ヲ受ケタル者ニシテ指令書受領ノ日ヨリ三十日以内ニ其ノ建物ニ在住セサルトキハ貸付許可ノ效力ヲ失フ但シ所轄支廳長ノ認可ヲ受ケテ在住セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十條 官有建物ノ借受人ハ所轄支廳長ノ許可ヲ受ケスシテ其ノ建物ノ形狀ヲ著シク變更シ又ハ故意怠慢ニ因リ亡失、毀損シタルトキハ樺太廳長官ノ定ムル所ニ依リ其ノ損害ヲ賠償スヘシ

第十一條 貸付シタル官有建物ハ隨時其ノ使用及保存ノ實況ヲ検査シ必要ト認ムルトキハ其ノ修理ヲ命スルコトアルヘシ

第十二條 官有建物ノ貸付料金ヲ指定ノ期限内ニ納付セサルトキハ貸付ノ許可ヲ取消シ期日ヲ指定シテ建物ヲ返還セシムルコトアルヘシ

第十三條 官有建物ノ貸付期間中借受人ノ都合ニ依リ之ヲ返還スルトキハ其ノ建物内ニ存在スル借受人ノ物件ハ官ニ於テ指定シタル期限内ニ之ヲ除去スヘシ期限滿了ニ因リ返還スルトキ及貸付ノ許可ヲ取消シタルトキ亦同シ

第十四條 土地整理ノ爲必要ナルトキハ無償ニテ貸付建物ノ移轉ヲ命スルコトアルヘシ



第十五條 前各條ノ外貸付ノ際定メタル命令條項ハ之ヲ遵守スヘシ

附則

第十六條 本則ハ明治四十年四月一日ヨリ施行ス

第十七條 明治三十九年四月軍令第四十四號ニ依リ官有建物ノ貸付ヲ受ケタル者ニハ本則ノ規定ヲ適用ス

(書式略ス)

### 關東州國有財產令

昭和十二年三月三十一日  
勅令第四十八號

改正 昭和二年第六八五號

朕關東州國有財產令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理、大藏)

關東州國有財產令

第一條 關東州ニ於ケル國有財產ニ關シテハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外國有財產法、國有財產法施行令及昭和二年法律第一號ニ依ル但シ國有財產法第十三條及第二十四條並ニ國有財產法施行令第二條、第四條乃至第六條、第十四條、第十九條、第二十八條及第二十九條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 關東局ニ屬スル國有財產ニ關スル事務ハ滿洲國駐劄特命全權大使之ヲ管理スベシ

第三條 各省大臣公用財產ノ用途ヲ廢止セントスルトキハ豫メ之ヲ大使及大藏大臣ニ通知シ特ニ大使ト協定シタルモノヲ除クノ外用途廢止後還滯ナク之ヲ大使ニ引繼グベシ但シ其ノ用途廢止ト同時ニ國有財產タレノ性質ヲ失フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

大使前項ノ規定ニ依リ引繼ヲ受ケタルトキハ還滯ナク之ヲ大藏大臣ニ通知スベシ

第四條 前條ノ規定ニ依リ引繼ヲ受ケタル財產又ハ之ト交換シタル財產ハ國有財產整理資金ノ爲大使之ヲ管理スベシ但シ大使大藏大臣ト協定シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 大使各省大臣ノ管理ニ屬スル國有財產ノ管理換ヲ受ケントスルトキハ所管大臣及大藏大臣ニ協議スベシ

第六條 大使國有財產整理資金ノ爲管理スル雜種財產ヲ公用財產若ハ營林財產ト爲サントスルトキ又ハ讓與、交換若ハ無償ニテ貸付セントスルトキハ大藏大臣ニ協議スベシ

第七條 雜種財產ハ營利ヲ目的トセザル公共ノ利益ト爲ルベキ事業ニ供スル爲必要アルトキハ國有財產法第五條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ當該事業者ニ讓與スルコトヲ得

第八條 國有財產ニ付境界ノ分明ナラザルモノアル場合ニ於テ當該官廳必要ト認メタルトキ又ハ隣接地所有者ノ申請アリタルトキハ當該官廳ハ其ノ境界査定ヲ稅務署長又ハ民政署長ニ委嘱スベシ

第九條 國有財產法第十二條ノ公告ハ關東局局報ヲ以テ之ヲ爲シ且關係アリ

(輯八一)

(輯八四)

ル市長又ハ會長ヲシテ揭示其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ爲サシムベシ

第十條 隣接地所有者其ノ他境界査定ニ對シ不服アル者ハ大使ノ定ムル所ニ依リ其ノ裁定ヲ求ムルコトヲ得

第十一條 大使ハ其ノ管理ニ屬スル國有財產ニ付毎會計年度門ニ於ケル國有財產増減報告書ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ所管大臣ニ送付スベシ

第十二條 國有財產法施行令第三十八條ニ規定スル事項ハ大使ノ管理ニ屬スル國有財產ニ付テハ大使大藏大臣ニ協議シテ之ヲ定ム

第十三條 國有財產法第三條ノ規定ハ關東局ニ屬スル國有財產ニ付之ヲ適用セズ

第十四條 大使ノ管理ニ屬スル國有財產ニ付テハ國有財產法第六條中法律トアルハ勅令、國有財產法施行令第一條中所管大臣又ハ第三十五條中各省大臣トアルハ大使、同令第三十條中所管ノ各省又ハ各省トアルハ關東局トス

附則

第十五條 本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十六條 本令施行ノ際ニ於ケル各省所管ノ雜種財產ハ第三條ノ規定ニ準ジ本令施行ノ日ノ現在ニ依リ之ヲ大使ニ引繼グベシ

第十二輯 財務 第一章 會計 第十款 國有財產

第十七條 鹽田、造林又ハ牧野經營ニ關シ大使ノ定メタル命令中國有財產ノ無償貸付又ハ無償使用ニ關スル規定ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ本令ニ拘ラズ當分ノ内仍其ノ效力ヲ有ス

第十八條 雜種財產ハ國有財產法第七條第一項ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外當分ノ内土地及土地ノ定著物ニ限リ帝室用又ハ國、公共團體若ハ私人ニ於テ公用、公用若ハ公益事業ニ供スル爲必要アルトキハ之ヲ他ノ土地及土地ノ定著物ト交換ヲ爲スコトヲ得

第十九條 本令施行前國有財產ノ使用又ハ貸付ニ關シタル處分又ハ契約ニシテ本令施行ノ際現ニ其ノ效力ヲ有スルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第二十條 國有財產ノ増減異動ニシテ本令施行前ニ係ルモノノ報告ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第二十一條 本令施行ノ際國有財產ノ臺帳ニ登錄スベキ土地及立木ノ價格ハ其ノ購入、交換又ハ收用ニ係ルモノト雖モ爾後二年ヲ經過シタルモノニ付テハ國有財產法施行令第三十二條第一號又ハ第二號ノ規定ニ依リ算定シタル金額ニ依ル

第二十二條 國有財產現在額報告書ノ第一回分ハ昭和十二年三月三十一日ノ現在ニ依リ之ヲ調製スベシ

### 關東州國有財產令施行規則

昭和十二年三月三十一日  
關東局令第二十八號

改正 昭和二年第一一號  
關東州國有財產令施行規則左ノ通定ム

四四六ノ三



關東州國有財產令施行規則

- 第一條 關東州國有財產令第十條ノ規定ニ依リ境界査定ニ對シ裁定ヲ求メシトスル者ハ其ノ境界査定ヲ爲シタル稅務署長又ハ民政署長ヲ經由シ滿洲國駐劄特命全權大使ニ之ヲ申請スベシ
- 第二條 裁定ノ申請ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スベシ
- 第三條 裁定ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請者ハ其ノ代表者之ニ署名捺印スベシ
  - 一 不服ノ要點及理由並ニ要求事項
  - 二 裁定ヲ求メントスル土地ノ所在地番及地目
  - 三 境界査定通知書受領ノ年月日
  - 四 申請者ノ住所、職業、年齢及氏名 法人ニ在リテハ其ノ名稱、主たる前項ノ申請書ニハ境界査定ノ通知書及査定圖ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第四條 境界査定ノ通知ヲ受ケタル後六十日ヲ經過シタルトキハ裁定ノ申請ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第五條 裁定ノ申請書ハ郵便ヲ以テ之ヲ差出スコトヲ得郵便送送ノ日數ハ前條ノ申請期限内ニ之ヲ算入セズ
- 第六條 裁定ハ理由ヲ附シ文書ヲ以テ之ヲ爲ス  
裁定書ハ境界査定ヲ爲シタル稅務署長又ハ民政署長ヲ經由シ裁定ノ申請ヲ爲シタル者ニ之ヲ交付ス
- 第七條 國有財產ノ臺帳ハ別記第一號樣式ニ依ル
- 第八條 臺帳ニハ土地、建物、船舶及國有財產法施行令第一條第四號ニ掲グル權利ニ關スル圖面ヲ附屬セシムベシ但シ本令施行ノ際ニ於ケル雜種財產ニ付テハ其ノ重要ナルモノヲ除クノ外當分ノ内之ヲ省略スルコトヲ得

南洋群島國有財產令

昭和十二年四月一日 勅令第百一號

(總理、大藏、拓務大臣副署)

- 南洋群島國有財產令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
- 第一條 南洋群島ニ於ケル國有財產ニ關シテハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外國有財產法及國有財產法施行令ニ依ル但シ國有財產法第十三條及第二十四條並ニ國有財產法施行令第二條、第四條乃至第六條、第十四條、第十九條、第二十八條及第二十九條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第二條 南洋群島ニ屬スル國有財產ニ關スル事務ハ南洋群島長官ヲシテ之ヲ管理セシム
- 第三條 各省大臣公用財產ノ用途ヲ廢止セントスルトキハ豫メ之ヲ南洋群島長官及大藏大臣ニ通知シ特ニ南洋群島長官ト協定シタルモノヲ除クノ外用

[輯八四]

[輯八二]

- 途廢止後遲滞ナク之ヲ南洋群島長官ニ引繼グベシ但シ其ノ用途廢止ト同時ニ國有財產タルノ性質ヲ失フモノハ此ノ限ニ在ラズ
- 南洋群島長官前項ノ規定ニ依リ引繼ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ大藏大臣ニ通知スベシ
- 第四條 前條ノ規定ニ依リ引繼ヲ受ケタル財產又ハ之ト交換シタル財產ハ國有財產整理資金ノ爲南洋群島長官ヲシテ之ヲ管理セシム但シ南洋群島長官大藏大臣ト協定シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第五條 南洋群島長官各省大臣ノ管理ニ屬スル國有財產ノ管理換ヲ受ケントスルトキハ所管大臣及大藏大臣ニ協議スベシ
- 各省大臣南洋群島長官ノ管理スル國有財產ノ管理換ヲ受ケントスルトキハ南洋群島長官及大藏大臣ニ協議スベシ
- 第六條 南洋群島長官國有財產整理資金ノ爲管理スル雜種財產ヲ公用財產若ハ營林財產ト爲サントスルトキハ讓與、交換若ハ無償ニテ貸付セントスルトキハ大藏大臣ニ協議スベシ
- 第七條 雜種財產ハ營利ヲ目的トセザル公共ノ利益ト爲ルベキ事業ニ供スル爲必要アルトキハ國有財產法第五條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ當該事業者ニ讓與スルコトヲ得
- 第八條 國有財產法第二十一條乃至第二十三條及國有財產法施行令第二十三條乃至第二十七條ノ規定ハ公共用財產タル國有水面ノ埋立又ハ干拓ヲ爲サントスル者アル場合ニ付之ヲ準用ス
- 第九條 國有財產ニ付境界ノ分明ナラザルモノアル場合ニ於テ當該官廳必要ト認メタルトキハ隣接地所有者ノ申請アリタルトキハ當該官廳ハ其ノ境界査定ヲ南洋群島支廳長ニ委嘱スベシ
- 前項ニ規定スル委嘱アリタルトキハ南洋群島支廳長ハ其ノ境界査定ヲ施行スベシ

- 國有財產法施行令第十五條乃至第十八條中當該官廳トアルハ前項ノ規定ニ依リ境界査定ヲ施行スベキ南洋群島支廳長トス
- 第十條 國有財產法第十二條ノ公告ハ南洋群島公報ヲ以テ之ヲ爲シ且揭示其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ公示スベシ
- 第十一條 南洋群島長官ハ其ノ管理スル國有財產ニ付毎會計年度間ニ於ケル國有財產増減報告書ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ拓務大臣ニ送付スベシ
- 南洋群島長官ハ其ノ管理スル國有財產ニ付每五年三月三十一日現在ニ於ケル國有財產現在額報告書ヲ調製シ其ノ年八月三十一日迄ニ之ヲ拓務大臣ニ送付スベシ
- 第十二條 國有財產法施行令第三十八條ニ規定スル事項ハ南洋群島長官ノ管理スル國有財產ニ付テハ南洋群島長官大藏大臣ニ協議シテ之ヲ定ム
- 第十三條 國有財產法施行令第三條、第八條但書及第三十八條ノ規定ハ南洋群島長官ノ管理スル國有財產ニ付之ヲ適用セズ
- 第十四條 南洋群島長官ノ管理スル國有財產ニ付テハ國有財產法第六條中法律トアルハ勅令、國有財產法施行令第一條中所管大臣又ハ第三十五條中各省大臣トアルハ南洋群島長官、同令第三十條中所管ノ各省又ハ各省トアルハ南洋群島トス
- 附則
- 第十五條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 第十六條 國有財產ノ境界査定ニ關シテハ當分ノ内本令ニ拘ラズ南洋群島土地調査令ニ依ル
- 第十七條 本令施行前國有財產ニ關シタル處分又ハ契約ニシテ本令施行ノ際現ニ其ノ效力ヲ有スルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル
- 第十八條 南洋群島長官ノ指定スル區域ニ在ル雜種財產タル土地ハ拓殖上必要ト認メタルトキハ南洋群島支廳長ニ委嘱スベシ

四四六ノ五



要アル場合ニ限り當分ノ内本令ニ拘ラズ南洋廳長官ノ定ムル所ニ依リ之ヲ讓與シ又ハ無償ニテ貸付スルコトヲ得

第十九條 本令施行前南洋廳長官ノ許可ヲ受ケ水面ノ埋立又ハ干拓ヲ爲シタル者ニ對シテハ其ノ埋立又ハ干拓ヲ爲シタル國有財產タル土地ヲ讓與シ又ハ無償ニテ貸付スルコトヲ得

第二十條 國有財產ノ賣拂又ハ貸付ハ當分ノ内左ニ掲グル場合ニ限り隨意契約ニ依ルコトヲ得

一 農業、林業、畜産業、礦業又ハ漁業ヲ營ム者ニ對シ其ノ事業ノ爲必要ナル土地ヲ賣拂又ハ貸付スルトキ

二 南洋廳長官ノ定ムル重要産業ヲ營ム者ニ對シ其ノ事業ノ爲必要ナル土地ヲ賣拂又ハ貸付スルトキ

三 市街地計畫ノ確定シタル市街地定地ヲ特別ノ條件ヲ附シ賣拂又ハ貸付スルトキ

第二十一條 國有財產現在額報告書ノ第一回分ハ昭和十二年三月三十一日ノ現在ニ依リ之ヲ調整スベシ

第二十二條 本令中國有財產ノ臺帳、計算書及報告書ニ關スル規定ハ實地調査ヲ了ラザル財產ニ付之ヲ適用セズ

第二十三條 本令施行ノ際國有財產ノ臺帳ニ登錄スベキ土地及立木竹ノ價格ハ南洋廳長官ノ定ムル所ニ依リ算定シタル金額ニ依ル

南洋群島國有財產令施行規則

昭和十二年九月六日 南洋廳令第十六號 南洋群島國有財產令施行規則

第一條 南洋群島國有財產令第十八條ニ依リ指定セル區域ニ在ル雜種財產タル土地ハ耕作、牧畜、造林及之ニ直接附隨ノ用途ニ供スルモノニ限リ

第二條 前條ノ規定ニ依リ貸付スル土地ハ一人ニ付左ノ面積ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ既ニ其ノ事業成功シ又ハ成林ニ達シタル土地ノ面積ハ之ヲ通算セズ

一 耕作及之ニ直接附隨ノ用途ニ供スル土地 十町步

二 牧畜及之ニ直接附隨ノ用途ニ供スル土地 七十町步

三 造林及之ニ直接附隨ノ用途ニ供スル土地 百五十町步

第三條 第一條ノ規定ニ依リ貸付シタル土地ハ道路、溝渠等公共用ニ供スル部分ヲ除クノ外左ノ條件ニ從ヒ借受人又ハ相續人其ノ他ノ包括承繼者ノ請求ニ因リ之ヲ讓與ス但シ貸付期間滿了後一年ヲ經過シタルトキハ之ヲ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

一 耕作及之ニ直接附隨ノ用途ニ供スル貸付地ニ在リテハ貸付ヲ受ケタル者其ノ事業ヲ成功シ且借受人又ハ其ノ附近ニ住居ヲ構ヘタルコト

二 牧畜、造林及之ニ直接附隨ノ用途ニ供スル貸付地ニ在リテハ其ノ事業成功シ又ハ成林ニ達シタルコト

第四條 左ノ場合ニ於テハ前三條ノ規定ニ依リ貸付又ハ讓與ノ契約ヲ解除スルコトヲ得

一 土地ノ貸付ヲ受ケタル者一年以内ニ豫定ノ事業ニ著手セザルトキ

二 事業成功ノ見込ナシト認メタルトキ

三 讓與又ハ貸付ノ條件ニ違反シタルトキ

第五條 前條ノ規定ニ依リ契約ヲ解除シタル場合ニ於テ貸付又ハ讓與ヲ受ケタル者ハ之ガ爲生シタル損害ニ付賠償ヲ求ムルコトヲ得ズ

第六條 第一條ノ規定ニ依ル土地ノ貸付ハ左ノ期間ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 耕作、牧畜及之ニ直接附隨ノ用途ニ供スルトキ 十年

二 造林及之ニ直接附隨ノ用途ニ供スルトキ 三十年

第七條 第一條ノ規定ニ依リ貸付シタル土地ニ付貸付ノ契約ヲ解除シタル場合又ハ第三條但書ノ規定ニ依リ請求期間滿了シタル場合ニ於テ既ニ事業成功シ又ハ成林ニ達シタル部分アルトキハ干拓又ハ土地整理上支障ナシト認ムル場合ニ限り成功地又ハ成林地ノ一部又ハ全部ヲ其ノ借受人ニ賣拂又ハ讓與スルコトヲ得

第八條 土地借受人ハ南洋廳長官ノ認可ヲ受ケルニ非ザレバ其ノ權利ヲ讓渡スルコトヲ得ズ

第九條 第一條ノ規定ニ依リ貸付シタル土地ノ借地權ノ讓渡ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限り之ヲ認可ス

一 事業ヲ繼續シ難キモノト認メタルトキ

二 耕作及之ニ直接附隨ノ用途ニ供スル土地ニ在リテハ貸付地又ハ其ノ附近ニ一年以上居住シ且事業半以上成功シタルトキ

三 牧畜、造林及之ニ直接附隨ノ用途ニ供スル土地ニ在リテハ事業半以上成功シタルトキ

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

第十條 南洋群島國有財產令第二十條第二號ノ重要産業ハ製糖業、製粉業、酒精及酒精含有飲料製造業、セメント業、製鐵及鐵詰業、造船業、石油業及電氣事業トス

第十一條 雜種財產ニ付其ノ賣拂、讓與又ハ交換ヲ受ケントスル者ハ別記第一號様式ノ願書、貸付ヲ受ケントスル者ハ別記第二號様式ノ願書ニ各圖面ヲ添付シ所轄支廳長ニ之ヲ提出スベシ

南洋群島國有財產令第十八條ノ規定ニ依リ土地ノ讓與又ハ貸付ヲ受ケントスル者ハ前項ノ願書ニ別記第四號様式ノ事業計畫書ヲ添付スベシ

第十二輯 財務 第一章 會計 第十款 國有財產

第十四條 第八條ノ規定ニ依リ借地權讓渡ノ認可ヲ受ケントスル者ハ別記第五號様式ノ願書ニ圖面ヲ添付シ所轄支廳長ニ之ヲ提出スベシ

第十五條 國有財產法第二十一條並南洋群島國有財產令第八條ノ規定ニ依リ土地ノ開拓又ハ水面ノ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者及南洋群島國有財產令第十八條ノ規定ニ依リ土地ノ讓與又ハ貸付ヲ受ケタル者ハ事業ノ成功ニ要スル豫定期間別記第六號様式ニ依リ前年ニ於ケル事業功程届ヲ翌年一月三十一日迄ニ所轄支廳長ニ提出スベシ

第十六條 法人又ハ組合其ノ他共同シテ事業ヲ經營セントスル者ノ提出スル願書ニハ定款ノ謄本及登記簿謄本又ハ規約書寫ヲ添付スベシ

公共團體ノ提出スル願書ニハ其ノ議決機關ノ議決又ハ諮問機關ノ答申ヲ要スル事項ニ付テハ其ノ決議書又ハ答申書ノ謄本及監督官廳ノ許可ヲ要スル事項ニ付テハ許可書ノ謄本ヲ添付スベシ

第十七條 國有財產ノ賣拂、讓與、交換、貸付並土地ノ開拓又ハ水面ノ埋立若ハ干拓ヲ出願セル者其ノ許可ヲ受ケタルトキハ指令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ請書ヲ提出シ當該部局長ヨリ其ノ財產ノ引渡ヲ受ケルベシ

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕

〔料八二〕



前項ノ請書ヲ期間内ニ提出セザルトキハ許可ヲ取消スコトアルベシ  
前二項ノ規定ハ貸付期間ノ更新又ハ準貸付ニ付テハ準用ス

第十八條 國有財產法第二十一條並南洋群島國有財產令第八條ノ規定ニ依リ土地ノ開拓又ハ水面ノ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者事業著手指定期間若ハ成功豫定期間ノ延長又ハ事業計畫ノ變更ヲ出願セントスルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ所轄支廳長ヲ經由シ南洋廳長官ニ願出ヅベシ  
前項ノ規定ハ南洋群島國有財產令第十八條ノ規定ニ依リ土地ノ讓與又ハ貸付ヲ受ケタル者ニ付テハ準用ス

第十九條 出願人、貸付若ハ準貸付ヲ受ケタル者並土地ノ開拓又ハ水面ノ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者所轄支廳管内ニ住所ヲ有セザルトキ又ハ有セザルニ至リタルトキハ當該支廳管内ニ住所ヲ有スル代理人ヲ定メ當該部局長ニ届出ヅベシ代理人ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二十條 國有財產ノ貸付若ハ準貸付ヲ受ケタル者並土地ノ開拓又ハ水面ノ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ニ付左ノ各號ノ一ニ該當スル事實發生シタルトキハ本人、相續人、代理人又ハ管理人ハ十四日以内ニ當該部局長ニ其ノ旨届出ヅベシ  
一 死亡、失踪、相續、分家、改氏名其ノ他戶籍上ノ異動  
二 代理人又ハ管理人ノ變更若ハ其ノ改氏名  
三 本人又ハ代理人ノ住所ノ變更

第二十一條 國有財產ノ臺帳ハ別記第七號様式ニ依ル  
第二十二條 臺帳ニハ土地、建物及國有財產法施行令第一條第一項第四號ノ權利ニ關スル圖面ヲ附屬セシムベシ但シ本令施行ノ際ニ於ケル雜種財產ニ付テハ其ノ重要ナルモノヲ除クノ外當分ノ内ニテ省略スルコトヲ得

第二十三條 國有財產ノ總括簿ハ別記第七號様式中ノ總括ニ準ジテ之ヲ調製シ尙公用財產ノ分ニ付テハ前條ニ準ジテ圖面ヲ附屬セシムベシ

附則

第二十四條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二十一條乃至第二十三條及第二十六條ノ規定ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

第二十五條 本令施行前國有財產ニ關シ提出セル願書ニ付テハ本令ニ依リ提出シタルモノト看做ス  
第二十六條 南洋群島國有財產令第二十三條ノ規定ニ依リ國有財產ノ臺帳ニ登錄スベキ土地及立木竹ノ價格ハ現ニ國有財產臺帳ニ登錄セラレタル土地及立木竹ニ付テハ其ノ記載價格、新ニ登錄スベキ土地及立木竹ニ付テハ國有財產法施行令第三十二條ノ規定ニ依リ算定シタル金額ニ依ル  
〔別記様式省略〕

第十一款 寄附及讓與

●明治五年太政官布告第十七號

（國恩冥加ノ爲メ米金獻納ヲ止メ學校病院等ノ費用寄附ハ地方官聞届ノ件）  
明治五年正月二十二日  
太政官布告第十七號

是迄御國恩冥加ノ爲メ米金獻納願出候者不少候處自今被差止候尤〔癆學〕ヲ開キ病院ヲ興シ或ハ水利堤防其ノ他一切ノ諸工作及ヒ濟貧恤窮等ノ費用ヲ差出度志願之者ハ奇特ノ儀ニ付於地方官聞届其施設ノ方法委細取調可申出

●大正五年勅令第三十四號（巡查ノ用ニ供シタル國費支辨ノ物件ヲ府縣ニ讓渡スルノ件）

大正五年三月三十日  
勅令第三十四號

朕巡查ノ用ニ供シタル國費支辨ノ物件ヲ府縣ニ讓渡スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム（總理、内務、大藏大臣副署）  
巡查ニ要スル經費ニシテ國費ノ支辨ニ屬スルモノヲ府縣費ノ支辨ニ移シタル場合ニハ其ノ巡查ノ用ニ供シタル物件ヲ當該府縣ニ無償ニテ讓渡スルコト

附則

トヲ得  
本令ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●傷兵院寄附金錢物件取扱手續

大正十二年三月三十一日  
内務省告示第八十二號

傷兵院寄附金錢物件取扱手續  
第一條 傷兵院基金トシテ不動産、金錢及有價證券ヲ寄附セムトスル者ハ其ノ金額又ハ品目員數時價ヲ記入及寄附者ノ本籍地並現住地、官、位、勳、功、爵、氏名ヲ記載シタル寄附申込書ヲ居住地ノ市町村長、地方長官、傷兵院又ハ内務省ニ差出スヘシ  
數名連合シ又ハ團體等ノ名義ヲ以テ寄附ヲ爲サムトスル場合ニ在リテハ二名以上ノ代表者ヲ定メ前項ノ手續ヲ爲スモノトス但シ各自ノ寄附額ヲ示サムトスルモノニ在リテハ其ノ金額又ハ品目員數時價並本籍地及現住



地、官、位、勳、功、爵、氏名ヲ列記シタル内詳明細書ヲ添附スルヲ要ス

第二條 市町村長、地方長官又ハ傷兵院ニ於テ前條ノ寄附申込書ヲ受ケタルトキハ直ニ内務省ニ差出スヘシ但シ市町村長ノ場合ニ於テハ地方長官ヲ經由シテ差出スヘシ

第三條 寄附金錢物件ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ之ヲ受理セザルコトアルヘシ  
一 使用ノ方法ヲ特定シタルモノ及管理困難ナルモノ  
二 壹圓未満ノモノ

第四條 金錢ノ寄附ニ在リテハ豫メ其ノ納付期日及金額ヲ定メ五箇年以内ニ之ヲ分納スルコトヲ得

第五條 内務大臣第一條ノ寄附申込書ヲ受理シタルトキハ承認書第一號ヲ居住地ノ市町村長ヲ經テ本人ニ交付シ指定ノ期限内ニ傷兵院ニ納付セシム但シ納付ニ關スル費用ハ本人ノ負擔トス

第六條 傷兵院ニ於テ寄附ノ金錢物件ヲ受領シタルトキハ出納官吏ヨリ受領證書式ヲ本人ニ交付シ内務省ニ之ヲ報告スヘシ

第七條 内務省ニ於テ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ其ノ金額又ハ品目員數時價及寄附者ノ本籍地並現住地、官、位、勳、功、爵、氏名ヲ官報ニ掲載ス

第八條 寄附申込者ニシテ其ノ金錢物件ノ納付未済中居住地、官、位、勳、功、爵、氏名ヲ變更シタルトキハ之ヲ傷兵院ニ届出ツルヲ要ス

第九條 第五條第一項ノ承認書ヲ交付シタルモノニシテ指定ノ期限内ニ寄附ヲ完了セザルモノアルトキハ傷兵院長ハ其ノ事實ヲ調査シ之ヲ内務大臣ニ報告スヘシ

内務大臣ハ前項ノ報告ニ基キ寄附ノ承認ヲ取消スコトアルヘシ

第十條 圖書器物其ノ他傷兵院基金ニ屬セザル物件ノ寄附ニ關シテハ前條ノ規定ヲ準用ス但シ寄附ノ申込ハ傷兵院長ニ之ヲ爲シ其ノ承認ヲ受ケルモノトス

前項ノ寄附ニ在リテハ其ノ使用ノ方法ヲ指定シ或ハ匿名ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

承認書

第一號書式  
承認書  
本籍地 府(縣)郡(市)町(村)番地  
居住地 府(縣)郡(市)町(村)番地  
官、位、勳、功、爵、氏 名  
一 金何圓也  
二 何時價金何圓何拾錢  
右傷兵院基金トシテ寄附ノ趣承認ス  
年 月 日 内 務 省 印  
追而本寄附金錢(物件)ハ 何年何月何日迄ニ傷兵院出納官吏何某ニ納付スルヲ要ス

一 何時價金何圓何拾錢  
二 何時價金何圓何拾錢  
但シ傷兵院基金トシテ寄附

第 號

一金何圓

一 何時價金何圓何拾錢  
二 何時價金何圓何拾錢  
但シ傷兵院基金トシテ寄附

右領收候也

年 月 日 官 氏 名

陸軍學藝技術獎勵金品寄附取扱

手續 大正十年一月二十七日 陸軍省告示第二號

陸軍學藝技術獎勵金品寄附取扱手續左ノ通定ム

陸軍學藝技術獎勵金品寄附取扱手續

第一條 陸軍ニ於ケル學藝技術獎勵ノ目的ヲ以テ金錢、有價證券又ハ物品ヲ寄附セムトスル者ハ其ノ目的及金額又ハ品目、數量、價額並本籍、現住

第十二輯 財務 第一章 會計 第十一款 寄附及讓與

所、族稱、位勳功爵及氏名ヲ書面又ハ口頭ヲ以テ陸軍省又ハ最寄陸軍部隊ニ申出ルモノトス

數人又ハ數團體聯合ノ名義ヲ以テ寄附ヲ爲サムトスル場合ニ在リテハ各個人又ハ各團體毎ニ前項ノ各事項ヲ列記シタル内詳明細書ヲ添附スルモノトス

前項ノ内詳明細書ヲ添附スル能ハサルトキハ其ノ理由ヲ記載スルヲ要ス但シ數人聯合ノ場合ニ在リテハ別ニ其ノ代表者ヲ指定スルモノトス

第二條 寄附ノ申出ニハ其ノ獎勵セムトスル學藝技術ノ種類、航空機又ハ自技術、航空術、射擊、ヲ指定スルコトヲ得

第三條 金錢ノ寄附ニ在リテハ豫メ其ノ納付期日及金額ヲ定メ五年以内ニ之ヲ分納スルコトヲ得

第四條 寄附金品ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ之ヲ受理セザルコトアルヘシ  
一 使用ノ方法又ハ使用ノ部隊ヲ特定シタルモノ及使用又ハ管理困難ナルモノ  
二 一口ノ金額又ハ物品ノ價額五圓ニ滿タサルモノ

第五條 各部隊ニ於テ獎勵金品寄附ノ申出ヲ受ケタルトキハ當該部隊長ヨリ所屬長官ヲ經テ之ヲ陸軍大臣ニ申達スヘシ

第六條 陸軍省ニ於テ獎勵金品寄附ノ申出ヲ受理シタルトキハ該金品ヲ受領スヘキ部隊及期限ヲ指定シ承認書第一號ヲ寄附申出人ニ係ルモノニ在リテハ當該部隊長ヨリ承認書第一號ヲ寄附申出人ニ係ルモノニ在リテハ當該部隊長ヲ經テ之ヲ指定ノ部隊ニ其ノ旨ヲ通達ス

第七條 寄附申出人前條ノ承認書ヲ受ケタルトキハ指定ノ期限内ニ指定ノ



部隊ニ寄附金品ヲ納付スルモノトス

寄附金品ノ納付ニ要スル費用ハ寄附者ノ負擔トス

第八條 指定部隊ニ於テ寄附金品ヲ受領シタルトキハ受領書(第二號様式)ヲ寄附者ニ交付シ其ノ金額又ハ品種、數量、價額及受領年月日、寄附者ノ現住所氏名等ヲ陸軍省ニ報告スヘシ

第九條 陸軍省ニ於テ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ其ノ金額又ハ品種、數量、價額及寄附者ノ本籍並現住所、族稱、位勳功爵、氏名等ヲ官報ニ掲載ス

第十條 寄附申出者ニシテ寄附金品ノ納付未済中ニ現住所、族稱、位勳功爵、氏名等ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ陸軍省又ハ第六條ニ依ル指定部隊ニ届出ツルヲ要ス

第十一條 寄附申出者中承認書指定ノ期限内ニ故ナク寄附ヲ完了セザルモノアルトキハ第六條ニ依ル指定部隊長ハ其ノ事由ヲ調査シ之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第十二條 寄附品中輕易ナル物品ニ限リ本手續ニ依ラス直接陸軍各部隊ヘ寄附スルコトヲ得

各部隊ニ於テ前項ニ依リ物品ノ寄附ヲ受ケタルトキハ第八條ニ準シ之ヲ處理スヘシ

第一様式  
承認書

一金何圓也

(一)何 此價額何圓何錢(何箇)

右陸軍ニ於ケル學藝技術獎勵(何獎勵)ノ爲寄附ノ憑承認候條大正何年何月何日迄ニ何地何部(隊)ヘ納付相成度候也

大正 年 月 日

陸軍大臣 氏 名 印

氏名 殿

第二様式

第 號

證

(一)何 此價額何圓何錢(何箇)

但シ陸軍ニ於ケル學藝技術獎勵(何獎勵)寄附金(品)右領收候也

大正 年 月 日

何部隊出納官吏(物品會計官吏)

氏名 殿

官 氏 名 印

陸軍恤兵金品取扱手續

昭和十二年十一月十九日  
陸軍省告示第四十八號

〔輯八一〕

改正 昭和十六年第六〇號

陸軍恤兵金品取扱手續左ノ通定ム

陸軍恤兵金品取扱手續

第一條 恤兵金品ノ受理及配與ニ關スル事務ハ陸軍恤兵部(陸軍恤兵部ヲ設置セザルトキハ陸軍大臣官房以下之ニ同シ)ニ於テ之ヲ掌ル

第二條 恤兵金ヲ寄附セントスル者ハ寄附申出書(第一號様式)ニ現金又ハ有價證券ヲ添ヘ陸軍恤兵部ニ差出スモノトス但シ寄附申出人ノ便宜ニ依リ銀行爲替、郵便爲替又ハ電信爲替ヲ以テ送付スルコトヲ得

第三條 恤兵品ヲ寄附セントスル者ハ寄附申出書(第二號様式)ヲ現住地ノ市區町村長(朝鮮ニ在リテハ府尹又ハ邑面長、臺灣ニ在リテハ市尹又ハ街庄長、關東州ニ在リテハ民政署長、外國ニ在リテハ領事官以下之ニ同シ)ヲ經由シ又ハ直接ニ陸軍恤兵部ニ差出シ其ノ承認ヲ受ケルモノトス

第四條 恤兵金品一人、數人共同、團體等ノ名義ヲ以テ寄附スルコトヲ得

數人共同、團體等ニ在リテハ其ノ代表者ヨリ寄附ノ申出ヲ爲スモノトス

前項ノ場合ニ於テハ寄附申出書(第一號様式)又ハ第二號様式(左ノ區分ニ從ヒ其ノ寄附スル金額又ハ品種、數量及價格ヲ頭書シタル内詳明細書

第十二輯 財務 第一章 會計 第十一款 寄附及讓與



第十二輯 附則 第一章 會計 第十一款 寄附及讓與

貨物取扱費(鐵道省負擔)並ニ著課ヨリ受領部隊迄ノ輸送費(受領部隊負擔)ニ關シテハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 陸軍恤兵部ニ於テ恤兵金ヲ受領シ又ハ恤兵品受領済ノ通報ヲ受ケタルトキハ適宜之ヲ取極メ其ノ金額又ハ品種及寄附者ノ氏名ヲ官報ニ公告ス

第九條 恤兵金品ハ寄附ノ申出ヲ爲シタル後金額又ハ品種、數量等ノ増減又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得ズ

第十條 寄附ノ申出ヲ爲シタル者ニシテ住所、氏名等ヲ變更シタルトキハ其ノ都度之ヲ陸軍恤兵部ニ届出ブルモノトス

第十一條 市區町村長ハ第七條第一項ノ規定ニ依リ承認書ヲ受ケタル者其ノ寄附ヲ完了セザルトキハ其ノ事實ヲ調査シ之ヲ恤兵部ニ通知スルモノトス

第十二條 市區町村長ハ第七條第二項ノ規定ニ依リ寄附品點檢ノ請求アリタルトキハ之ニ應ジ包裝又ハ荷札ニ點檢済ノ證明ヲ爲シ腐敗、損傷等ニ因リ使用堪ヘズト認ムルモノアルトキハ證明ヲ爲サズ直ニ其ノ狀況ヲ恤兵部ニ申出ブルモノトス

第十三條 恤兵品ニシテ恤兵ノ用ニ適セズト認メタルトキハ受理ノ承認ヲ取消シ之ヲ寄附者ニ還付スルコトアルベシ

第十四條 恤兵金品ハ必要ニ應ジ陸軍恤兵部以外ノ陸軍部隊ニ於テ之ヲ受理セシムルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ受理スベキ恤兵金品ノ取扱ニ關シテハ前數條ノ規定ニ依リ其ノ配與ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル  
第一項ノ部隊ハ別ニ之ヲ定ム

附則

明治三十七年陸軍省告示第四號恤兵金品取扱規程ハ之ヲ廢止ス

第一號様式

恤兵金寄附申出書  
一金 何 圓 也  
右恤兵ノ爲寄附仕度候間受領相成度候也  
昭和 年 月 日  
現住所 何府(縣)何郡(市)(區)何町(村)何番地  
官職

位勳功爵 氏 名 印

(某社)會(團體)長(總代) 氏 名 印

陸軍恤兵部御中

第二號様式

恤兵品寄附申出書

一 何 々 何 程

一 何 々 何 程

此價格金何圓何拾錢

此價格金何圓何拾錢

右恤兵ノ爲寄附仕度候間受領相成度候也

昭和 年 月 日

現住所 何府(縣)何郡(市)(區)何町(村)何番地

官職

位勳功爵 氏 名 印

[輯一二九]

(某社)會(團體)長(總代) 氏 名 印

陸軍恤兵部御中

第三號様式

第 號 納

一金 何 圓 也

但シ恤兵金寄附金

昭和 年 月 日

第 號 證

一金 何 圓 也

但シ恤兵金寄附金

右正ニ領收候也

昭和 年 月 日

陸軍恤兵金出納官吏 官 氏 名 印

氏 名 殿

第四號様式

第 號 承 認 書

一 何 々 何 程

一 何 々 何 程

右恤兵ノ爲寄附ノ趣承認候間昭和何年何月何日限リ何地何所へ送付相成度候也

昭和 年 月 日

第十二輯 財務 第一章 會計 第十一款 寄附及讓與

八輯八一

陸軍恤兵監 氏 名 印

第五號様式

第 號 納

一 何 々 何 程

但シ寄附品

昭和 年 月 日

第 號 證

一 何 々 何 程

但シ恤兵寄附品

右正ニ領收候也

昭和 年 月 日

陸軍恤兵品出納官吏 氏 名 印

氏 名 殿

第六號様式

承 認 第 號 證 明 書

左記貨物ハ陸軍恤兵品タルコトヲ證明ス

四五四ノ一



陸軍恤兵監 氏 名印

- 一 寄附者
- 二 品 種
- 三 細 數
- 四 受領部隊

### ● 國防獻金品出納規程

昭和十二年十月二十九日  
陸軍第五十三號

國防獻金品出納規程左ノ通定ム

#### 國防獻金品出納規程

- 第一條 陸軍ニ於ケル國防獻金品ノ出納保管ハ本達ニ依ル
- 本達ニ規定ナキ事項ハ會計ニ關スル一般ノ規定ヲ準用ス
- 第二條 國防獻金及其ノ果實ハ寄附者ノ意志ニ基キ軍需品調達ノ資ニ充ツルモノトス但シ果實ニ限リ其ノ一部ヲ命名式等ノ費用ニ充當スルコトヲ得
- 第三條 國防獻金品ノ出納保管ニ係ル事務ハ陸軍大臣官房ニ於テ之ヲ行フ
- 第四條 陸軍省副官(高級先任ノ副官ヲ謂フ以下之ニ同シ)ハ國防獻金ノ使用計畫ヲ調整シ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケベシ
- 第五條 國防獻金品ノ出納保管ニ係ル事務ハ陸軍省副官之ヲ指揮監督ス

第六條 陸軍省副官ハ國防獻金品ノ出納保管ヲ爲サシムル爲陸軍大臣官房

附將校ニ國防獻金品出納官吏ヲ命ズベシ

第七條 陸軍省副官ハ毎月國防獻金ノ出納高及現在高ヲ陸軍大臣ニ報告スベシ

第八條 國防獻金品ニ關スル會計事務ノ監督ハ陸軍省經理局長之ヲ行フ

第九條 陸軍省經理局長ハ前條ノ監督ノ爲所要ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第十條 國防獻金出納官吏ハ陸軍省經理局長ノ検査ヲ受クル爲毎月出納計算書ヲ調整シ證書類ヲ添ヘ翌月十五日迄ニ陸軍省經理局長ニ提出スベシ

第十一條 國防獻金ヲ郵便局及日本銀行以外ニ預託セントスルトキハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケベシ

第十二條 水火盜難其ノ他ノ事故ニ依リ國防獻金品ニ異常アリタルキハ陸軍省副官ハ直ニ之ヲ調査シ其ノ狀況ヲ陸軍大臣ニ報告シ且陸軍省經理局長ニ通報スベシ

第十三條 國防獻金ヲ以テ調達シタル物品ヲ交付スベキ部隊ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十四條 前各條ニ定ムルモノノ外國國防獻金ノ出納保管、検査及證明ニ付テハ歳入歳出外現金出納官吏ニ係ル規定ヲ適用シ物品ノ出納保管、検査及證明ニ付テハ物品會計官吏ニ係ル規定ヲ準用ス

第十五條 軍司令部、師團司令部及聯隊區司令部ハ必要ニ應ジ一時國防獻金品ノ出納保管ニ係ル事務ヲ取扱フコトヲ得

〔輯八一〕

前項ノ場合ニ於テハ當該部隊ニ國防獻金品出納官吏ヲ置クモノトス

第十六條 前條ノ場合ニ於テハ第十四條ノ規程ヲ適用スルノ外ハ會計ニ關スル一般ノ規定ヲ準用ス

第十七條 國防獻金品ノ出納保管ニ關スル細則ハ陸軍省副官之ヲ定ム

### ● 國防獻金品寄附取扱手續

昭和十二年十月二十九日  
陸軍省告示第四十五號

改正 昭和十四年第二一號

國防獻金品寄附取扱手續左ノ通定ム

#### 國防獻金品寄附取扱手續

第一條 國防獻金品ニ充ツル目的ヲ以テ金錢、有價證券又ハ物品ヲ寄附セントスル者ハ國防獻金(品)寄附申出書(様式第一又ハ様式第二)ヲ陸軍大臣官房又ハ最寄陸軍部隊(軍司令部、師團司令部及聯隊區司令部トシ以下之ヲ受理部隊ト稱ス)ニ提出スルモノトス

第二條 國防獻品トシテ受理スベキモノハ概ネ左ノ如シ

- 一 軍用ニ供シ得ベキ自動車、拳銃、實包及刀
- 二 軍用ニ供シ得ベキ馬、犬、鳩及鳩舎
- 三 貴金屬
- 四 前各號ニ掲グルモノノ外陸軍大臣ノ許可ヲ受ケタルモノ

第三條 受理部隊ニ於テ國防獻金品寄附ノ申出ヲ受ケタルトキハ速ニ左ノ各號ニ依リ處理スルモノトス



- 一 金錢、有價證券及貴金屬類ニ在リテハ當該部隊ノ出納官吏ニ於テ受領ノ上申出書ヲ添附シ陸軍大臣官房宛送付ス
- 二 前號以外ノ獻品ニ在リテハ其ノ申出書ヲ陸軍大臣官房宛送付シ指示ヲ受ケ
- 第四條 陸軍大臣官房ニ於テ直接獻品寄附ノ申出ヲ受ケタルトキ及前條第二號ノ規定ニヨリ申出書ノ送付ヲ受ケタルトキハ該獻品ヲ受領スベキ部隊及期限ヲ指定シ申出人ニ通知(第三條第二號ノモノニ在リテハ受理部隊經由)スルト共ニ指定部隊ニ其ノ旨ヲ通知スルモノトス
- 申出人前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ指定ノ期限内ニ指定ノ部隊ニ納付スルモノトス
- 納付ニ要スル費用ハ寄附者ノ負擔トス
- 第五條 陸軍大臣官房、受理部隊又ハ指定部隊ニ於テ獻品ヲ受領シタルトキハ受領書(様式第三)ヲ寄附者ニ交付シ且指定部隊ニ在リテハ其ノ品種、數量、受領年月日、寄附者ノ現住所、氏名等ヲ陸軍大臣官房宛通報スルモノトス
- 第六條 陸軍大臣官房ニ於テ獻品ヲ受領シタルトキ又ハ前條ノ通報ヲ受ケタルトキハ適宜之ヲ取極メ其ノ金額又ハ品種、數量及價額竝ニ寄附者ノ現住所、位勳功爵及氏名ヲ官報ニ掲載スベシ
- 第七條 寄附申出者ニシテ獻品ノ納付未済中ニ現住所、位勳功爵、氏名等ニ變更ヲ生ジタルトキハ其ノ都度之ヲ陸軍大臣官房又ハ第四條ノ指定部隊ニ届出ヅルモノトス
- 前項ノ規定ニ依リ届出ヲ受ケタル指定部隊ハ其ノ事項ヲ陸軍大臣官房宛通報スベシ

様式第一

國防獻金寄附申出書

一金 何圓何拾錢

右國防獻品ヲ目的トシテ寄附仕度候間受領相成度候也

年月日

現住所 何府(縣)何郡(市)(區)何町(村)何番地

職、位、勳、功、爵

(某社(會)(團體)長(代表)) 氏 名

陸軍省御中

備考

數人又ハ數團體聯合ノ名義ヲ以テ寄附セントスル場合ニ於テハ各個人又ハ團體毎ニ金額又ハ品種、數量、價額、現住所、位勳功爵及氏名ヲ列記セル内譯明細書ヲ添附(添附シ得ザルトキハ其ノ旨附記)シ別ニ其ノ代表者ヲ指定スルモノトス

様式第二

國防獻品寄附申出書

一 何々 何程

此價額金何圓何拾錢

右國防獻品トシテ寄附仕度候間受領相成度候也

年月日

現住所 何府(縣)何郡(市)(區)何町(村)何番地

〔輯八〇〕

職、位、勳、功、爵

(某社(會)(團體)長(代表)) 氏 名

陸軍省御中

備考

様式第一ノ備考ニ同シ

様式第三

國防獻金(品)受領證

一金 何圓何拾錢 (一何々 何程)

此價額金何圓何拾錢

但シ國防獻品ヲ目的トスル寄附金(國防獻品)右受領候也

年月日

陸軍大臣官房(指定部隊又ハ受理部隊)

國防獻金出納官吏 官 氏 名

(國防獻品物品會計官吏) 官 氏 名

氏 名 殿

〔輯八〇〕



遊就館寄附寄託品取扱規則

明治四十三年四月二日  
陸軍省告示第十一號

遊就館寄附寄託品取扱規則左ノ通定ム

遊就館寄附寄託品取扱規則

第一條 遊就館ハ本規則ニ依リ武器ノ沿革ニ關シ參考ト爲ルヘキ物件ノ寄附又ハ寄託ヲ受ケ

第二條 遊就館ニ陳列ノ爲物品ヲ寄附セムトスルトキハ品名形狀由來書ヲ詳記シ遊就館ニ申出ツヘシ

前項ノ申出アリタルトキハ出品審査委員ノ議ニ付シ其ノ諾否ヲ決定ス但シ特別ノ事情アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三條 前條ノ寄附ヲ受ケル場合ニ於テハ時宜ニ依リ遊就館ニ於テ荷造及ヒ運搬費ヲ支辨スルコトアルヘシ

第四條 寄託品ヲ分チテ甲種出品及乙種出品トス

甲種出品ハ遊就館ヨリ特ニ出品ヲ請求シタルモノ乙種出品ハ所有者ノ申

出ニ依リ出品ヲ承諾シタルモノヲ謂フ

第五條 乙種ノ出品ヲ爲サムトスル者ハ口頭又ハ書面ヲ以テ其ノ旨ヲ遊就館ニ申出ツヘシ但シ書面ヲ以テ出品ヲ申出ツルトキハ申出書ニ物品ノ性質及由來ヲ附記シ要スレハ略圖ヲ添付スヘシ

他人ノ所有ニ屬スル物件ヲ出品スル場合ニ於テハ前項ノ外所有者ノ承諾書ヲ提出スルヲ要ス

第六條 乙種出品ノ申出アリタルトキハ出品審査委員ノ議ニ付シ其ノ諾否ヲ決スルモノトス

前項ノ場合ニ於テ審査上必要アルトキハ出品申出者ニ對シ物品ノ提出ヲ求ムルコトアルヘシ

第七條 出品ノ荷造費及運搬費ハ甲種出品ニ在リテハ遊就館ニ於テ支辨シ乙種出品ニ在リテハ出品者ノ負擔トス

第八條 出品ニ對シテハ現品受領ト共ニ預證書ヲ出品者ニ交付ス

預證書ハ一品ニ付一枚トス但シ場合ニ依リ數品ニ付一枚ト爲スコトアルヘシ

預證書ハ附録雜形ニ依ル

第九條 出品ハ鄭重ニ之ヲ保管シ遊就館ニ於テ必要ノ手入ヲ爲スモノトス

第十條 出品ノ配列、保管等ハ遊就館ノ定ムル所ニ依ル

第十一條 出品ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ遊就館ハ其ノ損害ヲ賠償ス但シ左ノ事項ニ該當スルトキハ此ノ限リニ在ラス

一 出品者ノ過失ニ因リタルトキ

二 不可抗力ニ因リタルトキ

三 物品ノ性質又ハ瑕疵ニ因リタルトキ

〔附八〇〕

〔目次〕

第十二條 前條ノ賠償金額ハ遊就館ト出品者トノ間ニ之ヲ豫定シタル場合ヲ除クノ外出品審査委員ノ議決ニ依ル

第十三條 亡失ノ物品ヲ發見シタルトキハ現品ヲ出品者ニ返還シ賠償金ヲ交付シタルモノハ其ノ金額ヲ遊就館ニ還納セシム但シ賠償金ヲ還納スルコト能ハサルトキハ其ノ還納ニ至ル迄現品ヲ遊就館ニ留置ス

第十四條 毀損ノ物品ニ對シ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テ毀損品ノ處分ハ遊就館及出品者雙方ノ協議ニ依ルモノトス

第十五條 遊就館ハ出品ノ摸寫、摸造、撮影等ヲ爲シテ參考ニ供シ又ハ之ヲ發賣スルコトヲ得

前項ノ規定ハ出品者ニ於テ豫メ摸寫、摸造、撮影等ヲ禁スルコトヲ申出タルモノニハ之レヲ適用セス但シ他ノ出品ト共ニ陳列ノ狀況ヲ撮影スル場合ハ此ノ限リニ在ラス

第十六條 出品ノ摸寫、摸造、撮影ヲ爲サムトスル者ハ出品者ノ承諾書ヲ携帶シ遊就館ニ申出テ其ノ承認ヲ受ケヘシ

第十七條 出品ノ預期間ハ三箇年トス前項ノ期限滿ツルトキハ出品者ニ通知シ更ニ出品ヲ繼續スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ都度預證書ノ書換ヲ爲スモノトス

第十八條 出品預期間ノ計算ハ現品ノ受領六月以前ニ係ルモノハ其ノ年一月ヨリ起算シ七月以後ニ係ルモノハ其ノ年七月ヨリ起算ス

第十九條 第十七條ノ期間内ト雖モ遊就館ノ都合ニ依リ出品ヲ返付スルトキハ出品者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十條 預證書記載ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ出品者ヨリ其ノ都度

第十二輯 財務 第一章 會計 第十一款 寄附及讓與

第十二輯 財務 第一章 會計 第十一款 寄附及讓與

之ヲ遊就館ニ届出ツヘシ

出品ヲ讓渡シタルトキハ賣主及買主連署ヲ以テ預證書ノ書換ヲ請求スルモノトス

第二十一條 甲種出品ヲ返付シ又ハ遊就館ノ都合ニ依リ乙種出品ヲ返付スル場合ニ於テハ所有者ノ申出ニ依リ遊就館ノ費用ヲ以テ其ノ居所ニ運送スヘシ

第二十二條 出品ノ預證書ヲ紛失又ハ毀損シタルトキハ二人以上ノ確實ナル保證人ヲ立テ證書ノ再交付又ハ引換ヲ請求スルコトヲ得但シ紛失シタル場合ニ於テハ其ノ證據明確ナル場合ノ外遊就館ノ定ムル所ニ依リ官報及新聞紙ニ廣告シタル後六箇月ヲ經テ發見セサルトキ更ニ證書ヲ交付スルモノトス

前項但書ノ場合ニ於テハ新聞廣告料ハ請求者ノ負擔トス

第二十三條 紛失又ハ毀損ニ依リ證書ノ再交付又ハ引換ヲ爲シタルトキハ其ノ事由ヲ該證書ニ記載ス

(雜形)

其一

| 第 一 品 名        | 號     | 甲種出品預證書 |
|----------------|-------|---------|
| 特 徵            |       |         |
| 右本館ニ出品相成正ニ預リ候也 |       |         |
| 但シ預リ期限         | 年 月 日 | マテ      |
| 年 月 日          |       |         |

四五七



何 誰殿 館長氏 名印

其二

第一號書式(用紙適宜)

乙種出品預證書

特 徵

右本館ニ出品ノ申出ヲ承認シ正ニ預リ候也

但シ預リ期限 年 月 日マテ

年 月 日

何 誰殿

館長氏

名印

### ●學藝技術獎勵金品取扱規程

明治三十九年八月八日

海軍省告示第六號

改正 明治三十九年第一四號、四二年第一五號

海軍ニ於ケル學藝技術獎勵ノ目的ヲ以テ寄附スル金員及寄贈スル物品取扱ニ關スル規程左ノ通定ム

學藝技術獎勵金品取扱規程

第一條 海軍ニ於ケル學藝技術獎勵ノ目的ヲ以テ寄附スル金員ヲ學藝技術獎勵金、寄贈スル物品ヲ學藝技術獎勵品ト稱ス

第二條 學藝技術獎勵金ヲ寄附セントスル者ハ第一號書式、學藝技術獎勵品ヲ寄贈セントスル者ハ第二號書式ニ依リ申出書ヲ作り海軍省ニ差出スヘシ

前項ノ申出書ニハ各其ノ獎勵セントスル所ノ學藝若ハ技術及用途ヲ指示スヘシ但シ基金トシテ金員ヲ寄附シ利子ヲ以テ充用セント欲スル者ニ在リテハ其旨ヲ記スヘシ

第三條 學藝技術獎勵金ノ寄附又ハ學藝技術獎勵品ノ寄贈ハ一個人若ハ二人以上聯合タルト會社若ハ團體タルトハ之ヲ寄附又ハ寄贈セントスル者ノ任意トス但シ二人以上聯合ニ在リテハ總代人、會社若ハ團體ニ在リテハ代表者ノ名義ヲ以テスヘシ

二人以上聯合ニテ寄附又ハ寄贈セントスルトキハ聯合者ノ住所族籍氏名及金額又ハ品種數量代價ヲ明記シタル内譯明細書ヲ添付スヘシ

第四條 學藝技術獎勵金ノ寄附又ハ學藝技術獎勵品ノ寄贈ヲ承認シタルトキハ之ヲ寄附シ又ハ寄贈スル者ニ第三號書式ノ承認狀ヲ交付スルト同時ニ該金品ヲ受領スヘキ出納官吏若ハ官衙ヲ指定ス

第五條 前條ノ承認狀ヲ交付シタルトキハ學藝技術獎勵金ヲ寄附シ又ハ學藝技術獎勵品ヲ寄贈スル者ノ住所族籍氏名及金額又ハ品種數量代價並其ノ指示ノ學藝若ハ技術及用途ヲ當該出納官吏若ハ官衙ニ通知ス

第六條 第四條ノ承認狀ヲ受ケタル者ハ速ニ該學藝技術獎勵金ニ在リテハ現金又ハ爲替ヲ以テ指定ノ出納官吏ニ、學藝技術獎勵品ニ在リテハ指定ノ官衙ニ送付スヘシ但シ指定ノ出納官吏若ハ官衙迄送付ニ要スル費用ハ該

金品ヲ寄附シ又ハ寄贈スル者ノ負擔トス

第七條 第五條ノ通達ヲ受ケタル出納官吏若ハ官衙ニ於テ該金品ヲ受領シタルトキハ速ニ之ヲ寄附シ又ハ寄贈シタル者ニ受領證ヲ送付スルト同時ニ其ノ氏名及受領年月日等ヲ海軍省ニ報告スヘシ

前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ官報ヲ以テ金品ヲ寄附シ又ハ寄贈シタル者ノ住所族籍氏名及金額又ハ品種數量代價等ヲ廣告ス

第八條 寄附又ハ寄贈ノ承認ヲ受ケタル金額又ハ品種數量ニ對シ減額變更又ハ取消ヲ請求スル者アルモ之ヲ採用セス但シ増額セントスル者アルトキハ其ノ旨更ニ海軍省ニ申出ヘシ

第一號書式(用紙適宜)

學藝技術獎勵金寄附申出書

一金何程

右何學校何々試驗(何術實驗、競技)ノ際何々ノ優點者ハ賞與又ハ何々トシテ寄附致度候條御承認相成度候也

本籍 何府縣市郡町村番地 (會社團體ニ在リテハ所在地)

住所 何府縣市郡町村番地 (何社長又ハ何某外何名總代)

年 月 日 族 籍 氏 名 印

海軍大臣宛

第二號書式(用紙適宜)

學藝技術獎勵品寄贈申出書

(數種ノ物品ヲ寄贈セントスルトキハ本書式ノ例ニ依リ適宜列記スルモノ)

一何々 何箇

第十二輯 財務 第一章 會計 第十一款 寄附及讓與

此代價金何程

右何學校何々試驗(何術實驗、競技)ノ際何々ノ優點者ハ賞與又ハ何々トシテ寄附致度候條御承認相成度候也

本籍 何府縣市郡町村番地 (會社團體ニ在リテハ所在地)

住所 何府縣市郡町村番地 (何社長又ハ何某外何名總代)

年 月 日 族 籍 氏 名 印

海軍大臣宛

第三號書式

學藝技術獎勵金寄附(學藝技術獎勵品寄贈)承認狀

一金何程(何々)

右海軍ニ於ケル何學校何々試驗(何術實驗、競技)獎勵ノ主意ヲ以テ寄附(寄贈)申出ノ趣承認候條現金(現品)ハ何處出納官吏氏名(官衙名)ヘ送附可有之候也

年 月 日 海軍大臣 氏 名 印

大正七年九月四日

海軍省告示第五號

恤兵品取扱規程

第一條 海軍軍人ヲ慰恤スルノ目的ヲ以テ寄贈セラレタル物品ヲ恤兵品ト稱ス

第二條 恤兵品ヲ寄贈セントスル者ハ第一號書式ノ恤兵品寄贈申出書ヲ海



軍省經理局長ニ差出スヘシ

第三條 恤兵品ノ寄贈ハ一個人タルト數人聯合又ハ會社團體タルトハ寄贈者ノ任意トス

第四條 數人聯合シ又ハ會社團體ヨリ恤兵品ヲ寄贈スルトキハ代表者ノ名義ヲ以テスヘシ此場合ニ於テハ各寄贈者ノ本籍地現住所族籍官位勳功學位爵氏名及品種數量等ヲ明記セル内課書ヲ添付スヘシ

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル恤兵品ノ寄贈申出ハ之ヲ受理セス  
一 一個人又ハ艦船部隊ヲ指定シ其ノ他用途ヲ特定シタルモノ但シ特ニ認可ヲ經タルモノヲ除ク

二 第十二條ニ依リ海軍省經理局長ノ定ムル品目以外ノモノ及同品目數量以下ノモノ

第六條 海軍省經理局長恤兵品ノ寄贈申出ヲ受理シタルトキハ第二號書式ノ恤兵品寄贈申出受理書ヲ寄贈者ニ交付シ同時ニ該品ヲ受領スヘキ官衙ニ之ヲ通知スヘシ

第七條 恤兵品寄贈者前條ノ恤兵品寄贈申出受理書ヲ受ケタルトキハ該書ニ於テ指定セラレタル官衙ニ現品ヲ送付スヘシ但シ荷物ヲ送達スヘキ官衙ニ至ル迄ノ運搬費ハ寄贈者ノ負擔トス

第八條 恤兵品ノ荷造ハ堅牢ヲ旨トシ荷物ノ上面及側面ノ二箇所ニ左ノ如キ荷札ヲ附著スルモノトス但シ荷造ノ形狀ニ依リ荷札ヲ用ヒスシテ荷物ノ外皮ニ記載スルモ妨ケナシ

何府何市町何番地  
何縣何郡何村何番地

氏 名

某地

何官衙行

海軍用恤兵品「何箇入」

第九條 恤兵品ヲ受領シタル官衙ハ第三號書式ノ恤兵品受領證ヲ寄贈者ニ交付シ同時ニ其ノ品目數量及寄贈者ノ氏名等ヲ海軍省經理局長ニ報告スヘシ

第十條 海軍省經理局長前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ官報ニ公告ス

第十一條 恤兵品ハ時宜ニ依リ之ヲ檢査シ腐敗損傷等ノ爲使用ニ適セスト認ムルトキハ既ニ交付セル恤兵品寄贈申出受理書ヲ取消シ寄贈品ハ之ヲ申出人ニ還付スルコトアルヘシ

第十二條 恤兵品ノ寄贈ヲ受ケヘキ品種ハ概ネ左ノ三種トシ各其ノ品目及數量ハ海軍省經理局長之ヲ定メ官報ニ公告ス

糧食品類 繙帶用品類 雜品類

第一號書式

備考

一 用紙ハ適宜タルヘシ  
一 申出人ノ住所氏名ハ最モ判明ニ記載スルヲ要ス  
一 代價ハ現品ノモノ代價ニシテ運搬費等ハ算入セサルモノトス

恤兵品寄贈申出書

一 何々 此代價金何圓 何程 何箇  
一 何々 此代價金何圓 何程 何箇

右恤兵ノ主意ヲ以テ寄贈相成受領候也  
大正 年 月 日

第三號書式

第 號

一 何々

一 何々

右恤兵ノ主意ヲ以テ寄贈相成受領候也

〔大正〕 年 月 日

某官衙(艦隊)長官 氏

何某殿

名

第二號書式

第 號

恤兵品寄贈申出受理書

一 何々

一 何々

右恤兵ノ主意ヲ以テ寄贈申出ノ趣受理致候條現品ハ「某官衙(艦隊)」へ送付可有之候也

〔大正〕 年 月 日

海軍省經理局長官 氏

何某殿

名



### ●國防獻金取扱規程

昭和十二年十月二十二日  
海軍省告示第十六號

支那事變ニ關スル國防獻品ヲ目的トスル寄附金ノ取扱規程左ノ通定ム  
國防獻金取扱規程

第一條 海軍ニ於ケル支那事變ニ關スル國防獻品ヲ目的トスル寄附金ヲ國防獻金ト稱ス

第二條 國防獻金ヲ寄附セントスル者ハ現金ニ添ヘ第一號書式ノ申出書ヲ海軍省ニ差出スモノトス但シ地方ニ在リテハ所在海軍官衙ニ差出スコトヲ得

前項ノ申出書ニハ其ノ目的トスル獻品名ヲ記載スルモノトス但シ特定ノ物品ヲ目的トセザルモノニ在リテハ單ニ國防獻金ト記載スルモノトス

第三條 國防獻金ヲ二人以上連名ニテ寄附スル場合ニ在リテハ各人ノ住所氏名及金額ヲ明記シタル内譯明細書ヲ申出書ニ添附シ會社又ハ團體ガ寄附スル場合ニ在リテハ代表者ノ住所氏名ヲ申出書ニ記載スルモノトス

第四條 出納官吏現金ヲ受領シタルトキハ寄附者ニ第二號書式ノ受領證ヲ交付スベシ

第五條 第二條第一項但書ニ依リ國防獻金ヲ受領シタル場合ニ在リテハ當該官衙ハ受領後直ニ海軍省經理局ニ送金スベシ

第六條 寄附者ノ住所氏名及金額ハ之ヲ官報ニ公告ス  
附則

本規程ハ昭和十二年十月九日ヨリ之ヲ適用ス

(第一號書式)

國防獻金寄附申出書

一金 何 程

但何々製作(又ハ購入)資金

右寄附仕度候也

住所 何府 何郡 何市 何町 何村 何番地

(何社長又ハ何某外何名總代)

位勳功爵 氏

名印

何年何月何日

海軍大臣 宛

(第二號書式)

原 符

第 號 受領證 出納官吏 官氏 名

一金 何 程

右 何年何月何日受領

第 號 國防獻金受領證

一 金 何 程

右何々製作(又ハ購入)資金トシテ寄附相成受領候也

何年何月何日 何

何 某 殿

國防獻金 官氏 名印

出納官吏 官氏 名印

### ●明治十六年文部省告示第一號

(文部省直轄諸學校圖書館教育

博物館等へ圖書物品類寄附方ノ

件)

明治十六年八月二十八日  
文部省告示第一號

從來當省直轄學校圖書館教育博物館等へ圖書物品ノ類ヲ寄附候節ハ管轄區ヲ經由シ來リ候處自今本人ノ便宜ニ依リテハ直ニ其學校館等へ申出ルモ不苦候條此旨告示候事

但寄附品ノ種類ト本人ノ請願ニ依リテハ其寄附ヲ受ケヘキ學校館等ヨリ運搬費ヲ支給スルコトアルヘシ

### ●明治四十二年勅令第二百二十三號

(電信電話施設ノ費用ニ充ツル

目的ヲ以テスル金錢ノ寄附ニ關

スル件)

明治四十二年五月一日  
勅令第二百二十三號

朕電信電話施設ノ費用ニ充ツル目的ヲ以テスル金錢ノ寄附ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理、大藏、逓)

政府ハ電信電話施設ノ費用ニ充ツル目的ヲ以テスル金錢ノ寄附ヲ受クルコトヲ得

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス